

山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学 —教室年報：2018—

Department of Gastroenterological,
Breast and Endocrine Surgery
Annual Report 2018



元乃隅神社（長門市）



*Department of Gastroenterological,
Breast and Endocrine Surgery
Annual Report 2018*

Contents

Page 1	巻頭言	教授	永野浩昭
Page 4	教室人事	医局長	鈴木伸明
Page 6	臨床報告（入院）	病棟医長	武田 茂
Page 7	臨床報告（外来）	外来医長	飯田通久
	臨床報告（各グループ）		
Page 8		上部消化管グループ	
Page 11		下部消化管グループ	
Page 14		肝胆膵グループ	
Page 18		乳腺・内分泌グループ	
Page 21	業績報告		
Page 22		英文論文	
Page 25		和文論文	
Page 26		国際学会発表・司会	
Page 27		国内学会発表・司会	
Page 39		地方会発表・司会	
Page 44		研究費取得状況	
Page 45		業績その他	
Page 51	Clinical and Research Conference 記録		
Page 52	研究者発表会議 記録		
Page 53	学位取得者報告		
Page 55	新入局者あいさつ		
Page 56	2018年 在籍教室員名簿		
Page 58	学会専門医・指導医・評議員リスト		
Page 61	2018年 年間行事		
Page 79	ゲスト写真集		
Page 82	編集後記		





巻頭言

山口大学大学院医学系研究科
消化器・腫瘍外科学 教授

永野 浩昭
Hiroaki Nagano

年報を作成するようになって、今年で4号目になる。つまり、山口に来て4年が経過したことになる。時の流れの早さを実感するとともに自身の年齢といろいろな意味での限界を少しずつ感じはじめています。

さて、2018年の日本は、北海道での震災や大型台風による関西空港の冠水などの自然災害や、日大アメフト部の危険タックルのような不祥事など、あまり喜ばしくないニュースが続いた。その一方で、2025年大阪での万博開催決定、平昌五輪で日本は冬季最多13メダル、フィギュア・羽生結弦の連覇、大谷翔平メジャー新人王、サッカーW杯ロシア大会16強、など若い世代の活躍で、日本中が沸き返った1年でもあった。何よりも平成は終わりを告げ、次の世代へと変わりゆく1年でもあった。そんな象徴のひとつが安室奈美恵の引退だったのかもしれない。そして、その時代の変わり目にあたって、去り行く世代の古い価値観と未来とのひずみが何となく明らかになってきた、そんな1年であったのかもしれない。

教室はどうだったであろうか？これまでをふりかえってみると、この4年間にまず世代交代はできたように思う。また、個別診療からグループ診療へと体制転換を果たしてくれたことも間違いない。そして、くりかえし言ってきた「山口の常識は日本の非常識と俺にいわせるな!」、このことについても実感してくれている教職員が増えてきているように感じる。山口で育った山口の外科医たちが、日本を意識し自らと比較することで、これからの山口の未来の在り方について考えるようになってくれたということなのだろう。

さて、評価は他者がするものである。その意味では外から見えるものだけが、真実としてそこにある。そのことを自覚できない組織の進歩はない。さらに、時の流れとともに人は必ず組織から離れ永久にとどまるものはいない。いつもそう思ってきた。

ある意味、未来とは今なのかもしれない。あらためて今、心の片隅に強く感じている。

そしてそこに、個人の「拘泥」はみじんもない。

医局員一同



木村 祐太

桑原 太一

西山 光郎

山田 健介

山本 常則

藤原 康弘

中島 正夫

藤原 信行

松井 洋人

松隈 聡

兼定 航

西田 裕紀

千々松 日香里

前田 訓子

友近 忍

吉田 晋

徳光 幸生

兼清 信介

新藤 芳太郎

恒富 亮一

鈴木 伸明

山本 滋

碓 彰一

永野 浩昭

吉野 茂文

武田 茂

飯田 通久

日常の風景

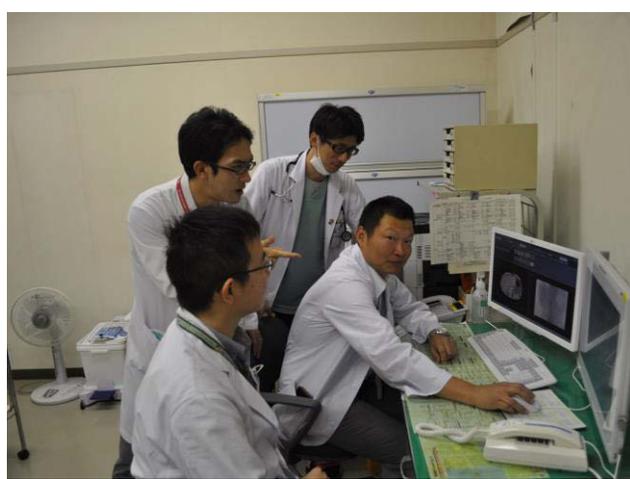
カンファレンス風景



病棟回診風景



外来風景



教室人事



山口大学大学院医学系研究科
 消化器・腫瘍外科学 医局長

鈴木 伸明

Nobuaki Suzuki

現在、医局長を仰せつかっております鈴木伸明です。

平成30年1月から平成30年12月までの大学の人事異動については以下の通りです。

同年4月1日付で、山口大学消化器・腫瘍外科学助教の徳久善弘が、下関医療センター消化器外科部長として出向しました。徳久先生には持ち前の明るさと、後輩からの人望の厚さを存分に発揮して、新天地で救急医療、地域医療に貢献して頂き、外科医としての益々の成長を期待します。また、診療助教の北原正博が関門医療センターに、大学院卒業の田中宏典が市立八幡浜総合病院に、社会人大学院生として藤本拓也がセントヒル病院にそれぞれ出向しました。3人とも個性が強く、今後の消化器・腫瘍外科学教室を引っ張っていく大切な人材です。それぞれが置かれた環境で、消化器外科・乳腺内分泌外科医として頑張ってくれるものと期待します。

帰学者に関してですが、同年4月1日付けで、吉田 晋がセントヒル病院から帰学しました。出向期間が8年と比較的長く、戸惑うこともあるかと思いますが、大腸班として大いに活躍してくれることを期待します。また、新藤芳太郎が2年間の米国留学を終えて帰学しました。留学先で学んだことを教室に還元しつつ、肝胆膵班を盛り上げて、活躍してくれることを期待します。山本常則、木村祐太の大学院入学に伴い、兼定 航が山口大学病院集中治療部 助教として宇部興産中央病院から、千々松日香里が下関医療センターから診療助教として帰学しました。二人とも今まで培った経験を活かして、高い視点と広い視野をもった消化器外科・乳腺内分泌外科医としてこれからの成長を望みます。また、研究面では、山本常則と木村祐太の2名が大学院に入学しました。教室の一員としての自覚を持って、根拠に基づく科学的考察力を持った消化器外科医へと成長していくことを期待しています。新入局員については、2年越しで待望の1名、西田裕紀が入局しました。明るく積極的な性格を生かして、消化器外科・乳腺内分泌外科医としてこれからの成長を望みます。関連病院の先生方におかれましては、外科医不足でご迷惑をおかけしていますが、医局員一同入局者を増やす努力を続けていますので、今後ともよろしく願いいたします。

関連病院人事異動 (平成30年 (2018年) 1月1日から12月31日)

異動日	卒年	氏名	異動元	異動先
1月1日	H11	得能和久	都志見病院	徳山中央病院
4月1日	S52	本間 喜一	美祢市立病院	退職 (同名誉院長)
"	S60	坂田 晃一朗	下関医療センター	退職 (門司掖済会病院)
"	H5	吉本 裕紀	下関医療センター	退職 (戸畑協立病院)
"	H7	林 秀知	下関医療センター	退職 (相生会福岡みらい病院)
"	H8	竹本紀一	関門医療センター	小倉記念病院
"	H11	徳久善弘	山口大学消化器・腫瘍外科学助教	下関医療センター
"	H11	吉田 晋	セントヒル病院	山口大学消化器・腫瘍外科学
"	H14	前田和成	下関市立済生会豊浦病院	退職 (山口健康福祉センター)
"	H16	新藤芳太郎	Department of Surgery, Transplantation Division, Virginia Commonwealth University	山口大学消化器・腫瘍外科学
"	H17	北原正博	山口大学消化器・腫瘍外科学	関門医療センター
"	H20	田中宏典	山口大学消化器・腫瘍外科学	市立八幡浜総合病院
"	H20	藤本拓也	山口大学消化器・腫瘍外科学	セントヒル病院
"	H25	兼定 航	宇部興産中央病院	山口大学消化器・腫瘍外科学
"	H25	千々松日香里	下関医療センター	山口大学消化器・腫瘍外科学
"	H25	太田啓介	市立八幡浜総合病院	下関医療センター
"	H26	渡邊孝啓	市立八幡浜総合病院	宇部興産中央病院
"	H28	西田裕紀	初期研修医	山口大学消化器・腫瘍外科学

臨床報告（各グループ）

入院

外来

各グループ

上部消化管

下部消化管

肝胆膵

乳腺・内分泌



南明寺 イトザクラ（萩市）

臨床報告（入院）



山口大学大学院医学系研究科
 消化器・腫瘍外科学 病棟医長

武田 茂

Shigeru Takeda

2018年の入院診療につきましてご紹介いたします。

当科では、上部消化管、下部消化管、肝胆膵、乳腺内分泌の4グループで診療体制をとっています。年間手術件数はほぼ例年通りで、2018年は634件でした（応援手術含む）。そのうち鏡視下手術は316件で消化器外科手術の63%を占めています。手術症例以外では化学療法の入院患者は外来化学療法と同様に増加しており、術前化学療法も含めて487件でした。全体の傾向として合併のあるハイリスク症例も多く、術前治療症例や生体肝移植をはじめとする高難度症例も増加していますが、医療安全の観点からM&Mカンファレンスも定期的に行い診療科全体での意識や情報を統一して、医療の質の向上を心掛けています。

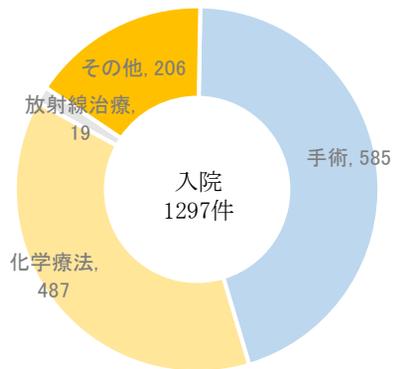
入院患者数は年々増加傾向にあり、入院患者数は1297名で、病床稼働率103.7%とフル稼働状態が続いています。病棟師長をはじめ病棟スタッフとも協力して円滑に病床を稼働できており、平均在院日数は13.7日で病棟稼働額は14.4億円でした。

附属病院の再発整備事業により、新病棟が完成して2019年6月から稼働が始まります。手術部も移転して新しくなり手術室数も増えます。ここ数年、当科の年間手術総数は飽和状態でしたが、定期手術枠も増枠となるので、今年度は待機期間をできるだけ短くして年間手術数を増やすように努力したいと思います。消化器・腫瘍外科の病棟はしばらく今の病棟のままですが、順次改装して再整備される予定です。今後も高度で安全な医療を提供できるように努力したいと思いますので、益々のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

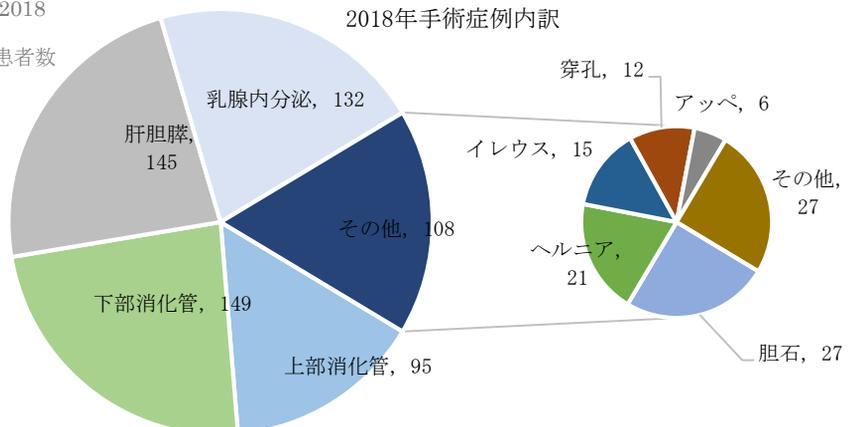
入院・手術件数の推移



2018年入院患者内訳



2018年手術症例内訳



臨床報告 (外来)



山口大学大学院医学系研究科
 消化器・腫瘍外科学 外来医長

飯田 通久

Michihisa Iida

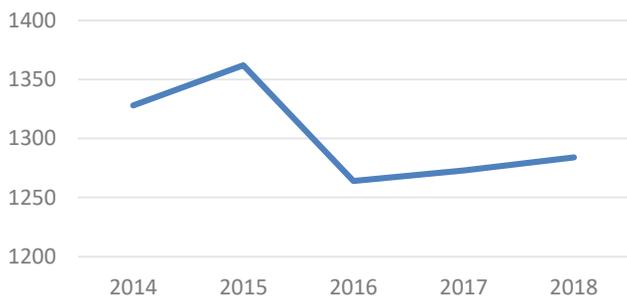
平成11年卒の飯田です。当科の外来診療の近況につきましてご報告いたします。

外来診療の体制ですが、消化器の紹介患者さんの初診は、火曜日は永野浩昭教授、金曜日は武田茂医師が担当、診察しております。初診が終わった後に、各臓器チーフ(上部消化管:武田茂医師、下部消化管:鈴木伸明医師、肝胆膵:徳光幸生医師)から具体的な治療方針や日程等について説明しております。また乳腺・甲状腺の患者さんに関しては、山本滋医師の退職に伴い、2019年度から前田訓子医師が担当・診察しております。

外来業務関連データでは最近の外来患者延べ数(月)は1300名前後、院外からの新患紹介(月)も50名弱でここ数年横ばいとなっておりますが、年度別稼働額は増加傾向となっております。新患のほとんどは学内・学外部からのご紹介であり、最近では県内遠方からも紹介していただく機会が増えています。特に肝胆膵領域や食道など専門性の高い疾患のご紹介が近年増えてきている印象があり、山口県における高難度手術の集約化が少しずつ進んでいることを肌で感じております。これもひとえに多くの先生方に患者さんをご紹介いただいている結果であり、この場を借りて御礼申し上げます。当科としても専門性の高い高度な外科医療を提供するという大学病院の役割を全うできるよう今後も誠心誠意努めていく所存であります。

今後も皆さまからの益々のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

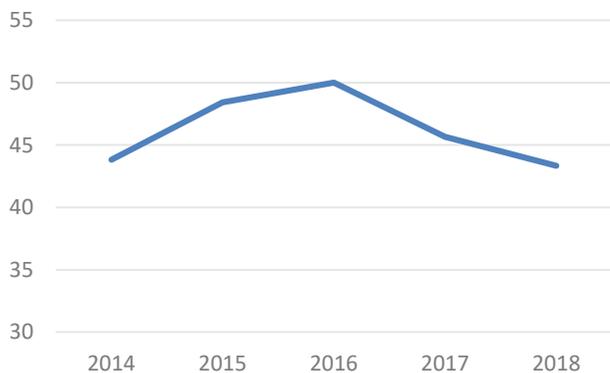
外来患者平均延べ数(人/月)



月平均稼働額(万円/月)



院外からの新患紹介(人/月)



専門名	月	火	水	木	金
初診	当番医		当番医	当番医	
大腸・肛門		鈴木伸明			鈴木伸明
肝臓・胆道・膵臓		永野浩昭			徳光幸生
上部消化管		武田茂			武田茂
乳腺・甲状腺		前田訓子			前田訓子
肝移植		永野浩昭			永野浩昭

上部消化管グループ

スタッフ

武田 茂、飯田通久、
兼清信介、西山光郎、
吉野茂文(腫瘍センター)



上部消化管グループは武田、飯田、兼清、西山のメンバーで食道・胃疾患の診療を行っております。2018年の新規患者116例、手術は98例でした。大半が食道癌、胃癌の症例です。当科は食道外科専門医が3名在籍する県内唯一の食道外科専門医施設で、食道癌では90%以上が鏡視下手術を行っており、低侵襲で安全な手術を目指しております。NSTや周術期リハビリテーションなどチーム医療も積極的に導入して術後合併症の予防に努めています。胃癌については腹腔鏡手術を進行癌にも適応を広げ、90%以上の症例で腹腔鏡手術を行いました。腹腔鏡下噴門側胃切除や胸腔鏡を併用した切除・再建などの機能温存を目指した手術も行っています。化学療法は新規レジメンや免疫チェックポイント阻害剤を導入して、進行・再発症例だけでなく術前化学療法、術後補助療法など、腫瘍センターの吉野を中心に行っており、地域連携も含めて包括的ながん治療を提供できるように心掛けております。

平成30年診療研究情報報告

入院患者数

食道疾患	44例
食道癌	38例
食道裂孔ヘルニア	1例
食道アカラシア	1例
食道GIST	1例

胃疾患	72例
胃癌	64例
GIST	4例
十二指腸癌・NET	3例
その他	1例

手術症例数

食道疾患名	34例
食道癌	22例
食道GIST	1例
下咽頭癌	5例
食道アカラシア	1例
その他	5例
膿胸	1例
胃管気管瘻	1例
下咽頭癌術後	1例
食道裂孔ヘルニア	1例
横隔膜ヘルニア	2例

術式	34例
食道癌根治術	22例
腹臥位胸腔鏡食道垂全摘術	20例
縦隔鏡下食道切除術	1例
胸腔鏡下中下部食道切除術・上部胃切除	1例
胸腔鏡下中下部食道切除術・上部胃切除	1例
遊離空腸再建	5例
腹腔鏡下噴門形成術	1例
その他手術	5例
胃管気管瘻	1例
遊離空腸再建(2期再建)	1例
噴門形成術	1例
胃瘻・腸瘻造設術	3例

胃疾患名	64例	術式	64例
胃癌 (残胃癌含む)	60例	腹腔鏡下胃全摘術 腹腔鏡下幽門側胃切除術 腹腔鏡下バイパス術 胃全摘術 幽門側胃切除術 審査腹腔鏡 腹腔鏡下噴門側胃切除 腹腔鏡下胃部分切除術	13例 22例 8例 1例 2例 7例 7例 2例
GIST	3例	LECS (十二指腸部切)	1例
十二指腸癌・NET	1例	胃部分切除	1例
胃穿孔	1例		

トピックス

- 1月 第18回食道手術ビデオ懇話会 (大阪) に参加しました (武田、北原、西山)
- 2月 第35回山口県食道疾患研究会で発表しました (渡邊、兼清)
- 3月 JCOG食道班会議にオブザーバー参加しました (武田、兼清)
第90回日本胃癌学会総会に参加しました (飯田、西山)
第13回中四国食道外科平成の会に参加しました (武田、兼清、北原、西山)
- 4月 第117回日本外科学会定期学術集會に参加しました
(武田、飯田、兼清、北原、西山、山本、吉野)
- 5月 第72回手術手技研究会に参加しました (飯田、兼清)
第27回日本癌病態治療研究会に参加しました (兼清)
第1回山口消化管内視鏡外科研究会に参加しました
- 6月 日本内視鏡外科学会技術認定医 消化器・一般外科 (食道) を取得しました (武田)
第40回日本癌局所療法研究会に参加しました (飯田、山本)
第72回日本食道学会学術集會に参加しました (武田、兼清、西山)
- 7月 第25回外科侵襲とサイトカイン研究会に参加しました (兼清)
第73回日本消化器外科学会総会に参加しました
(武田、飯田、兼清、北原、西山、中島、山本、吉野)
第16回日本臨床腫瘍学会学術集會に参加しました (吉野)
第19回食道手術ビデオ懇話会 (大阪) に参加しました (武田、兼清、西山)
第1回Yamaguchi Workshop for Esophageal Cancerに参加しました。
- 9月 第93回中国四国外科学会総会に参加しました (武田、西山、山本)
第14回中四国食道外科平成の会で発表しました (武田、西山)
第77回日本癌学会学術総会に参加しました (西山、山本)
第16回国際食道疾患会議に参加しました (吉野、兼清、西山)
学位審査を終え、学位を取得しました (西山)
- 10月 第56回日本癌治療学会に参加しました (武田、吉野)
- 11月 JCOG食道癌グループの参加施設に認定されました
JDDW2018に参加しました (武田、飯田、兼清)
第48回胃外科・術後障害研究会に参加しました (飯田)
第80回日本臨床外科学会総会に参加しました (武田)
第31回日本外科感染症学会総会学術集會に参加しました (武田)
- 12月 第31回日本内視鏡外科学会総会に参加しました (武田、飯田)
日本消化器外科学会専門医認定試験に合格しました (中島)



UMIN ID	試験名	対象	実施責任組織	進捗状況
UMIN000016954	食道癌患者を対象とした術後補助療法としてのS-588410（ペプチドワクチン、塩野義製薬）による第III相多施設共同プラセボ対照二重盲検無作為化比較試験	食道癌	塩野義製薬	終了
UMIN000025412	食道癌患者へのDCF療法時における成分栄養剤の口腔粘膜炎症抑制作用の検討 - エレンタール非投与群を対照群としたランダム化第Ⅲ相比較臨床試験（EPOC2 study）	食道癌	JFMC	実施中
UMIN000034178	食道癌術前化学療法時の栄養介入が術前サルコペニアに及ぼす影響に関する後向きならびに探索的研究	食道癌	山口大学	開始 (1例)
UMIN000015107	切除不能または再発食道癌に対するCF（シスプラチン+5-FU）療法とbDCF（biweekly ドセタキセル+CF）療法のランダム化第III 相比較試験（JCOG1314）	食道癌	JCOG	開始
UMIN000017628	臨床病期I/II/III食道癌（T4を除く）に対する胸腔鏡下手術と開胸手術のランダム化比較第III相試験（JCOG1409）	食道癌	JCOG	開始
	食道がん患者を対象としたニボルマブとイピリマブの第3相試験 ONO-4536-50/CA209648	食道癌	小野薬品	開始
UMIN000016196	切除不能・進行再発胃癌の2次化学療法としての低用量Nab-Paclitaxel療法の有用性の検討 ～臨床第II相試験～	胃癌	山口大学	実施中
UMIN000031285	切除不能・進行再発胃癌を対象としたweekly nab-Paclitaxel + Ramucirumab併用療法の有用性を検討する第Ⅱ相臨床試験	胃癌	山口大学	実施中 (14例)
UMIN000023065	Ramucirumab抵抗性進行胃癌に対するramucirumab + Irinotecan併用療法のインターグループランダム化第III相試験	胃癌	OGSG	実施中 (1例)
	進行胃癌患者を対象とした審査腹腔鏡検査時におけるSPP-005を用いた光線力学診断の有効性及び安全性を検討する多施設共同試験 JMA-IIA00225	胃癌	大阪大学	実施中 (6例)
UMIN000030850	切除不能胃癌におけるニボルマブのバイオマーカー探索を含めた観察研究 JACCRO GC-08	胃癌	JACCRO	申請中



食道癌手術



胃癌手術



グループカンファレンス

下部消化管グループ

スタッフ

鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍
 裕 彰一（先端がん治療開発学）



2018年、下部消化管グループは鈴木、吉田、友近のメンバーを中心に、裕をスーパーバイザーとして診療を行いました。手術患者数は186例で、そのうち緊急手術等の症例は43例でした。年々増加傾向ですが、なかでも結腸・直腸癌症例に対する手術は89例で、経肛門等除いた経腹手術は83例、そのうち腹腔鏡手術は78例と94%の症例に施行しました。良性疾患に関しても積極的に鏡視下手術を導入しています。臨床研究にも積極的に参加し、IRB承認のもと症例登録を行いました。大腸班チームカンファレンスを週1回、消化器内科との合同カンファレンス（Cancer Board）を週1回行っています。消化器・腫瘍外科学としての全体カンファも週2回行っており、ここで肝胆膵班と相談し、抗がん剤治療先行による切除不能肝転移症例に対するconversion therapy（肝転移切除等）も積極的に取り組んでいます。2018年の大腸癌肝転移切除症例数は22例でした（詳細は肝胆膵班参照）。

平成30年診療研究情報報告

入院患者数(化学療法含む)

のべ入院患者数 398人

結腸/直腸癌（のべ人数）	284
回盲部癌	32
上行結腸癌	31
横行結腸癌	40
下行結腸癌	6
S状結腸癌	67
直腸癌	106
その他	2

良性疾患	114
イレウス	16
直腸脱	5
炎症性腸疾患（クローン病9例）	9
急性虫垂炎、憩室炎等	12
肛門疾患	5
ストーマ造設・閉鎖	20
汎発性腹膜炎等	11
その他	36

手術症例内訳

疾患別	手術症例：186例
大腸癌	89例
クローン病・潰瘍性大腸炎	7例・0例
イレウス	15例 (緊急13例準緊急1例)
虫垂炎	7例
小腸疾患	6例
肛門疾患（痔核、痔瘻等）	4例
直腸脱	5例
人工肛門形成状態 (人工肛門閉鎖術)	15例
人工肛門造設術	5例
腹膜炎・腹腔内膿瘍	11例
その他	23例

部位別	計89例
盲腸	7
上行結腸	19
横行結腸	8
下行結腸	2
S状結腸	20
直腸	28
大腸重複癌	1
その他(再発等)	4

大腸癌：術式別	計 89例
回盲部切除術	17例
右半結腸切除術	9例（開腹1例）
横行結腸切除術	8例（開腹1例）
下行結腸切除術	2例
S状結腸切除術	20例（開腹1例）、 （DST: 12, EEA: 8）
高位前方切除術	8例
低位前方切除術	11例

大腸癌：術式別	（つづき）
Hartmann手術	2例（開腹1例）
直腸切断術	3例
ISR	2例
骨盤内臓器全摘術	開腹1例
経肛門的腫瘍摘除術	3例
その他	3例

トピックス

- 1月 東京で開催された第88回大腸癌研究会に参加しました。（鈴木、友近、田中）
- 4月 東京で行われた第118回日本外科学会定期学術集会に参加しました。（裕、鈴木、友近、田中）
- 5月 シカゴで開催された2018ASCO Annual Meetingに参加しました。（裕）
- 7月 新潟で開催された第89回大腸癌研究会に参加しました。（鈴木、吉田）
- 鹿児島で行われた第73回日本消化器外科学会総会に参加しました。（裕、鈴木、友近、田中）
- 11月 神戸で行われた第16回日本消化器外科学会大会に参加しました。（裕、鈴木、吉田、友近）
- 11月 福岡で開催された第72回日本大腸肛門病学会に参加しました。（裕、友近）
- 12月 京都で開催された日本内視鏡外科学会に参加しました。（鈴木、吉田、友近）

平成30年臨床試験一覧

管理番号	研究責任者	主担当者	試験名
H26-053	永野 浩昭	鈴木 伸明	【ULTIMATE TRIAL】肛門近傍の下部直腸癌に対する腹腔鏡下手術の 前向き第Ⅱ相試験（ULTIMATE TRIAL）
H27-054	永野 浩昭	友近 忍	【TCR】大腸がん腫瘍浸潤リンパ球のT細胞受容体（TCR）網羅的解析 による化学療法剤の効果予測と抗腫瘍特異的免疫誘導効果に関する研究
H27-070	永野 浩昭	鈴木 伸明	【PARADIGM study】RAS遺伝子（KRAS/NRAS遺伝子）野生型で化学療法未治療の切除不能進行再発大腸癌患者に対するmFOLFOX6+ベバシズマブ併用療法とmFOLFOX6+パニツムマブ併用療法の有効性及び安全性を比較する第Ⅲ相無作為化比較試験（PARADIGM study）
H27-162	永野 浩昭	鈴木 伸明	【Be TRI】 【TRICC1414】化学療法未治療の切除不能な進行・再発大腸癌に対するFOLFOXIRI+ベバシズマブ療法の第Ⅱ相臨床試験（Be TRI）
H27-198	永野 浩昭	鈴木 伸明	【JACCRO CC-13,DEEPER試験】RAS野生型進行大腸癌患者におけるFOLFOXIRI+セツキシマブとFOLFOXIRI+ベバシズマブの最大腫瘍縮小率(DpR)を検討する無作為化第Ⅱ相臨床試験（JACCRO CC-13試験）
H28-004	永野 浩昭	鈴木 伸明	【JACCRO CC-13試験 AR】RAS野生型進行大腸癌患者におけるFOLFOXIRI+セツキシマブとFOLFOXIRI+ベバシズマブの最大腫瘍縮小率(DpR)を検討する無作為化第Ⅱ相臨床試験におけるバイオマーカー研究（JACCRO CC-13AR）

管理番号	研究責任者	主担当者	試験名(つづき)
H28-186	永野 浩昭	友近 忍	山口大学医学部附属病院における大腸癌の実態把握のための調査研究
H29-110	永野 浩昭	鈴木 伸明	【JFMC50-1701-C6】 ロンサーフ(TFTD)使用症例の後ろ向き観察(コホート)研究(JFMC50-1701-C6)
H30-139	永野 浩昭	鈴木 伸明	【ロンサーフ+アバスタチン】 治癒切除不能な進行・再発の結腸直腸癌患者を対象としたTFTD+Bmab療法の治療継続性を検討する第II相臨床試験
H30-162	永野 浩昭	鈴木 伸明	【LOVERY試験】 肥満大腸癌患者に対する腹腔鏡下手術の腫瘍学的安全性を評価する後ろ向き試験
2018CRB001	永野 浩昭	鈴木 伸明	RAS遺伝子野生型切除不能進行・再発大腸癌における二次治療FOLFIRI+ラムシルマブ併用療法の第二相試験(JACCROCC-16)



大腸班カンファレンス風景



ご講演の後、札幌医大竹政教授、北九州総合病院永田院長を囲む会(永野教授、鈴木、吉田、友近)



第3回山口腹腔鏡下大腸切除ビデオカンファレンスin広島に参加し、広島大学恵木先生、癌研有明病院小西先生からビデオクリニックを受けました。(鈴木、吉田)



2018ASCOで、がんプレジジョン医療研究センター中村祐輔所長と、懇親の場を持ちました。(裕)

肝胆膵グループ

スタッフ

徳光幸生、新藤芳太郎、
松井洋人、松隈 聡、中島正夫



私たちは、肝臓・胆道・膵臓領域の悪性疾患を中心にチームで外科診療を行っています。当科は日本肝胆膵外科学会が定める“高度技能修練施設”の中の、とくに高難度手術を年間50例以上こなす“認定施設A”として山口県唯一の認定施設です。胆道癌、膵臓癌などの難治癌に対しては、化学療法や放射線治療などの集学的治療と血管合併切除再建などを伴う切除限界を追求した拡大手術を駆使し、治療成績の向上を目指しています。一方で肝細胞癌や転移性肝癌などの胆道再建を伴わない肝切除に対しては腹腔鏡手術を第一選択としており、本年は年間50例を超えました。さらに、癌診療のみならず生体肝移植に関しても2016年の再開以降積極的に行っており、2018年は2例施行しております。2018年からは永野教授指導体制の下、若手中心のメンバーでチーム医療を行っておりますが、チームの手術件数は過去最高となりました。引き続き最新かつ最適な治療を提供できるよう邁進して参ります。

平成30年診療研究情報報告

入院患者数（化学療法を含む）

肝疾患	147	胆道疾患	138	膵・脾疾患	216
肝細胞癌	64	胆嚢癌	31	膵癌	205
転移性肝腫瘍	24	胆管癌	55	PNET	3
肝内胆管癌	52	十二指腸乳頭部癌	2	慢性膵炎	1
肝硬変（肝移植）	5	良性・その他	50	IPMN	6
ドナー（肝移植）	2			MCN	1

手術症例数

() 腹腔鏡手術症例、* 重複あり

	肝切除				生体肝移植		肝 焼 灼	胆管切除 再建	膵頭十二 指腸切除	膵体尾 部切除	その他	計
	葉切 以上	区域	亜 区域	外側 区域	部分	ドナー						
肝細胞癌	7(2)	3(2)	3(3)		24(23)				-	-	1	38(30)
肝内胆管癌	4*				1(1)			3*	-	-	1	5(1)
転移性肝癌	2	1	3*(3)		17(14)				-	-	1	23*(18)
その他の肝疾患		1			3(2)		2		-	-	2(2)	8(4)
肝門部・上部胆管癌	4*							4*			1	5
中・下部胆管癌									4		1	5
胆嚢癌	2*							3*			3(3)	6(3)
乳頭部癌									3			3
その他の胆道 疾患											7(7)	33(32)
膵頭部癌	-	-	-	-	-			-	7		9(2)	16(2)
膵体尾部癌	-	-	-	-	-			-		4	1	5
その他の膵疾患	-	-	-	-	-			-	3	6*(4)	3	12*(4)
上記以外						2			1		5(3)	8(3)
計	20(2)*	5(2)	7*(7)	0	45*(40)	2	2	0	10*	18	31(17)	167(96)

トピックス

- 1月 九州肝臓外科研究会に参加しました（徳久、徳光）
- 2月 臨床肝移植セミナー ～多職種で進める山口の肝移植～ を開催しました（全員）
中島先生が結婚しました！（中島）
- 3月 第4回九州胆・膵癌治療フォーラムに参加しました（松井）
- 4月 徳久医師が下関医療センター外科に異動になりました（徳久）
藤本医師が西岐波セントヒル病院に異動になりました（藤本）
「肝癌早期再発予測式」に関する論文がOncol lett.誌に掲載されました（徳光）。
- 5月 APASLに参加、発表しました（松井、中島）
第4回山口胆膵疾患研究会総会を開催しました（全員）
- 6月 永野教授が日本肝胆膵外科学会・理事に選任されました。
- 7月 日本消化器外科学会総会に参加しました（全員）
- 9月 第8回肝胆膵フォーラム in Yamaguchiに参加しました（全員）
第8回がん市民公開講座 気になるすい臓がんのお話 を発表しました（松井）
- 10月 生体肝移植手術を行いました（再開6例目）
市民公開講座 山口県肝移植治療最前線 を行いました（全員）
- 11月 生体肝移植手術を行いました（再開7例目）
インドネシアから短期留学生が来ました
「BCLC-B肝細胞癌に対する外科切除」に関する論文がOncol lett.に掲載されました（松隈）
第5回山口胆膵疾患研究会総会を開催しました（全員）
第2回山口肝移植診療検討会を開催しました（全員）
- 12月 「膵癌に対する癌ワクチン療法」に関する論文がExpert Rev Anticancer Ther.誌に掲載されました（松井）



生体肝移植風景



肝移植ワーキングメンバーと



中島先生結婚式、余興風景



内科との合同カンファレンス風景

終了した臨床試験

	UMIN ID	試験名	対象	実施責任組織	進捗状況
肝	なし	HCCに対する系統的肝切除と非系統的肝切除の比較-日本-韓国の肝胆膵外科共同研究	肝細胞癌	関西医科大学	終了
胆	UMIN000009831	FDG-PET陽性リンパ節転移を伴う切除可能胆道癌に対する術前ゲムシタピン/シスプラチン/S-1併用術前化学療法(GCS療法)のphaseII 試験(KHBO1201)	胆道癌	KHBO	終了
	UMIN000009945	肝葉切除を伴う胆道癌切除例に対するGemcitabine(GEM)またはS-1の術後補助化学療法の無作為化第II相比較試験 (KHBO1208 試験)	胆道癌 (肝内胆管癌を含む)	KHBO	終了
	UMIN000017914	中部胆管癌に対するPDと胆管切除の比較	中部胆管癌	東北大学	終了
	UMIN000011688	根治切除後胆道癌に対する術後補助療法としてのS-1療法の第III相試験 (JCOG1202, ASCOT)	胆道癌	JCOG	終了
膵	主施設登録中	膵頭十二指腸切除術における慢性肝障害の影響に関する研究	膵頭十二指腸切除を施行された患者	東京慈恵会医科大学	終了
	なし	Borderline resectable膵癌に対する治療成績についての後ろ向き研究	膵癌	九州膵胆道癌治療研究会	終了
	UMIN000020978	浸潤性膵管癌切除後の残膵再発に対する再切除の意義の検討	膵癌	名古屋大学	終了

実施中の臨床試験

	UMIN ID	試験名	対象	実施責任組織	進捗状況
肝	UMIN000019205	症例登録システムを用いた腹腔鏡下肝切除術の安全性に関する検討 -前向き多施設共同研究-	腹腔鏡下肝切除を予定された患者	肝臓内視鏡外科研究会	実施中
	UMIN000010691	肝細胞癌術後再発予防を目的としたHSP70mRNA導入樹状細胞療法の第I/II相ランダム化比較臨床試験	肝細胞癌	山口大学	実施中
	なし	肝細胞癌に対する肝切除またはラジオ波焼灼療法施行後の再発治療・長期予後に関する観察研究：SURF trial付随研究	肝細胞癌	東京大学	実施中
	UMIN000029991	根治切除可能肝細胞癌(HCC)に対する周術期補助療法としてのHSP70由来ペプチド+GPC3由来ペプチド+IMP321+Hiltonolを用いた複合免疫療法の第I相臨床試験 (YCP02試験)	肝細胞癌	山口大学	実施中
	なし	混合型肝癌に関する臨床病理学的・分子生物学的検討に関する九州肝臓外科研究会多施設共同研究	混合型肝癌	熊本大学	実施中
	なし	下大静脈・右房内腫瘍栓を伴う肝細胞癌に対する肝切除の意義を検討する後ろ向き多施設共同観察研究	肝細胞癌	山口大学	実施中
	なし	肝炎ウイルス関連肝細胞癌に対するウイルス排除の外科治療成績に及ぼす影響の検証	肝細胞癌	山口大学	実施中
	UMIN000030525	臓器移植における抗体関連拒絶反応の新規治療法の開発に関する研究	生体肝移植	東京女子医科大学	実施中
	UMIN000029794	肝細胞癌腹腔播種に対する後方視的観察研究	肝細胞癌腹腔播種	滋賀医大	実施中
	なし	門脈腫瘍栓を伴う高度進行肝細胞癌に対する集学的治療の安全性、有用性についての前向き観察研究	肝細胞癌Vp3-4	山口大学	実施中

平成30年研究報告（平成30年12月31日現在）

	UMIN ID	試験名	対象	実施責任組織	進捗状況
胆	UMIN000029888	胆道癌における術中洗浄細胞診の有用性に関する後ろ向き多施設共同観察研究 (KHBO1701)	胆道癌	KHBO	実施中
	なし	胆管内乳頭状腫瘍、粘液性嚢胞性腫瘍、乳頭型胆管癌の日韓合同大規模データ集計への当科症例の資料提出	胆管内乳頭状腫瘍、粘液性嚢胞性腫瘍、乳頭型胆管癌	獨協医科大学	実施中
	UMIN000027785	胆嚢癌の診断と予後に関する前向き観察研究	胆嚢癌	東北大学	実施中
	UMIN000029888	胆道癌における術中洗浄細胞診の有用性に関する後ろ向き多施設共同観察研究	胆道癌	KHBO	実施中
	UMIN000035352	胆嚢癌疑診例に対する腹腔鏡手術の安全性に関する前向き観察研究	胆嚢癌	山口大学	実施中
	なし	肝門部領域胆管癌に対する肝動脈合併切除・再建術の治療成績の検証	肝門部領域胆管癌	山口大学	実施中
膵	UMIN000010253	特許化した吻合補助器を用いた新規吻合法に関する臨床研究	膵頭十二指腸切除を施行される患者	山口大学	実施中
	UMIN000018763	膵全摘患者に対する前向き実態調査	膵全摘を施行された患者	近畿大学	実施中
	UMIN000023237	膵体尾部切除での膵実質切断における脾静脈剥離-個別処理と脾静脈同時切断の多施設共同無作為化比較第Ⅲ相試験 COSMOS-DP trial -	膵疾患（膵体尾部切除を予定された患者）	和歌山県立医科大学	実施中
	なし	膵臓癌の診療向上のための分子遺伝学的および分子疫学的研究	膵癌	大阪大学	実施中
	UMIN000016380	膵・消化管および肺・気管支・胸腺神経内分泌腫瘍の患者悉皆登録研究 (TRINET1332)	神経内分泌腫瘍	日本神経内分泌腫瘍研究会	実施中
	UMIN000029147	切除可能境界膵癌に対するGemcitabine/nab-Paclitaxel併用療法もしくはmFOLFIRINOXによる術前化学療法に関する多施設共同前向き観察研究	膵癌	山口大学	実施中
	UMIN000023143	局所進行膵癌を対象としたmodified FOLFIRINOX療法とゲムシタピン+ナブパクリタキセル併用療法のランダム化第Ⅱ相試験 (JCOG1407、LAPC-mFOLFIRINOX/GnP-rP2)	膵癌	JCOG	実施中
	UMIN000027775	根治切除不能局所進行膵癌に対するGEM+nab-PTX療法の有用性に関する前向き多施設共同研究 (GEAR study)	BR-A膵癌	九州大学	実施中
	なし	切除可能膵癌の早期再発因子に関する多施設共同研究	切除可能膵癌	長崎大学	実施中
	UMIN000014795	消化管・肝胆膵原発の切除不能・再発神経内分泌癌 (NEC) を対象としたエトボシド/シスプラチン療法のランダム化比較試験	NEC	JCOG	実施中
	UMIN000034265	76歳以上の切除非適応膵癌患者に対する非手術療法の前向き観察研究	膵癌	国立がんセンター東病院	実施中

申請中の臨床試験

	UMIN ID	試験名	対象	実施責任組織	進捗状況
肝	UMIN000036286	大腸癌同時性肝転移に対する腹腔鏡下大腸・肝同時切除の安全性に関する前向き観察研究	大腸癌肝転移	山口大学	IRB申請中
		生体肝移植中脾臓摘出術併施の短期および長期成績に関する検証	生体肝移植	九州大学	IRB申請中
		肝移植レシビエントにおける周術期腸内細菌叢の変化と感染性合併症の関係および術後敗血症を早期予測するためのバイオマーカー探索研究	肝移植	山口大学	IRB申請中
胆		GCS療法不応後の切除不能胆道癌に対する二次治療の有用性に関する多施設共同後ろ向き観察研究 KHBO1401試験附随研究	胆道癌	山口大学	IRB申請中
膵		慢性膵炎による難治性疼痛に対する外科治療 施行症例の検討-多施設共同後ろ向き観察研究-	慢性膵炎	三重大学	IRB申請中
		慢性膵炎に対する外科治療の実態調査と普及への課題解析 -多施設共同後ろ向き観察研究-	慢性膵炎	三重大学	IRB申請中
	UMIN000021403	慢性膵炎による難治性疼痛に対する内科的インターベンション治療と外科治療の比較解析-多施設共同前向き実態調査-	慢性膵炎	藤田保健衛生大学	IRB申請中

乳腺内分泌グループ

スタッフ
山本滋、前田訓子



乳腺・甲状腺・副甲状腺の悪性・良性疾患の外科手術および薬物療法などを、診断を含めて幅広く行っています。特に乳癌センチネルリンパ節生検においては、3D CT-リンフォグラフィ、Real-time Virtual Sonography (RVS), ICGによるセンチネルリンパ節直接マーキング法といった当科オリジナルの方法で、センチネルリンパ節を高精度に同定しています。さらに乳房温存手術において、乳腺部分切除後の欠損部に対する乳腺脂肪弁充填術式および部分切除補助器具（商品名 リセクションガイド、特許取得）も新規考案し、良好な整容性が保たれています。また、当院では形成外科専門医、乳腺専門医が備わっており、自家組織およびインプラントを考慮した乳房再建手術を保険診療で行うことが可能です。今後は、山口県の乳腺外科および内分泌外科の若手専門医の教育・育成に力を注ぎたいと思います。

平成30年診療研究情報報告

入院患者数

乳腺疾患	158
乳癌	124
良性疾患	8
マンモトーム検査	20
その他	6

甲状腺・副甲状腺疾患	8
甲状腺癌	4
Basedow病	1
良性腫瘍・その他	1
副甲状腺疾患	2

手術症例数

乳腺疾患	132
乳癌に対する手術	124
乳房切除術単独	6
乳房切除術+センチネルリンパ節生検	57
乳房切除術+腋窩リンパ節郭清	17
乳房温存術単独	12
乳房温存術+センチネルリンパ節生検	16
乳房温存術+腋窩リンパ節郭清	5
皮下乳腺全摘+乳房再建（TE/自家組織）	7
悪性・その他	4
良性・その他	8

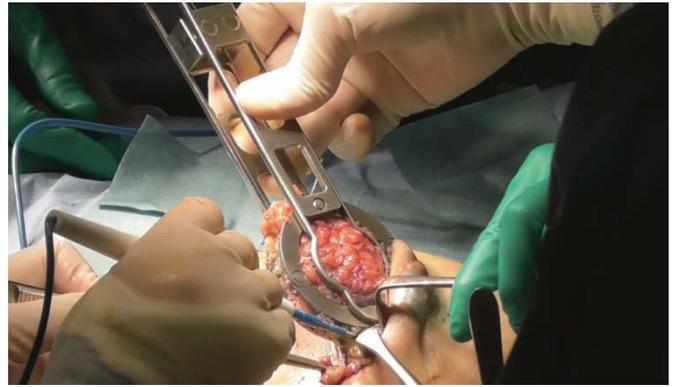
甲状腺・副甲状腺疾患	8
甲状腺癌に対する手術	4
甲状腺葉切除+頸部郭清	1
甲状腺全摘+頸部郭清	1
頸部郭清のみ	2
甲状腺良性腫瘍	1
Basedow病手術	1
副甲状腺手術	2

トピックス

2018.3月 中四国甲状腺外科研究会で、佐藤が発表しました
 4月 日本外科学会定期学術集会で、山本、前田、佐藤が発表しました
 5月 手術手技研究会で、前田が発表しました。
 7月 日本乳癌学会で、山本、前田、佐藤が発表しました
 9月 中国四国外科学会総会で千々松が発表しました
 9月 日本乳癌学会中国四国地方会で、前田、佐藤が発表しました
 10月 日本癌治療学会で、前田が発表しました。
 10月 日本甲状腺外科学会学術集会で山本が発表しました。
 11月 日本検診学会学術総会で、山本が発表しました。
 11月 日本臨床外科学会総会で、千々松が発表しました。

平成30年研究報告（平成30年12月31日現在）

UMIN ID	試験名	対象	実施責任組織	進捗状況
000007166	A phase II study of a low dose every 3 weeks Nab-paclitaxel for metastatic or recurrent breast cancer.	転移・再発乳癌	山口大学	登録終了
	転移性乳癌におけるエリブリン・タキサン逐次投与の有用性の検討	転移乳癌	山口大学	実施中
000015780	乳がん術後上肢リンパ浮腫の検出に用いられる非侵襲的検査値の術後変動の検討	乳癌	山口大学	実施中
000014952	FUSION 01study	乳癌	日本乳癌甲状腺超音波医学会	登録終了
000000843	JBCRG-04	病理学的R1乳癌	JBCRG	登録終了
000001090	NSAS BC-06	閉経後乳癌	NSAS	登録終了
000002349	RESPECT	HER2陽性乳癌	NSAS	登録終了
000018202	HER2陽性の進行・再発乳癌に対するペルツズマブ再投与の有用性を検証する第III相臨床研究－ペルツズマブ再投与試験－JBCRG-M05(PRECIOUS)	HER2陽性乳癌	JBCRG	実施中
000033384	BRCA1/2遺伝子変異陽性者に対するリスク低減乳房切除術の安全性の検討	遺伝性乳癌卵巣癌症候群	山口大学	開始前
	乳癌手術後の整容性に対する患者満足度の調査研究	乳癌術後	山口大学	実施中

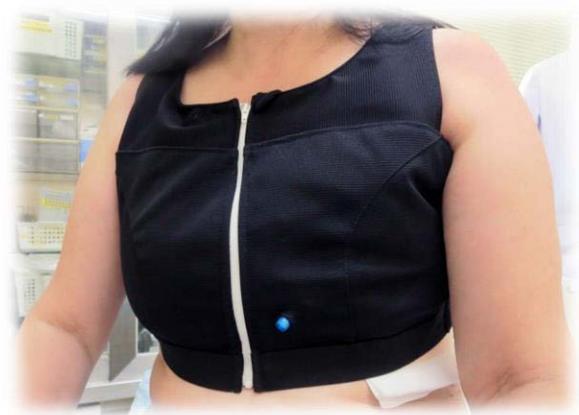


リセクションガイドを用いた手術風景

当科で開発した乳腺円状部分切除器（商品名リセクションガイド）



当科で開発した乳房術後圧迫帯



術後患者さんでの乳房術後圧迫帯 試着

2018年 業績報告



重源の郷（山口市）
天然の地形を生かして、昔ながらの山村風景
を再現した体験交流公園です。
別名「時を越えた夢工房」

英文論文

1. Nakajima M, Yoshino S, Kanekiyo S, Maeda N, Sakamoto K, Tsunedomi R, Suzuki N, Takeda S, Yamamoto S, Hazama S, Hoshii Y, Oga A, Itoh H, Ueno T, Nagano H. High secreted protein acidic and rich in cysteine expression in peritumoral fibroblasts predicts better prognosis in patients with resectable gastric cancer. *Oncol Lett* 2018 Jan ; 15(1) 803-812
2. Kamei R, Yoshimura K, Yoshino S, Inoue M, Asao T, Fuse M, Wada S, Kuramasu A, Furuya-Kondo T, Oga A, Iizuka N, Suzuki N, Maeda N, Watanabe Y, Matsukuma S, Iida M, Takeda S, Ueno T, Yamamoto N, Fukagawa T, Katai H, Sasaki H, Hazama S, Oka M, Nagano H. Expression levels of UL16 binding protein 1 and natural killer group 2 member D affect overall survival in patients with gastric cancer following gastrectomy. *Oncol Lett* 2018 Jan; 15(1) 747-754
3. Yamanaka C, Wada H, Eguchi H, Hatano H, Gotoh K, Noda T, Yamada D, Asaoka T, Kawamoto K, Nagano H, Doki Y, Mori M. Clinical significance of CD13 and epithelial mesenchymal transition (EMT) markers in hepatocellular carcinoma. *Jpn J Clin Oncol* 2018 Jan ; 48(1) 52-60
4. Wada H, Eguchi H, Nagano H, Kubo S, Nakai T, Kaibori M, Hayashi M, Takemura S, Tanaka S, Nakata Y, Matsui K, Ishizaki M, Hirokawa F, Komeda K, Uchiyama K, Kon M, Doki Y, Mori M. Perioperative allogenic blood transfusion is a poor prognostic factor after hepatocellular carcinoma surgery :a multi-center analysis. *Surg Today*. 2018 Jan ; 48(1) 73-79
5. Suehiro Y, Zhang Y, Hashimoto S, Takami T, Higaki S, Shindo Y, Suzuki N, Hazama S, Oka M, Nagano H, Sakaida I, Yamasaki T. Highly sensitive faecal DNA testing of TWIST1 methylation in combination with faecal immunochemical test for haemoglobin is a promising marker for detection of colorectal neoplasia. *Ann Clin Biochem*. 2018 Jan ; 55(1) 59-68
6. Enjoji S, Yabe R, Tsuji S, Yoshimura K, Kawasaki H, Sakurai M, Sakai Y, Takenouchi H, Yoshino S, Hazama S, Nagano H, Oshima H, Oshima M, Vitek MP, Matsuura T, Hippo Y, Usui T, Ohama T, Sato K. Stemness Is Enhanced in Gastric Cancer by a SET/PP2A/E2F1 Axis. *Mol Cancer Res*. 2018 Mar ; 16(3) 554-563
7. Yanagimoto H, Toyokawa H, Sakai D, Wada H, Satoi S, Yamamoto T, Nagano H, Toyoda M, Ajiki T, Satake H, Tsuji A, Miyamoto A, Tsujie M, Takemura S, Yanagihara K, Ioka T. A phase I study for adjuvant chemotherapy of gemcitabine plus S-1 in patients with biliary tract cancer undergoing curative resection without major hepatectomy (KHBO1202). *Cancer Chemother Pharmacol*. 2018 Mar ; 81(3) 461-468
8. Yamamoto Y, Tsunedomi R, Fujita Y, Otori T, Ohba M, Kawai Y, Hirata H, Matsumoto H, Haginaka J, Suzuki R, Dahiya R, Hamamoto Y, Matsuyama K, Hazama S, Nagano H, Matsuyama H. Pharmacogenetics-based area-under-curve model can predict efficacy and adverse events from axitinib in individual patients with advanced renal cell carcinoma. *Oncotarget*. 2018 Mar ; 9(24) 17160-17170
9. Tomimaru Y, Eguchi H, Wada H, Doki Y, Mori M, Nagano H. Liver resection combined with inferior vena cava resection and reconstruction using artificial vascular graft : A literature review. *Ann Gastroenterol Surg* 2018 Apr; 2(3) 182-186
10. Tokumitsu Y, Sakamoto K, Tokuhisa Y, Matsui H, Matsukuma S, Maeda Y, Sakata K, Wada H, Eguchi H, Ogihara H, Fujita Y, Hamamoto Y, Iizuka N, Ueno T, Nagano H. A new prognostic model for hepatocellular carcinoma recurrence after curative hepatectomy. *Oncol Lett*. 2018 Apr ; 15(4) 4411-4422
11. Nishioka M, Suehiro Y, Sakai K, Matsumoto T, Okayama N, Mizuno H, Ueno K, Suzuki N, Hashimoto S, Takami T, Hazama S, Nagano H, Sakaida I, Yamasaki T. TROY is a promising prognostic biomarker in patients with colorectal cancer. *Oncol Lett*. 2018 Apr ; 15(4) 5989-5994
12. Yamaoka Y, Suehiro Y, Hashimoto S, Hoshida T, Fujimoto M, Watanabe M, Imanaga D, Sakai K, Matsumoto T, Nishioka M, Takami T, Suzuki N, Hazama S, Nagano H, Sakaida I, Yamasaki T. *Fusobacterium nucleatum* as a prognostic marker of colorectal cancer in a Japanese population. *J Gastroenterol*. 2018 Apr ; 53(4) 517-524
13. Nishiyama M, Tsunedomi R, Yoshimura K, Hashimoto N, Matsukuma S, Ogihara H, Kanekiyo S, Iida M, Sakamoto K, Suzuki N, Takeda S, Yamamoto S, Yoshino S, Ueno T, Hamamoto Y, Hazama S, Nagano H. Metastatic ability and the epithelial-mesenchymal transition in induced cancer stem-like hepatoma cells. *Cancer Sci*. 2018 Apr ; 109(4) 1101-1109

14. Kanekiyo S, Takeda S, Tsutsui M, Nishiyama M, Kitahara M, Shindo Y, Tokumitsu Y, Tomochika S, Tokuhisa Y, Iida M, Sakamoto K, Suzuki N, Yamamoto S, Yoshino S, Hazama S, Ueno T, Nagano H. Low invasiveness of thoracoscopic esophagectomy in the prone position for esophageal cancer: a propensity score-matched comparison of operative approaches between thoracoscopic and open esophagectomy. *Surg Endosc.* 2018 Apr ; 32(4) 1945-1953
15. Usui T, Sakurai M, Umata K, Elbadawy M, Ohama T, Yamawaki H, Hazama S, Takenouchi H, Nakajima M, Tsunedomi R, Suzuki N, Nagano H, Sato K, Kaneda M, Sasaki K. Hedgehog Signals Mediate Anti-Cancer Drug Resistance in Three-Dimensional Primary Colorectal Cancer Organoid Culture *Int J Mol Sci.* 2018 Apr ; 19(4)
16. Kawamura J, Sugiura F, Sukegawa Y, Yoshioka Y, Hida JI, Hazama S, Okuno K. Multicenter, phase II clinical trial of peptide vaccination with oral chemotherapy following curative resection for stage III colorectal cancer. *Oncol Lett.* 2018 Apr ; 15(4) 4241-4247
17. Kanekiyo S, Hazama S, Takenouchi H, Nakajima M, Shindo Y, Matsui H, Tokumitsu Y, Tomochika S, Tsunedomi R, Tokuhisa Y, Iida M, Sakamoto K, Suzuki N, Takeda S, Yamamoto S, Yoshino S, Okuno K, Udaka K, Kawakami Y, Matsueda S, Ito K, Nagano H. IgG response to MHC class I epitope peptides is a quantitative predictive biomarker in the early course of treatment of colorectal cancer using therapeutic peptides. *Oncology report.* 2018 May; 39
18. Pagès F, Mlecik B, Marliot F, Bindea G, Ou FS, Bifulco C, Lugli A, Zlobec I, Rau TT, Berger MD, Nagtegaal ID, Vink-Börger E, Hartmann A, Geppert C, Kolwelter J, Merkel S, Grützmann R, Van den Eynde M, Jouret-Mourin A, Kartheuser A, Léonard D, Remue C, Wang JY, Bavi P, Roehrl MHA, Ohashi PS, Nguyen LT, Han S, MacGregor HL, Hafezi-Bakhtiari S, Wouters BG, Masucci GV, Andersson EK, Zavadova E, Vocka M, Spacek J, Petruzella L, Konopasek B, Dundr P, Skalova H, Nemejcova K, Botti G, Tatangelo F, Delrio P, Ciliberto G, Maio M, Laghi L, Grzz F, Fredriksen T, Buttard B, Angelova M, Vasaturo A, Maby P, Church SE, Angell HK, Lafontaine L, Bruni D, El Sissy C, Haicheur N, Kirilovsky A, Berger A, Lagorce C, Meyers JP, Paustian C, Feng Z, Ballesteros-Merino C, Dijkstra J, van de Water C, van Lent-van Vliet S, Knijn N, Muşină AM, Scripcariu DV, Popivanova B, Xu M, Fujita T, Hazama S, Suzuki N, Nagano H, Okuno K, Torigoe T, Sato N, Furuhashi T, Takemasa I, Itoh K, Patel PS, Vora HH, Shah B, Patel JB, Rajvik KN, Pandya SJ, Shukla SN, Wang Y, Zhang G, Kawakami Y, Marincola FM, Ascierto PA, Sargent DJ, Fox BA, Galon J. International validation of the consensus Immunoscore for the classification of colon cancer: a prognostic and accuracy study. *Lancet.* 2018 May ; 391(10135) 2128-2139
19. Kawamura J, Sugiura F, Sukegawa Y, Yoshioka Y, Hida JI, Hazama S, Okuno K. Cytotoxic T lymphocyte response to peptide vaccination predicts survival in stage III colorectal cancer. *Cancer Sci.* 2018 May ; 109(5) 1545-1551
20. Kudo M, Ueshima K, Yokosuka O, Ogasawara S, Obi S, Izumi N, Aikata H, Nagano H, Hatano E, Sasaki Y, Hino K, Kumada T, Yamamoto K, Imai Y, Iwadou S, Ogawa C, Okusaka T, Kanai F, Akazawa K, Yoshimura K, Johnson P, Arai Y. Sorafenib plus low-dose cisplatin and fluorouracil hepatic arterial infusion chemotherapy versus sorafenib alone in patients with advanced hepatocellular carcinoma (SILIUS) : a randomised, open label, phase 3 trial. *Lancet Gastroenterol Hepatol.* 2018 Jun ; 3(6) 424-432
21. Hazama S, Tamada K, Yamaguchi Y, Kawakami Y, Nagano H. Current status of immunotherapy against gastrointestinal cancers and its biomarkers: Perspective for precision immunotherapy. *Ann Gastroenterol Surg.* 2018 Jun ; 2(4) 289a-303
22. Yamada T, Gotoh K, Marubashi S, Asaoka T, Miyamoto A, Kobayashi S, Eguchi H, Shimizu J, Kim Y, Tsujie M, Noda T, Yokoyama S, Takeda Y, Mori M, Doki Y, Nagano H. Comparison of Adverse Events and Outcomes Between Patients With and Without Drain Insertion After Hepatectomy: A Propensity Score-Matched, Multicenter, Prospective Observational Cohort Study in Japan (CSGO-HBP-001) *World J Surg* 2018 Aug ; 42(8) 2561–2569
23. Nagano H, Obi S, Hatano E, Kaneko S, Kanai F, Omata M, Tsuji A, Itamoto T, Yamamoto K, Tanaka M, Kubo S, Hirata K, Nakamura H, Tomimaru Y, Yamanaka T, Kojima S, Monden M. Multicenter, randomized, controlled trial of S-1 monotherapy versus S-1 and interferon- α combination therapy for hepatocellular carcinoma with extrahepatic metastases *Hepatol Res.* 2018 Aug ; 48(9) 717-726

24. Noguchi K, Konno M, Eguchi H, Kawamoto K, Mukai R, Nishida N, Koseki J, Wada H, Akita H, Satoh T, Marubashi S, Nagano H, Doki Y, Mori M, Ishii H. c-Met affects gemcitabine resistance during carcinogenesis in a mouse model of pancreatic cancer *Oncol Lett.* 2018 Aug ; 16(2) 1892-1898
25. Kanekiyo S, Takeda S, Iida M, Nishiyama M, Kitahara M, Shindo Y, Tokumitsu Y, Tomochika S, Tsunedomi R, Suzuki N, Abe T, Yoshino S, Hazama S, Ueno T, Nagano H. Efficacy of perioperative immunonutrition in esophageal cancer patients undergoing esophagectomy *Nutrition.* 2018 Aug ; 59 96-102
26. Iida M, Hazama S, Tsunedomi R, Tanaka H, Takenouchi H, Kanekiyo S, Tokumitsu Y, Tomochika S, Tokuhisa Y, Sakamoto K, Suzuki N, Takeda S, Ueno T, Yamamoto S, Yoshino S, Fujita K, Kuroda M, Nagano H. Overexpression of miR-221 and miR-222 in the cancer stroma is associated with malignant potential in colorectal cancer *Oncol Rep.* 2018 Sep ; 40(3) 1621-1631
27. Sakamoto K, Nagano H. Outcomes of surgery for hepatocellular carcinoma with tumor thrombus in the inferior vena cava or right atrium *Surg Today.* 2018 Sep ; 48(9) 819-824
28. Tomimaru Y, Eguchi H, Wada H, Doki Y, Mori M, Nagano H. Surgical outcomes of liver resection combined with inferior vena cava resection and reconstruction with artificial vascular graft *Dig Surg.* 2018 Sep 1-
29. Watanabe K, Yamamoto S, Sakaguti S, Isayama K, Oka M, Nagano H, Mizukami Y. A novel somatic mutation of SIN3A detected in breast cancer by whole-exome sequencing enhances cell proliferation through ER α expression *Sci Rep.* 2018 Oct ; 8(1)
30. Iwamoto S, Maeda H, Hazama S, Oba K, Okayama N, Suehiro Y, Yamasaki T, Suzuki N, Nagano H, Sakamoto J, Mishima H, Nagata N. Efficacy of CapeOX plus Cetuximab Treatment as a First-Line Therapy for Patients with Extended RAS/BRAF/PIK3CA Wild-Type Advanced or Metastatic Colorectal Cancer *J Cancer.* 2018 Oct ; 9(22) 4092-4098
31. Matsukuma S, Sakamoto K, Tokuhisa Y, Tokumitsu Y, Matsui H, Kanekiyo S, Tomochika S, Iida M, Suzuki N, Takeda S, Ueno T, Wada H, Kobayashi S, Saeki I, Eguchi H, Sakon M, Sakaida I, Nagano H. Outcomes following Liver resection for multinodular Barcelona Clinic Liver Cancer-B hepatocellular carcinoma *Oncol Lett.* 2018 Nov ; 16(5) 6383-6392
32. Maeda H, Okada KI, Fujii T, Oba MS, Kawai M, Hirono S, Kodera Y, Sho M, Akahori T, Shimizu Y, Ambo Y, Kondo N, Murakami Y, Ohuchida J, Eguchi H, Nagano H, Sakamoto J, Yamaue H. Transition of serum cytokines following pancreaticoduodenectomy: A subsidiary study of JAPAN-PD *Oncol Lett.* 2018 Nov ; 16(5) 6847-6853
33. Fujita Y, Kozawa J, Iwahashi H, Yoneda S, Uno S, Eguchi H, Nagano H, Imagawa A, Shimomura I. Human pancreatic α - to β -cell area ratio increases after type 2 diabetes onset *J Diabetes Investig.* 2018 Nov ; 9(6) 1270-1282
34. Takahashi M, Niitsu H, Sakamoto K, Hinoi T, Hattori M, Goto M, Bando H, Hazama S, Maeda K, Okita K, Horie H, Watanabe M. Survival benefit of lymph node dissection in surgery for colon cancer in elderly patients : A multicenter propensity score-matched study in Japan *Asian J Endosc Surg.* 2018 Nov ; 11(4) 346-354
35. Matsui H, Hazama S, Shindo Y, Nagano H. Combination treatment of advanced pancreatic cancer using novel vaccine and traditional therapies *Expert Rev Anticancer Ther.* 2018 Dec ; 18(12) 1205-1217
36. Nishida S, Ishikawa T, Egawa S, Koido S, Yanagimoto H, Ishii J, Kanno Y, Kokura S, Yasuda H, Oba MS, Sato M, Morimoto S, Fujiki F, Eguchi H, Nagano H, Kumanogoh A, Unno M, Kon M, Shimada H, Ito K, Homma S, Oka Y, Morita S, Sugiyama H. Combination gemcitabine and WT1 peptide vaccination improves progression-free survival in advanced pancreatic ductal adenocarcinoma. A phase II randomized study. *Cancer Immunol Res.* 2018 Mar ; 6(3) 320-331

和文論文

1. 山田健介、鈴木伸明、友近 忍、田中宏典、徳光幸生、兼清信介、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 腹腔鏡下切除を施行し得た左側大腸癌イレウスの3例 癌と化学療法 第45巻第1号 2018年1月
2. 永野浩昭 肝移植 最新醫學 別冊診断と治療のABC 131 肝硬変 2018年2月 株式会社最新医学社 157-163
3. 佐藤陽子、深光 岳、山本 滋、永野浩昭、濱野公一 術後肺転移、脳転移を来した乳腺間質肉腫の1例 山口医学別冊 第67巻第1号 2018年2月 43-48
4. 吉本裕紀、坂田晃一郎、林 秀知、千々松日香里、吉野茂文 十二指腸球部神経内分泌腫瘍の1例 日本臨床外科学会雑誌 第79巻 2号 別刷 2018年2月 344-349
5. 中島正夫、鈴木伸明、裕 彰一、永野浩昭 分子標的薬の免疫調節機能 消化器外科 4月号 第41巻 第4号 (通巻第512号) 2018年4月 へるす出版 497-499
6. 坂本和彦、永野浩昭 肝移植 臨牀消化器内科 第33巻 第6号 2018年5月 株式会社日本メディカルセンター 641-646
7. 徳光幸生、松隈 聡、坂本和彦、徳久善弘、松井洋人、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 敗血症性ショックに対する PMX-DHP の有用性 日本腹部救急医学会雑誌第38巻 第4号 2018年5月 643-648
8. 永野浩昭 ビギナーズ特集 臓器王国を冒険してレベルアップ！新人ナースのための消化器外科 術式別ドレーンクエスト 消化器外科 NURSING 第23巻 6号 (通巻298号) 2018年6月 株式会社メディカ出版 5
9. 山田健介、永野浩昭 ドレーンクエスト冒険の手引き Q&A 消化器外科 NURSING 第23巻 6号 (通巻298号) 2018年6月 株式会社メディカ出版 6-10
10. 兼清信介、武田 茂 胸部食道切除術の国 消化器外科 NURSING 第23巻 6号 (通巻298号) 2018年6月 株式会社メディカ出版 11-15
11. 田中宏典、鈴木伸明 直腸低位前方切除術の国 消化器外科 NURSING 第23巻 6号 (通巻298号) 2018年6月 株式会社メディカ出版 26-30
12. 松隈 聡、徳久善弘 肝部分切除術の国 消化器外科 NURSING 第23巻 6号 (通巻298号) 2018年6月 株式会社メディカ出版 31-35
13. 松井洋人、徳光幸生 臍頭十二指腸切除術の国 消化器外科 NURSING 第23巻 6号 (通巻298号) 2018年6月 株式会社メディカ出版 41-45
14. 永野浩昭 もっと知りたい特集 観察ポイントをクイックチェック！プラス5術式の排液地図 消化器外科 NURSING 第23巻 6号 (通巻298号) 2018年6月 株式会社メディカ出版 49
15. 中島正夫、飯田通久 鼠径ヘルニア手術 消化器外科 NURSING 第23巻 6号 (通巻298号) 2018年6月 株式会社メディカ出版 52-53
16. 木村祐太、友近 忍 イレウス解除術 [イレウス管、腹腔内ドレーン] 消化器外科 NURSING 第23巻 6号 (通巻298号) 2018年6月 株式会社メディカ出版 56-57
17. 佐伯一成、山崎隆弘、前田雅喜、田邊昌寛、徳久善弘、星井嘉信、永野浩昭、坂井田功 目で見る肝癌まれな画像所見を呈した巨大肝細胞癌の一例 The LIVER CANCER JOURNAL第10巻 第1号 (通巻33号) 2018年6月 メディカルレビュー社 5-11
18. 永野浩昭 HCC Best Practice 山口大学大学院医学系研究科消化器・腫瘍外科学教室における肝細胞癌治療の取り組み腹腔鏡手術を第一選択とした肝切除術を主に、肝移植や癌ペプチドワクチン療法なども選択肢として整備し、生存率の向上をめざす The LIVER CANCER JOURNAL第10巻 第1号 (通巻33号) 2018年6月 メディカルレビュー社 56-59
19. 裕 彰一、鈴木伸明、新藤芳太郎、中島正夫、永野浩昭 癌免疫カンファレンスルーム 消化器癌に対する癌免疫療法の臨床試験と抑制性免疫の解析 消化器外科 7月号第41巻 第8号 (通巻第516号) 2018年7月 へるす出版 1211-1215
20. 武田 茂、永野浩昭 局所陰圧閉鎖療法 消化器外科 11月号第41巻 第12号 (通巻第520号) 2018年11月 へるす出版 1683-1688
21. 兼清信介、裕 彰一、鈴木伸明、武田 茂、上野富雄、永野浩昭 ネオアンチゲンをを用いた癌治療 消化器外科 11月号第41巻 第12号 (通巻第520号) 2018年11月 へるす出版 1689-1692
22. 松隈 聡、徳光幸生、永野浩昭 肝嚢胞開窓術 改訂第2版5年でマスター 消化器標準手術消化器外科専門医への道 2018年12月 株式会社メジカルビュー社 298-303
23. 梶邑泰子、田中芳紀、能野翔太、田中真由美、中邑幸伸、湯尻俊昭、松隈 聡、永野浩昭、松隈知恵、高橋一雅、長谷川俊史、谷澤幸生 妊娠中に脾摘および頻回の免疫グロブリン大量療法を要した難治性特発性血小板減少性紫斑病 臨床血液第59巻 第12号 2018年12月 2574-2577

The Asian Pacific Association for the Study of the Liver APASL Single Topic Conference in Yokohama "HCC: Strategy in the New Era" 2018 5/11-13 5/13 PACIFICO Yokohama Kanagawa

1. Nagano H. Oral Free Papers 24: TACE, HAIC & Vascular Interventions ① Chair Person
2. Nakajima M, Tokuhisa Y, Matsukuma S, Matsui H, Tokumitsu Y, Tomochika S, Kanekiyo S, Iida M, Sakamoto K, Suzuki N, Takeda S, Yoshino S, Hazama S, Ueno T, Nagano H Sustained Virological Response before Curative Resection for HCC Improve Survival in Patients with Hepatitis C Virus Infection Oral Free Papers.
3. Matsui H, Tokuhisa Y, Matsukuma S, Tokumitsu Y, Kanekiyo S, Tomochika S, Iida M, Suzuki N, Takeda S, Ueno T, Wada H, Kobayashi S, Eguchi H, Sakon M, Nagano H Outcomes after Hepatectomy for Multinodular Barcelona Clinic Liver Cancer-B HCC. Poster Free Paper

2018 ASCO ANNUAL MEETING 6/1-6/5 Chicago

1. Hazama S, Tamada K, Udaka K, Koki Y, Uematsu T, Arima H, Satoh T, Doi S, Miyakawa T, Matsui H, Kanekiyo S, Tokumitsu Y, Sakamoto K, Suzuki N, Takeda S, Yamamoto S, Yoshino S, Ueno T, Nagano H. A phase I study of multi-HLA-binding HSP70 + GPC3 peptides and combination adjuvants of LAG3-Ig + PolyICLC against gastrointestinal cancers

ISDE 2018 The 16th World Congress of the International Society for Diseases of the Esophagus 9/16-9/19 Vienna, Austria

1. Tokuhisa A, Kanekiyo S, Takeda S, Nagano H. Investigation of Nutritional Indicators Comparing Reconstruction Route after Esophagectomy. Poster Session
2. Yoshino S, Takeda S, Kanekiyo S, Kitahara M, Nishiyama M, Iida M, Suzuki N, Tokuhisa Y, Tomochika S, Tokumitsu Y, Ueno T, Hazama S, Nagano H Prediction of Prognosis by Evaluating Relative Change in FDG-Uptake of the Metastatic Lymph Nodes after Neoadjuvant Chemotherapy in Esophageal Squamous Cell Carcinoma. Poster Session
3. Kanekiyo S, Takeda S, Iida M, Nishiyama M, Kitahara M, Tokumitsu Y, Tomochika S, Suzuki N, Yoshino S, Hazama S, Nagano H. Efficacy of Perioperative Immunonutrition of Esophagectomy for Esophageal Cancer. Poster Session
4. Nishiyama M, Takeda S, Kanekiyo S, Kitahara M, Iida M, Tokumitsu Y, Tomochika S, Tokuhisa Y, Suzuki N, Yoshino S, Hazama S, Ueno T, Nagano H. Analysis of Prognostic Factors in Recurrence Cases after Surgery for Esophageal Squamous Cell Carcinoma. Poster Session

23rd World Congress on Advances in Oncology and 22nd International Symposium on Molecular Medicine. 9/20-22 Athens, Greece

1. R. Tsunedomi, K. Yoshimura, S. Kanekiyo, Y. Tokumitsu, S. Tomochika, M. Iida, N. Suzuki, S. Takeda, S. Yamamoto, S. Yoshino, S. Hazama, T. Ueno, H. Nagano RAB3B was identified as a gene involved in characteristics of induced cancer stem-like sphere cells. Scientific Program.
2. R. Tsunedomi, B.C. Valdez, CLINICAL ONCOLOGY/MOLECULAR ONCOLOGY Chair Person.

SITC 2018 Society for Immunotherapy of Cancer 11/7-11 Walter E. Washington Convention Center Washington, D.C

1. Nakajima M, Hazama S, Tamada K, Udaka K, Kouki Y, Uematsu T, Arima H, Doi S, Matsui H, Kanekiyo S, Shindo Y, Tokumitsu Y, Tomochika S, Yoshida S, Iida M, Suzuki N, Takeda S, Yamamoto S, Yoshino S, Ueno T, Nagano H. AI-designed dual peptide vaccine plus novel combination adjuvant showed markedly induction of antigen-specific CTLs with disease stabilization in last line patients with GI cancers Regular poster abstract presentations

国内学会・研究会 発表・司会

第88回大腸癌研究会 1/26 東京 都市センターホテル

1. 友近忍、碓 彰一、鈴木伸明、桑原太一、田中宏典、兼清信介、徳光幸生、飯田通久、徳久善弘、坂本和彦、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、藤田知信、上野富雄、河上 裕、永野浩昭 Stage II /III大腸癌における予後予測マーカーとしての免疫関連因子の検討 口演
2. 鈴木伸明、友近 忍、田中宏典、中島千代、藤本拓也、松隈聰、松井洋人、北原正博、徳光幸生、兼清信介、徳久善弘、飯田通久、武田茂、山本滋、吉野茂文、碓彰一、上野富雄、永野浩昭 当科におけるStageII結腸癌症例の再発リスク因子検討 示説
3. 田中宏典、鈴木伸明、友近 忍、徳光幸生、兼清信介、徳久善弘、飯田通久、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 StageI-III大腸癌における腫瘍占拠部位の意義と遺伝子変異 示説

第90回日本胃癌学会総会 3/7-9 3/8 神奈川 パシフィコ横浜

1. 飯田通久、武田 茂、兼清信介、中島千代、西山光郎、北原正博、徳光幸生、友近 忍、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、山本 滋、吉野茂文、碓彰一、上野富雄、永野浩昭 幽門側胃切除術後残胃癌の臨床病理学的特徴と治療戦略 ポスター
2. 西山光郎、武田 茂、飯田通久、兼清信介、中島千代、北原正博、徳光幸生、友近 忍、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 GIST手術症例の検討 ポスター

第118回日本外科学会定期学術集会 4/5-7 東京 東京国際フォーラム JP タワーホール&カンファレンス

1. 永野浩昭 ポスターセッション (39) 肝臓-鏡視下手術-2 ポスターセッション 司会
2. 田中宏典、鈴木伸明、友近 忍、徳光幸生、兼清信介、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 大腸癌同時性肝転移における術前化学療法の意義 サージカルフォーラム
3. 兼清信介、武田 茂、飯田通久、中島千代、西山光郎、北原正博、徳光幸生、友近 忍、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 胸部食道癌根治切除後の予後規定因子の検討 サージカルフォーラム
4. 徳光幸生、坂本和彦、徳久善弘、松隈 聰、松井洋人、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 腹腔鏡下系統的肝切除を行うための最近の工夫と現状 サージカルフォーラム
5. 中島千代、武田 茂、飯田通久、兼清信介、北原正博、西山光郎、中島正夫、藤本拓也、田中宏典、松隈 聰、松井洋人、徳光幸生、友近 忍、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科における腹腔鏡下幽門側胃切除術 D2 郭清の成績 ポスターセッション
6. 西山光郎、武田 茂、飯田通久、兼清信介、中島千代、北原正博、徳光幸生、友近 忍、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 幽門側胃切除を施行した胃癌症例における抗血栓薬内服と術後合併症の関連 ポスターセッション
7. 山本常則、飯田通久、武田 茂、兼清信介、徳光幸生、友近 忍、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、碓 彰一、吉野茂文、上野富雄、永野浩昭 腹腔鏡下胃切除術における肥満の影響 ポスターセッション
8. 桑原太一、坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、中島正夫、藤本拓也、松隈 聰、松井洋人、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 門脈内腫瘍栓合併肝細胞癌に対する術前放射線治療の検討 ポスターセッション
9. 中島正夫、坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、松井洋人、松隈 聰、藤本拓也、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 術前 SVR は原発性肝細胞癌の肝切除後予後を改善させる ポスターセッション
10. 佐藤陽子、山本 滋、前田訓子、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、長島由紀子、久保秀文、永野浩昭 再発乳がんにおけるフルベストラントの使用経験 ポスターセッション
11. 前田訓子、山本 滋、佐藤陽子、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、長島由紀子、久保秀文、永野浩昭 乳癌術後補助 TC (Docetaxel + Cyclophosphamide) 療法における一次予防 Pegfilgrastim 適応症例の検討 ポスターセッション
12. 飯田通久、武田 茂、兼清信介、西山光郎、北原正博、中島千代、徳光幸生、友近 忍、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 80 歳以上高齢者胃癌に対する幽門側胃切除術の成績 ポスターセッション
13. 北原正博、武田 茂、飯田通久、兼清信介、中島千代、西山光郎、徳光幸生、友近 忍、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 食道癌術前化学療法施行症例における FDG-PET の有用性 ポスターセッション

14. 徳久善弘、坂本和彦、徳光幸生、松隈 聡、中島正夫、藤本拓也、松井洋人、友近 忍、兼清信介、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科における進行胆嚢癌に対する外科治療成績 ポスターセッション
15. 藤原康弘、坂本和彦、松隈 聡、中島正夫、藤本拓也、松井洋人、徳光幸生、兼清信介、友近 忍、徳久善弘、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 膵頭十二指腸切除におけるドレーン排液監視培養による術後感染性合併症の予測 ポスターセッション
16. 松隈 聡、坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、松井洋人、藤本拓也、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 mFOLFIRINOX/GEM+nabPTX 時代の Boreline resectable, unresectable 膵癌に対する当科の治療方針と成績 ポスターセッション
17. 鈴木伸明、友近 忍、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科における下部進行直腸癌に対する側方郭清の適応 ポスターセッション
18. 吉野茂文、武田 茂、鈴木伸明、坂本和彦、飯田通久、徳久善弘、友近 忍、兼清信介、徳光幸生、北原正博、西山光郎、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 3 週間隔 NabPaclitaxel療法による胃癌化学療法の低用量投与の意義と効果発現予測の検討 ポスターセッション
19. 武田 茂、兼清信介、飯田通久、北原正博、西山光郎、中島千代、徳光幸生、友近 忍、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、山本 滋、吉野茂文、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 早期在宅経腸栄養による食道癌術後栄養管理の検討 ポスターセッション
20. 藤本拓也、坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、松井洋人、松隈 聡、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科における膵癌に対する膵頭十二指腸切除後の脂肪肝発症リスク因子に関する検討 ポスターセッション
21. 山本 滋、前田訓子、佐藤陽子、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、長島由紀子、久保秀文、永野浩昭 乳癌センチネルリンパ節の macro 転移症例における腋窩非センチネルリンパ節転移に関する因子の検討 ポスターセッション
22. 富丸慶人、江口英利、岩上佳史、和田浩志、山田大作、浅岡忠史、野田剛広、後藤邦仁、小林省吾、堂野恵三、土岐祐一郎、森 正樹、永野浩昭 人工血管を用いた下大静脈再建を併施した肝切除術の手術成績 ポスターセッション
23. 裕 彰一、鈴木伸明、桑原太一、友近 忍、田中宏典、中島正夫、松井洋人、兼清信介、徳光幸生、坂本和彦、飯田通久、徳久善弘、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、河上 裕、藤田知信、奥野清隆、上野富雄、永野浩昭 新しい大腸癌術後再発予測マーカーとしての「Immunoscore」のインパクト サージカルフォーラム

第6回がんと代謝研究会 5/10-11 鹿児島 奄美観光ホテル

1. 恒富亮一、西山光郎、松隈 聡、鈴木伸明、武田 茂、山本滋、吉野茂文、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭がん幹細胞様細胞におけるCD44 isoforms 発現 ポスターセッション

第72回手術手技研究会 5/11-12 徳島 ルネッサンスリゾートナルト

1. 永野浩昭 主題2：手術ナビゲーションの Serendipity 主題Ⅱ-2 肝胆膵 司会
2. 兼清信介、武田 茂、飯田通久、西山光郎、北原正博、徳久善弘、鈴木伸明、山本 滋、吉野茂文、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 リンパ流を意識した食道癌頸部リンパ節郭清術 デジタルポスター
3. 飯田通久、武田 茂、兼清信介、北原正博、徳光幸生、友近 忍、鈴木伸明、山本 滋、裕 彰一、吉野茂文、上野富雄、永野浩昭 腹腔鏡下胃全摘 D2-No10 郭清の定型化に向けて デジタルポスター
4. 徳光幸生、坂本和彦、徳久善弘、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 腹腔鏡下肝切除における肝門部グリソン確保の工夫 デジタルポスター
5. 友近 忍、鈴木伸明、田中宏典、徳光幸生、兼清信介、徳久善弘、飯田通久、武田 茂、吉野茂文、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 腹腔鏡下横行結腸癌手術における安全・確実な#223郭清方法 デジタルポスター
6. 鈴木伸明、友近 忍、田中宏典、兼清信介、徳久善弘、飯田通久、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 直腸脱に対する腹腔鏡下直腸固定術の術式変遷と再発例の検討 デジタルポスター
7. 前田訓子、山本 滋、佐藤陽子、鈴木伸明、武田 茂、長島由紀子、久保秀文、永野浩昭 乳房下溝線部脂肪筋膜弁を用いた乳房温存術後一期的再建法 ケースデジタルポスター
8. 松隈 聡、徳久善弘、徳光幸生、松井洋人、坂本和彦、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 右胃大網動脈を用いた肝動脈切除・再建を伴う膵頭十二指腸切除の一例 ケースデジタルポスター

第36回日本肝移植研究会 5/25-26 東京 伊藤国際学術研究センター

1. 永野浩昭 要望演題3 レシピエントの周術期管理の工夫 要望演題 司会
2. 松隈 聡、坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、松井洋人、石川 剛、高見太郎、桑原太一、藤原康弘、山田健介、中島正夫、藤本拓也、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、裕 彰一、上野富雄、和田浩志、後藤邦仁、坂井田功、永野浩昭 肝移植再開：山口大学の経験 一般演題
3. 中島正夫、徳久善弘、松隈 聡、松井洋人、藤本拓也、徳光幸生、兼清信介、友近 忍、飯田通久、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭早期の診断と治療により改善し得た生体肝移植術後 passenger lymphocyte syndrome の1例 一般演題
4. 藤原康弘、徳久善弘、徳光幸生、松隈 聡、松井洋人、藤本拓也、兼清信介、友近 忍、飯田通久、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、裕 彰一、上野富雄、和田浩志、後藤邦仁、永野浩昭 下腸間膜静脈グラフト間置による中肝静脈を再建した肝移植ドナー手術の一例 一般演題
5. 永野浩昭 イブニングセミナー2 肝移植 -大阪での経験と山口での再開- イブニングセミナー
6. 山本常則、徳久善弘、徳光幸生、松隈 聡、松井洋人、兼清信介、友近 忍、飯田通久、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、山本 滋、白源清貴、松本 聡、吉野茂文、裕 彰一、上野富雄、和田浩志、後藤邦仁、永野浩昭 生体肝移植術後管理における動脈圧波形を用いた心拍出量モニタリングの有用性の検討 要望演題
7. 中村鮎美、増本早姫、久賀千恵子、山本奈美、利重典子、森下菜緒子、國澤香織、山下順子、松隈 聡、坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、松井洋人、鈴木伸明、武田 茂、永野浩昭 生体肝移植再開における病棟の準備経験とこれから 一般演題

第27回日本癌病態治療研究会 5/31-6/1 千葉 ホテルポートプラザちば

1. 兼清信介、裕 彰一、恒富亮一、桑原太一、中島正夫、田中宏典、竹之内寛子、松井洋人、鈴木伸明、友近 忍、徳光幸生、飯田通久、徳久善弘、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、上野富雄、永野浩昭 分子腫瘍学研究に基づく新規免疫療法の開発と展望 シンポジウム

第30回日本肝胆膵外科学会・学術集会 6/7-9 神奈川 パシフィコ横浜

1. Nagano H. Educational Seminar 4 Management of Severe Complications in HBP Surgery Educational Seminar
2. Nagano H Evening Seminar 2 [Japanese] The effectiveness of the next generation wearable surgical lighting system (made in Japan) in open surgeries, guided by visible li Evening Seminar
2. Fujiwara Y, Tokuhisa Y, Yamada K, Kuwahara T, Nakajima M, Fujimoto T, Matsukuma S, Matsui H, Tokumitsu Y, Kanekiyo S, Tomochika S, Iida M, Sakamoto K, Suzuki N, Takeda S, Yoshino S, Hazama S, Ueno T, Nagano H. A case of living donor with reconstruction of hepatic venous using inferior mesenteric vein Poster
3. Matsukuma S, Sakamoto K, Tokuhisa Y, Tokumitsu Y, Matsui H, Kuwahara T, Fujiwara Y, Yamada K, Nakajima M, Fujimoto T, Kanekiyo S, Tomochika S, Iida M, Suzuki N, Takeda S, Yoshino S, Hazama S, Ueno T, Nagano H. Living donor liver transplantation in Yamaguchi University Hospital : Past, Present and Future Poster
4. Tokumitsu Y, Tokuhisa Y, Sakamoto K, Yamada K, Kuwahara T, Fujiwara Y, Nakajima M, Fujimoto T, Matsui H, Matsukuma S, Kanekiyo S, Tomochika S, Iida M, Suzuki N, Takeda S, Yoshino S, Hazama S, Ueno T, Nagano H. The standardization of laparoscopic anatomical liver resection on the basis of the technique to provide a clear view of the operation field Poster
5. Yamada K, Tokumitsu Y, Tokuhisa Y, Kuwahara T, Fujiwara Y, Nakajima M, Fujimoto T, Matsukuma S, Matsui H, Kanekiyo S, Tomochika S, Iida M, Sakamoto K, Suzuki N, Takeda S, Yoshino S, Hazama S, Ueno T, Nagano H. Laparoscopic whole-layer cholecystectomy or gallbladder bed resection for suspected gallbladder cancer Poster
6. Shindo Y, Mazhar Kanak A., Rebecca L. Heise, Nakajima M, Fujimoto T, Matsukuma S, Matsui H, Tokumitsu Y, Tokuhisa Y, Marlon Levy F., Nagano H. Extracellular Matrix from Pancreas Improves Human Islet Function In vitro Poster
7. Fujimoto T, Tokuhisa Y, Yamada K, Kuwahara T, Fujiwara Y, Nakashima M, Matsukuma S, Matsui H, Tokumitsu Y, Tomochika S, Kanekiyo S, Iida M, Sakamoto K, Suzuki N, Takeda S, Yoshino S, Hazama S, Ueno T, Nagano H. Two cases of successful subtotal stomach-preserving pancreaticoduodenectomy with hepatic artery resection after chemotherapy for locally advanced pancreatic head cancer Poster

8. Matsui H, Tokuhisa Y, Tokumitsu Y, Yamada K, Kuwahara T, Fujiwara Y, Nakajima M, Fujimoto T, Matsukuma S, Sakamoto K, Kanekiyo S, Tomochika S, Iida M, Suzuki N, Takeda S, Yoshino S, Hazama S, Ueno T, Nagano H. Treatment outcome of the Borderline Resectable / Unresectable Pancreatic Cancer in Our Department Poster
9. Kuwahara T, Tokuhisa Y, Tokumitsu Y, Yamada K, Fujiwara Y, Nakajima M, Fujimoto T, Matsukuma S, Matsui H, Kanekiyo S, Tomochika S, Iida M, Sakamoto K, Suzuki N, Takeda S, Yoshino S, Hazama S, Ueno T, Nagano H. A case of resection of local recurrent pheochromocytoma Poster
10. Takeda Y, Eguchi H, Takahashi H, Nakahira S, Kashiwazaki M, Shimizu J, Ohmura Y, Katsura Y, Nagano H, Sakai D, Isohashi F, Mori M, Doki Y. A prospective, open-label, multicenter phase II trial of neoadjuvant therapy using full-dose of gemcitabine and S-1 concurrent with radiation for resectable pancreatic adenocarcinoma Mini-Symposium
11. Nakajima M, Tokuhisa Y, Yamada K, Kuwahara T, Fujiwara Y, Fujimoto T, Matsukuma S, Matsui H, Tokumitsu Y, Tomochika S, Kanekiyo S, Iida M, Sakamoto K, Suzuki N, Takeda S, Yoshino S, Hazama S, Ueno T, Nagano H. A case report of the patient with passenger lymphocyte syndrome who received urgent diagnosis and treatment by weekly DAT after liver transplantation Poster

第54回日本肝臓学会総会 6/14-15 大阪 リーガロイヤルNCB 大阪国際会議場

1. 永野浩昭 セッション24 肝癌臨床5 セッション（一般口演）司会
2. 味木徹夫、波多野悦朗、永野浩昭 肝内胆管癌集学的治療に関する多施設共同試験の現状と展望（KHBOの取り組み） ワークショップ
3. 松隈 聡、坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、松井洋人、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、和田浩志、左近賢人、小林省吾、江口英利、永野浩昭 Barcelona Clinic Liver Cancer Classification intermediate stage : BCLC B に対する肝切除後予後因子の解析 セッション（一般口演）
4. 徳光幸生、坂本和彦、徳久善弘、松隈 聡、松井洋人、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、後藤邦仁、小林省吾、江口英利、友國 晃、和田浩志、上野富雄、永野浩昭 肝細胞癌術後患者における MITS score の予後予測能の検証セッション（一般口演）
5. 中島正夫、徳久善弘、徳光幸生、松隈 聡、松井洋人、藤本拓也、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 術前SVRが肝細胞癌切除後長期予後に及ぼす影響の検討 セッション（一般口演）

第40回日本癌局所療法研究会 6/15 東京 都市センターホテル

1. 永野浩昭 主題1 動注療法/ 動脈塞栓療法の意義と展望 主題 司会
2. 吉野茂文 一般演題 胃9 症例1 一般演題
3. 木村祐太、徳久善弘、徳光幸生、松隈 聡、松井洋人、藤本拓也、兼清信介、友近 忍、飯田通久、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 門脈内腫瘍栓に対する肝動注化学療法と外科切除 主題
4. 佐藤陽子、山本 滋、前田訓子、鈴木伸明、武田 茂、長島由紀子、久保秀文、永野浩昭 原発巣切除を施行したStage4 乳がんの検討 主題
5. 飯田通久、岡本健志、原田栄二郎、南 佳秀、宮崎健介、武田 茂、鈴木伸明、兼清信介、吉野茂文、坂井田功、濱野公一、東 端智、永野浩昭 山口県における胃癌2 次化学療法の現況および意識調査 一般演題
6. 山本常則、鈴木伸明、田中宏典、友近 忍、徳光幸生、兼清信介、徳久善弘、飯田通久、武田 茂、山本 滋、碓 彰一、吉野茂文、上野富雄、永野浩昭 腸骨浸潤を伴う盲腸癌局所再々発に対して腸骨合併切除術を施行した1 例 一般演題
7. 桑原太一、徳久善弘、藤原康弘、中島正夫、藤本拓也、松隈 聡、松井洋人、徳光幸生、兼清信介、友近 忍、飯田通久、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 肝門部胆管癌術後に生じた挙上空腸静脈瘤出血の2例 一般演題
8. 藤原康弘、徳久善弘、中島正夫、藤本拓也、松隈 聡、北原正博、松井洋人、徳光幸生、兼清信介、友近 忍、飯田通久、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、上野富雄、吉野茂文、碓 彰一、永野浩昭 幽門側胃切除後の臍体尾部癌に対して腹腔動脈合併臍体尾部切除を施行した1例 一般演題

第35回日本胆膵病態・生理研究会 6/16 愛知 JPタワー名古屋

1. 新藤芳太郎、徳光幸生、坂本和彦、徳久善弘、松井洋人、松隈 聡、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 肝動脈合併切除・再建を施行した肝門部領域胆管癌の2 例 一般演題
2. 山田健介、徳光幸生、坂本和彦、徳久善弘、松井洋人、松隈 聡、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 膵癌根治切除後のPositron Emission Tomography の予後予測因子としての有用性に関する検討 主題

第72回日本食道学会学術集会 6/28-29 栃木 ホテル東日本宇都宮

1. 北原正博、武田 茂、兼清信介、飯田通久、徳久善弘、鈴木伸明、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 同時性頭頸部重複癌を有する食道癌手術症例の検討 一般演題ポスター
2. 兼清信介、武田 茂、飯田通久、西山光郎、北原正博、鈴木伸明、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 食道癌術後ARDS発症例の臨床背景とリスクファクター 一般演題ポスター
3. 西山光郎、武田 茂、兼清信介、北原正博、飯田通久、鈴木伸明、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 食道癌手術症例における抗血栓薬内服と術後合併症の関連一般演題ポスター
4. 武田 茂、兼清信介、飯田通久、北原正博、西山光郎、鈴木伸明、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 チーム医療による食道癌周術期管理の実践 一般演題ポスター

第54回日本肝癌研究会 6/28-29 福岡 久留米医シティプラザ

1. 松井洋人、徳久善弘、徳光幸生、松隈 聡、中島正夫、兼清信介、友近 忍、飯田通久、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 後期高齢者の肝細胞癌切除症例の治療成績 一般演題（口演）
2. 松隈 聡、恒富亮一、西山光郎、松井洋人、徳光幸生、徳久善弘、坂本和彦、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、吉村 清、永野浩昭 肝癌細胞株から誘導した癌幹細胞の転移能解析 一般演題（口演）
3. 徳光幸生、坂本和彦、徳久善弘、松隈 聡、松井洋人、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 術後早期回復と呼吸器合併症低減を目指した完全鏡視下肝右葉尾側亜区域（S5/6）切除 一般演題（口演）
4. 中島正夫、和田浩志、小林省吾、友國 晃、高橋秀典、徳久善弘、徳光幸生、松井洋人、松隈 聡、飯田通久、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、江口英利、永野浩昭 術前SVRは肝細胞癌の肝切除後予後を改善させる シンポジウム
5. 木村祐太、徳久善弘、徳光幸生、松隈 聡、松井洋人、藤本拓也、兼清信介、友近 忍、飯田通久、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 大腸癌同時性多発肝転移の治療成績 ワークショップ

第49回日本脾臓学会大会 6/29-30 6/29 和歌山 ホテルアバローム紀の国

1. 永野浩昭 術後合併症3 一般演題（口演）司会

第25回外科侵襲とサイトカイン研究会 7/5 大阪 大阪国際会議場

1. 永野浩昭 ワークショップ1 「肝」 ワークショップ 司会
2. 兼清信介、武田 茂、飯田通久、山本常則、西山光郎、徳光幸生、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 サイトカインから見た腹臥位胸腔鏡下食道切除術の低侵襲性の検討 ワークショップ

第89回大腸癌研究会 7/6 新潟 朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター

1. 吉田 晋、鈴木伸明、友近 忍、徳光幸生、兼清信介、前田訓子、飯田通久、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 リンパ節郭清を施行した大腸pSM癌の臨床病理学的因子と予後の検討 示説

第73回日本消化器外科学会総会 7/11-13 鹿児島 城山ホテル鹿児島 かがしま県民交流センター

1. 吉野茂文 デジタルポスター3 食道:基礎3 デジタルポスター 司会
2. 永野浩昭 特別企画2 消化器外科の事故を未然に防ぐ医療安全対策 特別企画 司会
3. 永野浩昭 ランチョンセミナー24 肝細胞癌の新たな治療戦略 ランチョンセミナー 司会
4. 碓 彰一 要望演題10-3 【大腸】他臓器浸潤大腸癌に対する治療戦略 要望演題 司会
5. 飯田通久、武田 茂、兼清信介、北原正博、西山光郎、鈴木伸明、碓 彰一、吉野茂文、上野富雄、永野浩昭 胃癌に対するESD 後非治癒切除例の検討 要望演題
6. 山本常則、飯田通久、武田 茂、兼清信介、徳久善弘、鈴木伸明、碓 彰一、吉野茂文、上野富雄、永野浩昭 食道癌手術症例における術前サルコペニアの影響 デジタルポスター
7. 木村祐太、鈴木伸明、友近 忍、飯田通久、徳久善弘、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科における大腸癌同時性肝転移の治療成績 デジタルポスター
8. 友近 忍、鈴木伸明、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 頭側アプローチによる腹腔鏡下横行結腸癌手術の定型化 デジタルポスター
9. 藤原康弘、徳久善弘、徳光幸生、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 脾癌に対する脾頭十二指腸切除症例における術前栄養状態と手術成績の検討 デジタルポスター

10. 北原正博、武田 茂、兼清信介、飯田通久、徳久善弘、鈴木伸明、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 食道癌術後乳び胸に対するICG 蛍光法を用いた胸腔鏡下胸管結紮術 要望演題
11. 吉野茂文、武田 茂、鈴木伸明、飯田通久、徳久善弘、兼清信介、碓 彰一、上野富雄、山崎隆弘、永野浩昭 当院における免疫チェックポイント阻害薬関連有害事象マネジメント連携の構築 デジタルポスター
12. 中島千代、鈴木伸明、友近 忍、田中宏典、飯田通久、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科における深達度別にみた結腸・直腸癌の再発リスクの検討 デジタルポスター
13. 徳光幸生、坂本和彦、徳久善弘、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 腹腔鏡下葉切除を安全・確実にを行うための術野展開の工夫 デジタルポスター
14. 武田 茂、兼清信介、飯田通久、北原正博、徳久善弘、鈴木伸明、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 胸腔鏡下食道切除術における周術期チーム医療の実践 デジタルポスター
15. 中島正夫、徳久善弘、徳光幸生、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 完全鏡視下再肝切除術における手術難度評価因子の検討 要望演題
16. 兼清信介、武田 茂、飯田通久、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 胸腔鏡下食道切除術における腔内牽引器と左反回神経モニタリングを使用した左上縦郭リンパ節郭清の工夫 デジタルポスター
17. 田中宏典、鈴木伸明、友近 忍、徳久善弘、飯田通久、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 骨盤内における他臓器浸潤大腸癌の検討 要望演題
18. 恒富亮一、吉村 清、松隈 聡、徳久善弘、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、永野浩昭 誘導癌幹細胞における免疫逃避機構の検討 デジタルポスター
19. Hazama S, Suzuki N, Kanekiyo S, Sakamoto K, Iida M, Tokuhisa Y, Takeda S, Yoshino S, Tamada K, Nagano H. Current status and future perspectives of immunotherapy for gastrointestinal cancer ワークショップ
20. Suzuki N, Tomochika S, Tanaka H, Tokuhisa Y, Iida M, Takeda S, Yoshino S, Hazama S, Ueno T, Nagano H. Cranial approach technique for lymphadenectomy of the surgical trunk for right-sided colon cancer ビデオシンポジウム
21. 藤本拓也、徳久善弘、徳光幸生、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科における鏡視下肝離断の定型化について～ソフト凝固2 台併用法と肝離断面展開の工夫～ 要望演題ビデオ
22. 藤原信行、碓 彰一、友近 忍、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、大浜 剛、佐藤晃一、上野富雄、永野浩昭 Protein phosphatase 6 は大腸癌の悪性化に関与する デジタルポスター
23. 西山光郎、武田 茂、飯田通久、兼清信介、北原正博、鈴木伸明、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 腹腔鏡下胃全摘症例における術前サルコペニアの臨床的意義の検討 デジタルポスター
24. 新藤芳太郎、Kanak A, Mazhar, 飯田通久、徳久善弘、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、Marlon Levy F., 永野浩昭 ヒト臍島分離後における細胞培養・低温保存における臍島機能評価 デジタルポスター
25. 松隈 聡、徳久善弘、徳光幸生、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 胆道癌に対する術前治療の意義 デジタルポスター
26. 波多野悦朗、瀬尾 智、永野浩昭、井岡達也 進行胆道癌に対するgemcitabine/cisplatin/S-1(GCS) 療法による術前化学療法デジタルポスター

第16回日本臨床腫瘍学会学術集会 7/19-21 兵庫 神戸国際展示場

1. 吉野茂文、武田 茂、鈴木伸明、飯田通久、友近 忍、兼清信介、徳光幸生、山本 滋、碓 彰一、上野富雄、山崎隆弘、永野浩昭 病院間連携を見据えた irAE マネジメント連携の構築 ポスターセッション

第22回日本がん免疫学会総会 8/1-3 岡山 岡山コンベンションセンター

1. 谷口智憲、宮内 翼、藤田知信、岩田 卓、碓 彰一、河上 裕 大腸癌におけるCD44陽性分画は、プロテアーゼ阻害活性を持つPI-Xを高発現し、抗腫瘍T細胞に対して耐性を示す 一般演題(口演)
2. 中島正夫、碓 彰一、玉田耕治、宇高恵子、構木康信、上松俊成、有馬秀樹、土肥 俊、宮川友也、松井洋人、兼清信介、徳光幸生、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、上野富雄、永野浩昭 Novel phase I trial of multi-HLA-binding peptides with new combinatorial immune adjuvants against solid cancers 一般演題(口演)

第45回日本痔切研究会 8/24-25 北海道 ホテルニューオータニ札幌

1. 桑原太一、徳光幸生、松井洋人、新藤芳太郎、松隈 聡、中島正夫、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、上野富雄、永野浩昭 右胃大網動脈を用いて肝動脈切除・再建を伴う臍頭十二指腸切除を施行した1 例 ポスター
2. 松井洋人、徳光幸生、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 臍頭十二指腸切除術後の臍液瘻に対する術前危険因子の検討 ポスター

第93回中国四国外科学会総会第23回中国四国内視鏡外科研究会 9/6-7 広島 広島県医師会館

1. 武田 茂 食道・胃2 一般演題 司会
2. 永野浩昭 ランチョンセミナー3 ランチョンセミナー 司会
3. 永野浩昭 平成30年度 第26回日本外科学会生涯教育セミナー（中国・四国地区）最新の診断技術 教育セミナー 司会
4. 西山光郎、武田 茂、兼清信介、飯田通久、徳光幸生、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、山本 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 胸部食道癌術後に食道裂孔ヘルニアをきたした4例 一般演題
5. 山本常則、武田 茂、兼清信介、西山光郎、徳光幸生、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 胸部中部食道癌における術中迅速を用いた郭清範囲の個別化の検討 一般演題
6. 徳光幸生、坂本和彦、徳久善弘、松隈 聡、松井洋人、新藤芳太郎、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 右側尾状葉領域の小腫瘍に対する腹腔鏡下肝部分切除 一般演題
7. 新藤芳太郎、徳光幸生、坂本和彦、松井洋人、兼清信介、友近 忍、飯田通久、徳久善弘、吉田 晋、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 膵癌切除後の予後予測因子としての術前 Positron Emission Tomography の有用性 一般演題
8. 千々松日香里、山本 滋、前田訓子、鈴木伸明、武田 茂、永野浩昭 手術不能・再発乳癌に対する Palbociclib 使用例の有害事象に関する検討 一般演題
9. 木村祐太、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、徳光幸生、兼清信介、飯田通久、徳久善弘、坂本和彦、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 Trousseau 症候群を合併した切除不能直腸癌多発肝転移に対し conversion therapy を行い得た1例 一般演題
10. 吉田 晋、鈴木伸明、木村祐太、友近 忍、徳光幸生、兼清信介、前田訓子、飯田通久、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 大腸 pSM 癌の臨床病理学的因子と予後の検討 一般演題
11. 鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、木村祐太、徳光幸生、兼清信介、前田訓子、飯田通久、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 縫合不全ゼロを目指した取り組み～直腸癌に対する術中内視鏡～ 一般演題

第6回日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会総会 9/20-21 大阪 ナレッジキャピタルコングレコンベンションセンター

1. 山本 滋 一般演題7 手術（特殊症例）1 一般演題（口演）司会
2. 前田訓子、山本 滋、千々松日香里、鈴木伸明、武田 茂、長島由紀子、久保秀文、永野浩昭 乳房下部領域乳癌の温存手術における乳房下溝線部脂肪筋膜弁の有用性について 一般演題（ポスター）

第77回日本癌学会学術総会 9/27-29 大阪 大阪国際会議場

1. 碓 彰一 自然免疫 (1) Innate immunity (1) Poster Sessions 司会
2. 永野浩昭 採択される科研費：アイデア・見栄え Morning Lectures 司会
3. 藤原信行、恒富亮一、碓 彰一、友近 忍、鈴木伸明、武田 茂、大浜 剛、佐藤晃一、吉野茂文、上野富雄、永野浩昭 Protein phosphatase 6は大腸癌の悪性化に関与するProtein phosphatase 6 controls tumor progression of colon cancer Poster Sessions
4. 恒富亮一、吉村 清、松隈 聡、藤原信行、西山光郎、兼清信介、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 肝細胞癌幹細胞様 Sphere 細胞における抗癌剤耐性に関わるRAB3B遺伝子 RAB3B gene was identified as a gene involved in chemoresistance of induced cancer stem-like sphere cells Oral sessions
5. 山本義明、恒富亮一、藤田悠介、松本洋明、浜本義彦、碓 彰一、永野浩昭、松山豪泰 進行性腎細胞癌患者に対するアキシチニブ至適投与量決定の為の薬物動態解析と臨床評価に関する探索的研究 Pharmacogenetics-based AUC prediction model may determine the optimal initial dose of axitinib in renal cell carcinoma Poster Sessions
6. 清谷一馬、松田達雄、長山 聡、宮内栄作、Hsu Yuwen、Zewde Makda、Park Jae-Hyun、加藤大悟、原田真紀子、鈴木伸明、永野浩昭、碓 彰一、中村祐輔 大腸がん組織・リンパ節のTCRレパトア解析 TCR sequencing analysis of cancer tissues and lymph nodes in colorectal cancer patients Oral sessions
7. 桑原太一、碓 彰一、兼清信介、新藤芳太郎、徳光幸生、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、藤田知信、河上 裕、永野浩昭 治癒切除大腸癌における免疫関連予後因子の検討 Study of immune-related prognostic factors in patients with resectable colorectal cancer Oral sessions
8. 碓 彰一、玉田耕治、中島正夫、松隈 聡、新藤芳太郎、松井洋人、兼清信介、飯田通久、鈴木伸明、吉野茂文、土肥 俊、永野浩昭 消化器癌に対する免疫療法の現状と革新的新規免疫療法の開発 Current status and future perspectives of immunotherapy for gastrointestinal cancer Poster Sessions

9. 新藤芳太郎、碓 彰一、徳光幸生、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、河上 裕、中村祐輔、上野富雄、永野浩昭 切除不能再発膵癌に対するペプチドワクチン療法における予後予測バイオマーカーの探索 Predictive biomarkers for the efficacy of vaccine treatment against advanced pancreatic cancer Poster Sessions
10. 古川健太、種村匡弘、三賀森学、三善英知、江口英利、永野浩昭、松浪勝義、長岡 慧、岸健太郎、赤松大樹、森 正樹、土岐祐一郎 α -gal エピトープを用いた膵癌に対する新規免疫療法 A practical strategy to pancreatic cancer immunotherapy using resected tumor lysate vaccines expressing α -gal epitopes Poster Sessions
11. 西山光郎、恒富亮一、吉村 清、松隈 聡、兼清信介、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 肝癌由来細胞株から誘導した癌幹細胞様細胞における転移能および上皮間葉系転換に関する解析 Metastatic ability and the epithelial-mesenchymal transition in induced cancer stem-like hepatoma cells Poster Sessions
12. カルマ ブディマン、藤田知信、碓 彰一、奥野清隆、Matoba Ryo、竹政伊知朗、河上 裕 Immuno-genomic subtypes of stage II colon cancers related with prognosis following surgery Oral sessions

第54回日本移植学会総会 10/3-5 東京 ホテルオークラ東京

1. 中島正夫、徳光幸生、松井洋人、新藤芳太郎、松隈 聡、吉田 晋、友近 忍、飯田通久、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 生体肝移植後に出現した脾動脈瘤に対して血管内治療を施行した1例 一般演題デジタルポスター
2. 松隈 聡、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、中島正夫、兼清信介、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 日本の移植医療発展のために～我々、若手医療者がなすべきことと移植学会への提言～ 特別シンポジウム
3. 藤原康弘、徳光幸生、坂本和彦、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、飯田通久、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 生体肝移植後に致死性不整脈により死亡した一例 一般演題デジタルポスター

第56回日本癌治療学会学術集会 10/18-20 神奈川 パシフィコ横浜

1. 永野浩昭 基調講演3 Circulating-tumor DNA as a marker for prognosis in patients with pancreatic cancer 基調講演 司会
2. 永野浩昭 パネルディスカッション6 胆道癌に対する集学的治療の現状 パネルディスカッション 司会
3. 碓 彰一 ポスター20 大腸癌・小腸癌：診断・バイオマーカー-1 ポスター 司会
4. 井岡達也、金井雅史、猪飼伊和夫、落合登志哉、味木徹夫、寺嶋宏明、小林省吾、江口英利、瀬尾 智、豊田昌徳、竹村茂一、柳本泰明、生駒久視、波多野悦朗、永野浩昭 多施設研究によって胆道癌の臨床研究を賦活化する パネルディスカッション
2. 金井雅史、波多野悦朗、永野浩昭、井岡達也 胆道癌に対する薬物療法の動向 パネルディスカッション
3. 宮川貴行、亀井治人、久我貴之、川中明宏、上本かおり、久山彰一、佐々木秀法、吉野茂文 山口県下での制吐療法の実態調査 ポスター
4. 前田訓子、山本 滋、千々松日香里、鈴木伸明、武田 茂、長島由紀子、久保秀文、永野浩昭 乳癌腫瘍における Tim-3 ならびに Galectin-9 発現と予後の検討 一般口演
5. 吉野茂文、武田 茂、飯田通久、兼清信介、西山光郎、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、徳光幸生、前田訓子、山本 滋、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 切除不能・再発胃癌に対する weekly nab-paclitaxel + ramucirumab による2次化学療法 一般口演
6. 武田 茂、兼清信介、飯田通久、西山光郎、徳光幸生、友近 忍、鈴木伸明、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 食道癌術前化学療法時の FDG-PET/CT の SUV の減少と予後に関する検討 一般口演
7. 小林省吾、永野浩昭、波多野悦朗、瀬尾 智、寺嶋宏明、味木徹夫、佐竹悠良、亀井敬子、藤山泰二、廣瀬哲朗、猪飼伊和夫、竹村茂一、柳本泰明、森田智視、井岡達也 胆道癌術後の大量肝切除状態における GEMまたは S-1 療法の第I/II 相試験 (KHBO1003/1208) 一般口演
8. 佐藤陽子、山本 滋、前田訓子、鈴木伸明、武田 茂、長島由紀子、久保秀文、永野浩昭 Stage IV 乳がんの手術症例の検討 ポスター
9. 中島正夫、徳光幸生、松隈 聡、松井洋人、新藤芳太郎、兼清信介、飯田通久、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 腹腔鏡下肝切除の経験を生かした、胆嚢癌疑診例に対する腹腔鏡アプローチ ポスター
10. 恒富亮一、吉村 清、松隈 聡、西山光郎、兼清信介、徳光幸生、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 誘導癌幹細胞における免疫逃避機構関連遺伝子の同定 ポスター
11. 仁科智裕、森脇俊和、那須淳一郎、松本俊彦、沖津 宏、白石 猛、永野浩昭、森山一郎、永坂岳司、吉満政義、谷岡洋亮、野坂仁愛、菊池 隆、山内理海、篠崎勝則 化学療法未治療の進行・再発大腸癌に対する FOLFOXIRI + ベバシズマブ療法の初期安全性 一般口演

第51回日本甲状腺外科学会学術集会 10/25-26 神奈川 横浜ベイホテル東急

1. 山本 滋、前田訓子、千々松日香里、長島由紀子、久保秀文、鈴木伸明、武田 茂、永野浩昭 Marine-Lenhart 症候群の1例 一般演題 (ポスター)

JDDW 2018 第26回日本消化器関連学会週間 11/1-4 兵庫 神戸コンベンションセンター

1. 永野浩昭 ウイルス制御下での肝癌診療アルゴリズムの展望 《携帯アナライザー》 統合プログラム 司会
2. 碓 彰一 大腸18 デジタルポスターセッション 司会
3. 瀬尾 智、永野浩昭、井岡達也 胆道癌治療成績向上のための多施設共同試験の現状と展望 (KHBOの取り組み) パネルディスカッション
4. 和田浩志、江口英利、永野浩昭 C型肝炎関連肝細胞癌におけるウイルス排除 (SVR) の外科治療成績への影響 統合プログラム
5. 松井洋人、徳久善弘、徳光幸生、松隈 聡、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 教室における Borderline resectable 膵癌に対する術前補助化学療法の治療成績 デジタルポスターセッション
6. 松隈 聡、吉村 清、藤原康弘、井上萌子、布施雅規、小賀厚徳、恒富亮一、徳光幸生、徳久善弘、坂本和彦、兼清信介、友近忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、江口英利、上野富雄、永野浩昭 膵癌幹細胞に高発現した分子 calreticulin の臨床的意義 デジタルポスターセッション
7. 武田 茂、兼清信介、飯田通久、北原正博、西山光郎、徳光幸生、友近 忍、鈴木伸明、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 胸腔鏡下食道切除術における高齢者食道癌症例の検討 デジタルポスターセッション
8. 友近 忍、末広 寛、鈴木伸明、徳光幸生、兼清信介、徳久善弘、飯田通久、松本俊彦、坂本和彦、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、山崎隆弘、上野富雄、永野浩昭 大腸癌スクリーニングとしての便中 DNA 測定の有用性 デジタルポスターセッション
9. 鈴木伸明、碓 彰一、桑原太一、友近 忍、田中宏典、兼清信介、徳光幸生、飯田通久、徳久善弘、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、藤田知信、河上 裕、上野富雄、永野浩昭 治癒切除後 Stage II / III 大腸癌における予後予測マーカーの検討 デジタルポスターセッション
10. 木村祐太、鈴木伸明、友近 忍、徳光幸生、兼清信介、飯田通久、徳久善弘、坂本和彦、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 Stage IV 大腸癌の治療成績 デジタルポスターセッション
11. 兼清信介、武田 茂、飯田通久、西山光郎、北原正博、徳光幸生、友近 忍、徳久善弘、鈴木伸明、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 食道癌術後呼吸器合併症に対する考察と対策 デジタルポスターセッション
12. 徳光幸生、徳久善弘、坂本和彦、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 腹腔鏡下系統的肝切除における胆嚢牽引を用いた肝門部グリソン確保 デジタルポスターセッション
13. 飯田通久、武田 茂、兼清信介、西山光郎、徳光幸生、友近 忍、鈴木伸明、山本 滋、碓 彰一、吉野茂文、上野富雄、永野浩昭 高齢者胃癌における幽門側胃切除術の成績 デジタルポスターセッション
14. 恒富亮一、西山光郎、藤原信行、松隈 聡、兼清信介、友近 忍、徳光幸生、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、上野富雄、碓 彰一、永野浩昭 がん幹細胞様細胞と臨床サンプルとの統合解析により同定されたがん幹細胞関連遺伝子 デジタルポスターセッション

第73回日本大腸肛門病学会学術集会 11/9-10 東京 京王プラザホテル

1. 友近 忍、鈴木伸明、吉田 晋、徳光幸生、兼清信介、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 再発直腸脱に対し腹腔鏡下観察の後に Delorme 手術を施行した一例 一般演題 (ポスター)

第28回日本乳癌検診学会学術総会 11/23-24 大阪 大阪国際会議場

1. 山本 滋、長島由紀子、久保秀文 サイズの小さいセンチネルリンパ節に対するソナゾイド造影超音波検査の経験 ポスター

第80回日本臨床外科学会総会 11/22-24 東京 グランドプリンスホテル新高輪国際館パミール

1. 永野浩昭 ビデオワークショップ 血行再建を伴う肝切除の適応と手技：安全性と根治性の両立を目指して ビデオワークショップ 司会
2. 碓 彰一 主題関連演題 横行結腸癌に対する腹腔鏡下手術：安全な外科手術を目指して 主題関連演題 司会
3. 中島正夫、和田浩志、小林省吾、友國 晃、高橋秀典、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、江口英利、永野浩昭 C型肝炎に起因する肝細胞癌の肝切除後予後は術前SVRIにより改善される—多施設共同研究 シンポジウム
4. 松井洋人、徳光幸生、新藤芳太郎、松隈 聡、中島正夫、兼清信介、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 教室における切除可能肝癌に対する術前化学療法の治療成績 主題関連演題
5. 新藤芳太郎、徳光幸生、松井洋人、中島正夫、松隈 聡、兼清信介、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科における Borderline resectable 肝癌に対する治療戦略と成績 主題関連演題
6. 徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、兼清信介、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 腹腔鏡下系統的肝切除を定型化するための術野展開の工夫 主題関連演題
7. 武田 茂、兼清信介、飯田通久、西山光郎、中島千代、山本常則、徳光幸生、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 高齢者食道癌に対する胸腔鏡下食道切除術の検討 一般演題（口演）
8. 吉田 晋、鈴木伸明、木村祐太、友近 忍、徳光幸生、兼清信介、前田訓子、飯田通久、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 下行結腸癌に対する手術成績 一般演題（口演）
9. 木村祐太、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、徳光幸生、兼清信介、飯田通久、徳久善弘、坂本和彦、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 原発性小腸癌10例の臨床経験 一般演題（口演）
10. 千々松日香里、山本 滋、前田訓子、鈴木伸明、武田 茂、長島由紀子、久保秀文、永野浩昭 当科における手術不能・再発乳癌に対する Palbociclib の使用経験 一般演題（示説）
11. 富丸慶人、江口英利、岩上佳史、大村仁昭、武田 裕、堂野恵三、永野浩昭、森 正樹、土岐祐一郎 尾側脾切除術後脾嚢予防におけるポリグリコール酸フェルトの有用性に関する検討 一般演題（口演）
12. 友近 忍、鈴木伸明、吉田 晋、徳光幸生、新藤芳太郎、兼清信介、飯田通久、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 直腸癌術後の一時的人工肛門造設：結腸人工肛門造設の有用性 パネルディスカッション
13. 鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、兼清信介、徳光幸生、前田訓子、飯田通久、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科における直腸脱に対する腹腔鏡下直腸固定術の術式変遷と再発例の検討 ワークショップ
14. 松隈 聡、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、中島正夫、兼清信介、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 腹腔鏡下肝切除術における安定した離断面展開の工夫と安全な実質離断の実際 ビデオワークショップ
15. 古谷 圭、長島由紀子、北原正博、近藤潤也、前田祥成、藤村秀明、矢原 昇、安部俊弘、林 弘人、久保秀文、山本 滋、永野浩昭 乳腺神経内分泌癌（NEC）の1例 一般演題（口演）
16. 和田浩志、江口英利、松隈 聡、野田剛広、友國 晃、岩上佳史、秋田裕史、浅岡忠史、後藤邦仁、小林省吾、高橋秀典、永野浩昭、土岐祐一郎、森 正樹 下大静脈・右心房に達する高度脈管侵襲を伴った進行肝癌に対する肝切除術 ビデオワークショップ
17. 西田裕紀、徳光幸生、松隈 聡、松井洋人、新藤芳太郎、兼清信介、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 先天性門脈体循環シャントに対してシャント血管結紮術を施行した1例 一般演題（口演）
18. 宮本敦史、山田晃正、後藤邦仁、浅岡忠史、小林省吾、江口英利、清水潤三、金 庸国、辻江正徳、野田剛広、横山茂一、武田 裕、永野浩昭、土岐祐一郎、森 正樹 肝切除症例におけるドレーン留置に関する前向きコホート研究 一般演題（口演）
19. 長島由紀子、古谷 圭、北原正博、近藤潤也、前田祥成、藤村秀明、矢原 昇、安部俊弘、林 弘人、久保秀文、山本 滋、永野浩昭 画像および針生検で術前に乳癌を強く疑った乳管内乳頭腫の1例 一般演題（示説）

第31回日本外科感染症学会総会学術集会 11/28-29 大阪 ナレッジキャピタルコングレコンベンションセンター

1. 松隈 聡、徳光幸生、坂本和彦、徳久善弘、新藤芳太郎、松井洋人、兼清信介、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、永野浩昭 腹腔鏡下肝切除における術後感染性合併症 ポスター
2. 武田 茂、兼清信介、飯田通久、西山光郎、徳光幸生、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 食道癌術後に発症した壊死性軟部組織感染症の検討 ポスター

第31回日本内視鏡外科学会総会 12/6-8 福岡 福岡サンパレスホテル&ホール

1. 吉野茂文 デジタルポスター4 偶発症・合併症 デジタルポスター 司会
2. 永野浩昭 一般演題182 肝臓3 一般演題 司会
3. 吉田 晋、鈴木伸明、木村祐太、友近 忍、徳光幸生、兼清信介、飯田通久、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 下行結腸癌に対する内視鏡手術の安全性に関する検討 一般演題
4. 徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、兼清信介、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 鏡視下肝切除における胆嚢板牽引法を用いた右葉系グリソン確保 一般演題
5. 飯田通久、武田 茂、兼清信介、山本常則、中島千代、西山光郎、徳光幸生、新藤芳太郎、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、碓 彰一、吉野茂文、上野富雄、永野浩昭 進行胃癌に対する腹腔鏡下胃上部郭清の工夫 デジタルポスター
6. 中島正夫、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡、兼清信介、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 Difficulty Scoring System は完全鏡視下再肝切除術においても手術難度評価因子となりうる ワークショップ
7. 鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、兼清信介、新藤芳太郎、徳光幸生、飯田通久、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 腹腔鏡下脾彎曲部癌手術における剥離ラインとリンパ節郭清範囲の定型化 一般演題
8. 友近 忍、鈴木伸明、吉田 晋、徳光幸生、新藤芳太郎、兼清信介、飯田通久、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 副右結腸静脈損傷を来した腹腔鏡補助下回盲部切除術の2例 一般演題
9. 松隈 聡、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、中島正夫、兼清信介、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 右肝静脈背側領域(右側尾状葉、S7背側)に位置する小腫瘍に対する腹腔鏡下肝切除 一般演題

第42回日本肝臓学会東部会 12/7-8 東京 ザ・プリンスパークタワー東京

1. 松隈 聡、恒富亮一、永野浩昭 次世代シーケンサーを用いた肝癌幹細胞の病態および転移能解析 シンポジウム

第31回日本バイオセラピー学会学術集会総会 12/13-14 東京 京王プラザホテル

1. 碓 彰一 特別シンポジウム「Precision Biotherapy の未来」特別シンポジウム 司会
2. 永野浩昭 一般演題2「分子細胞解析」一般演題 司会
3. 鈴木伸明 一般演題3「治療開発評価」一般演題 司会
4. 吉野茂文 要望演題3-1「免疫細胞療法・新規免疫療法(1)」要望演題 司会
5. 山本常則、碓 彰一、鈴木伸明、中島正夫、松井洋人、徳光幸生、兼清信介、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、藤田知信、河上 裕、永野浩昭 大腸癌における腫瘍浸潤リンパ球と末梢血中サイトカインの関係 シンポジウム
6. 新藤芳太郎、碓 彰一、恒富亮一、中島正夫、松井洋人、松隈 聡、兼清信介、徳光幸生、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、森崎 隆、遠藤 格、玉田耕治、永野浩昭 ネオアンチゲンを標的とした膵癌に対する新規免疫療法の開発。特別シンポジウム
7. 中上裕有樹、碓 彰一、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、兼清信介、松井洋人、新藤芳太郎、中島正夫、恒富亮一、前田広道、岩本慈能、大庭幸治、岡山直子、末広 寛、山崎隆弘、坂本純一、三嶋秀行、永田直幹、永野浩昭 EGFR, FcgR2A, FcgR3A 遺伝子多型と Cetuximab を含む化学療法の効果との関連性 要望演題
8. 桑原太一、碓 彰一、鈴木伸明、中島正夫、松井洋人、徳光幸生、兼清信介、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、藤田知信、河上 裕、永野浩昭 StageII 大腸癌における予後因子の検討-RAS/BRAF 遺伝子変異並びに腫瘍浸潤リンパ球の解析から- 一般演題
9. 山田健介、碓 彰一、山本常則、中島千代、桑原太一、中島正夫、竹之内寛子、松井洋人、新藤芳太郎、兼清信介、徳光幸生、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、上野富雄、永野浩昭 大腸癌ペプチドワクチン療法における効果予測マーカーとしての Sonic hedgehog の検討 一般演題
10. 碓 彰一 がんゲノム情報と癌ワクチン療法 合同シンポジウム
11. 鈴木伸明、碓 彰一、中島正夫、松隈 聡、松井洋人、新藤芳太郎、兼清信介、徳光幸生、友近 忍、前田訓子、飯田通久、吉田 晋、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、玉田耕治、上野富雄、永野浩昭 消化器癌に対する新規複合免疫・ペプチドワクチン療法における細胞性免疫の解析 ワークショップ
12. 松井洋人、碓 彰一、中島正夫、松隈 聡、兼清信介、徳光幸生、新藤芳太郎、恒富亮一、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、玉田耕治、上野富雄、永野浩昭 肝細胞癌切除後の HSP70mRNA 導入樹状細胞療法を用いた術後補助療法 要望演題
13. 兼清信介、碓 彰一、恒富亮一、松井洋人、鈴木伸明、中島正夫、新藤芳太郎、徳光幸生、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、玉田耕治、永野浩昭 ネオアンチゲンをターゲットとした免疫療法の開発~食道癌1 例の経験~要望演題

1. 吉野茂文 免疫療法におけるグルカンの役割 ランチョンセミナー

地方会発表・司会

第18回食道手術ビデオ懇話会 1/5 大阪 ジョンソン エンドジョンソン 大阪支店

1. 兼清信介 ビデオ提示 ビデオ提示

Immuno-Oncology Seminar -Gastric Cancer- 1/10 山口 山口グランドホテル

1. 永野浩昭 Session2 セッション 座長
2. 飯田通久 再発胃癌に対するオプジーボの使用経験 セッション
3. 吉野茂文 山口大学における irAE マネジメント連携の構築 セッション

山口県東部地区乳癌研究会 1/12 山口 JCHO徳山中央病院

1. 山本 滋 山口大学における乳癌薬物療法の実際－再発治療を中心として－ 特別講演

～大腸癌治療の今後の展望～ 1/24 山口 山口グランドホテル

1. 永野浩昭 特別講演 特別講演 座長

免疫チェックポイント阻害薬副作用対策セミナー 1/25 山口 徳山中央病院

1. 吉野茂文 山口大学における irAE マネジメント連携の構築 講演

第39回九州肝臓外科研究会学術集会 1/27 福岡 大塚製薬グループビル

1. 徳光幸生、坂本和彦、徳久善弘、松隈 聡、松井洋人、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、
碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 腹腔鏡下肝切除における視野展開の工夫とコツ ビデオセッション
2. 徳久善弘、徳光幸生、松隈 聡、松井洋人、藤本拓也、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、山本 滋、
吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科におけるVp3/Vp4肝細胞癌に対する治療成績

山口県 外科・救急真菌症カンファレンス2018 2/1 山口 山口グランドホテル

1. 永野浩昭 ミニレクチャー ミニレクチャー 座長

臨床肝移植セミナー～多職種で進める山口の肝移植～ 2/2 山口 霜仁会館

1. 永野浩昭 総合司会
2. 松隈 聡 肝移植と血栓症、ATⅢ製剤について 一般演題
3. 山本常則 肝移植の集中治療 一般演題

第17回中国・四国臨床腫瘍研究会セミナー 2/3 岡山 岡山プラザホテル

1. 吉野茂文 消化器がん領域のABC 講演

第35回山口県食道疾患研究会 2/16 山口 山口グランドホテル

1. 北原正博、武田 茂、西山光郎、兼清信介、飯田通久、徳光幸生、友近 忍、徳久善弘、鈴木伸明、吉野茂文、碓 彰一、
永野浩昭 頸部胸部食道癌に対する喉頭温頸部高位胃管吻合 一般演題

第13回宇部・小野田圏域緩和ケア事例検討会 2/22 山口 山口大学医学部付属病院

1. 田中宏典 人生最後に自宅で整理を行うことを希望された大腸がん事例

最先端のがん医療を知り・身につけ・実践するための研修会 第1回 2/22 山口 宇部市多世代ふれあいセンター

1. 山本 滋 薬剤師が知っておきたい乳がんの基礎知識 第1回－診断から外科治療まで－ 特別講演 講師

医療現場からのニーズ・シーズ発表会 3/1 山口 霜仁会館

1. 山本 滋 “加圧”に着目した乳がん関連製品開発の提案 ニーズ発表会

第22回山口県肛門疾患懇談会 3/3 山口 山口グランドホテル

1. 友近 忍、碓 彰一、鈴木伸明、田中宏典、兼清信介、徳光幸生、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田 茂、山本 滋、
吉野茂文、永野浩昭 腹腔鏡下直腸固定術、術後再発に対する Delorme法 の有効性

第46回中国四国甲状腺外科研究会 3/10 島根 くにびきメッセ

1. 佐藤陽子、山本 滋、前田訓子、鈴木伸明、武田 茂、長島由紀子、久保秀文、永野浩昭 二次性副甲状腺機能亢進症の手術
症例の検討 一般演題

第4回九州胆・膵癌治療フォーラム 3/10 福岡 TKPガーデンシティPREMIUM博多駅前

1. 永野浩昭 膵癌の外科的治療 特別講演

第1回山口消化管内視鏡外科研究会 5/16 山口 ANAクラウンプラザホテル宇部

1. 永野浩昭 ミニレクチャー2山口県における消化管内視鏡外科の現状―県内アンケート調査報告と施設の取り組み― ミニレク
チャー 座長

第6回難治性疾患トランスレーションセミナーゲノム解析を基盤とするがんと老化関連疾患の病態解明 3/15 山口 霜仁会館

1. 兼清信介 免疫療法とゲノム解析

第13回山口県消化管セミナー 3/26 山口 ANAクラウンプラザホテル宇部

1. 木村祐太、鈴木伸明、友近 忍、徳光幸生、兼清信介、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、
上野富雄、永野浩昭 当科における TFTD の使用経験 一般演題

松江 肺がんチーム医療ワークショップ～免疫療法と irAE マネジメントのチームとしての取り組みについて～ 3/31 島根 ホテル一畑

1. 吉野茂文 山口大学医学部附属病院における irAE マネジメント連携の構築

西日本シーメンスTDM講演会 4/14 大阪 ヒルトン大阪

1. 永野浩昭 教育講演 教育講演 座長

G.I. Cancer Expert Meeting in Yamaguchi 4/16 山口 霜仁会館

1. 永野浩昭 ClosingRemarks
2. 飯田通久 胃癌治療 UP TO DATE 講演

第14回学部・小野田圏域緩和ケア事例検討会 4/23 山口 山口大学医学部附属病院

1. 西山光郎 治療中止を決断し緩和ケア病棟へ転院された胃がん事例

第4回山口膵・胆道疾患研究会 5/8 山口 霜仁会館

1. 松井洋人 進行中の臨床研究「切除可能境界膵癌に対する術前化学療法に関する多施設共同前向き観察研究」登録状況
2. 松井洋人 計画中の臨床研究 副次研究：術前化学療法中の胆道ドレナージ
3. 徳光幸生 計画中の臨床研究 胆嚢癌疑診例に対する腹腔鏡下手術
4. 松隈 聡 計画中の臨床研究膵癌化学療法時の栄養管理について

日本統合医療学会免疫部会設立記念学術講演会 5/12 熊本 くまもと県民交流館パレア

1. 吉野茂文 統合医療における免疫療法の役割

小野薬品工業株式会社 胃癌に関する社内研修会 9/4 山口

1. 吉野茂文 胃癌薬物療法の現状と今後の治療方針 特別講演

第1回山口消化管内視鏡外科研究会 5/16 山口 ANAクラウンプラザホテル宇部

1. 永野浩昭 ミニレクチャー2山口県における消化管内視鏡外科の現状―県内アンケート調査報告と施設の取り組み― ミニレクチャー 座長
2. 兼清信介 <話題提供> Wound Closure Contest (WCC) のご紹介 話題提供
3. 鈴木伸明 ミニレクチャー1内視鏡外科技術認定医取得に向けてのポイント演題2 大腸 ミニレクチャー
4. 飯田通久 ミニレクチャー2山口県における消化管内視鏡外科の現状―県内アンケート調査報告と施設の取り組み―演題1 胃 ミニレクチャー

第414回川崎医学会講演会 5/17 岡山 川崎医科大学総合医療センター

1. 永野浩昭 大阪の外科医が山口ではじめる肝胆脾・移植外科 講演 講師

第39回癌免疫外科研究会 5/17-18 岐阜 岐阜都ホテル

1. 碓 彰一 一般演題(口演) 3 消化器 一般演題(口演) 司会
2. 竹之内寛子、中島千代、碓 彰一、兼清信介、中島正夫、松井洋人、北原正博、田中宏典、桑原太一、友近 忍、飯田通久、徳久善弘、鈴木伸明、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、荻原宏是、浜本義彦、上野富雄、永野浩昭 血清タンパク質網羅的解析による大腸癌新規予後マーカーの探索 要望演題
3. 中島正夫、碓 彰一、鈴木伸明、新藤芳太郎、竹之内寛子、松井洋人、兼清信介、友近 忍、徳久善弘、武田 茂、吉野茂文、田中浩昭、有賀 淳、榎田祐三、島田光生、藤田知信、河上 裕、玉田耕治、上野富雄、永野浩昭 良好な患者栄養状態は末梢血リンパ球の免疫抑制状態を改善し膵癌ペプチドワクチン療法の効果向上に寄与する 要望演題
4. 友近 忍、碓 彰一、鈴木伸明、田中宏典、兼清信介、松井洋人、中島正夫、桑原太一、徳光幸生、坂本和彦、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、藤田知信、河上 裕、奥野清隆、玉田耕治、石井 健、上野富雄、永野浩昭 ドラッグリポジショニングによる抑制性免疫制御とペプチドカクテル+CpGの第I相臨床試験 一般演題(口演)
5. 兼清信介、碓 彰一、恒富亮一、松井洋人、鈴木伸明、中島正夫、田中宏典、徳光幸生、友近 忍、飯田通久、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、遠藤 格、玉田耕治、永野浩昭 全エクソン解析により化学療法前後のネオアンチゲン候補探索を行った膵癌の1例 一般演題(口演)
6. 鈴木伸明、碓 彰一、中島正夫、田中宏典、北原正博、松隈 聡、松井洋人、兼清信介、徳光幸生、友近 忍、徳久善弘、飯田通久、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、玉田耕治、上野富雄、永野浩昭 新規アジュバントを用いたマルチHLA結合がんペプチド療法の第I相試験 要望演題
7. 桑原太一、碓 彰一、鈴木伸明、中島正夫、松井洋人、徳光幸生、兼清信介、友近 忍、飯田通久、徳久善弘、坂本和彦、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、藤田知信、河上 裕、永野浩昭 RAS/BRAF遺伝子変異と腫瘍浸潤リンパ球からみたStageII大腸癌における無再発生存期間の検討 要望演題
8. 吉野茂文、武田 茂、鈴木伸明、飯田通久、徳久善弘、友近 忍、兼清信介、徳光幸生、北原正博、西山光郎、山本 滋、碓 彰一、上野富雄、山崎隆弘、永野浩昭 当院におけるirAE マネジメント連携の構築 要望演題
9. 松井洋人、碓 彰一、中島正夫、松隈 聡、兼清信介、徳光幸生、新藤芳太郎、恒富亮一、友近 忍、飯田通久、徳久善弘、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、上野富雄、永野浩昭 膵癌根治切除後におけるmodified Glasgow Prognostic Scoreの有用性の検討 ポスターセッション
10. 川村純一郎、杉浦史哲、助川 寧、吉岡康多、肥田仁一、碓 彰一、奥野清隆 StageIII大腸癌に対する術後補助ペプチドワクチン療法における細胞障害性T細胞(CTL)反応の臨床的意義 要望演題

Colorectal Cancer Expert Meeting in Yamaguchi 5/23 山口 山口グランドホテル

1. 永野浩昭 ディスカッション 「後方ラインでの進行再発大腸癌治療戦略」 ディスカッション 司会
2. 鈴木伸明 ディスカッション 「後方ラインでの進行再発大腸癌治療戦略」 ディスカッション

第17回京都肝臓グループの会学術講演会 5/26 京都 京都リサーチパーク

1. 永野浩昭 肝移植―現状、課題、山口での再開― 講演

第2回山口乳癌研究会 5/30 山口 山口グランドホテル

1. 永野浩昭 司会
2. 山本 滋 山口県の乳がん診療を考える

第77回山口県臨床外科学会 6/3 山口 宇部市医師会館

1. 中島正夫、徳光幸生、坂本和彦、徳久善弘、松井洋人、松隈 聡、新藤芳太郎、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 腹腔鏡下系統的肝切除における胆嚢板牽引を用いた肝門部グリソン確保一般演題セッション
2. 前田訓子、山本 滋、千々松日香里、鈴木伸明、武田 茂、長島由紀子、久保秀文、永野浩昭 悪性リンパ腫との鑑別が困難であった乳腺 IgG4 関連疾患の一例 一般演題セッション
3. 友近 忍、鈴木伸明、吉田 晋、徳光幸生、兼清信介、飯田通久、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 腹腔鏡下直腸固定術、術後再発に対する Delorme 法の有効性 一般演題セッション
4. 山本常則、武田 茂、兼清信介、飯田通久、西山光郎、徳光幸生、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、碓 彰一、吉野茂文、上野富雄、永野浩昭 術前サルコペニアが食道癌患者の術後短期成績に及ぼす影響 一般演題セッション

第14回山口県外科感染症研究会 6/13 山口 ANAクラウンプラザホテル宇部

1. 山本常則、武田 茂、兼清信介、飯田通久、西山光郎、徳光幸生、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、碓 彰一、吉野茂文、永野浩昭 食道癌術後に第14回山口県外科感染症研究会発症した壊死性軟部組織感染症の2例 一般演題

第47回備後肝胆膵研究会 6/19 広島 福山ニューキャッスルホテル

1. 永野浩昭 胆道癌に対する外科治療と治療成績向上のための試み 特別講演

山口亜鉛補充療法講演会 6/20 山口 霜仁会館

1. 永野浩昭 特別講演 特別講演 座長

周南地域 市民がん公開講座 7/7 山口 徳山中央病院

1. 鈴木伸明 知っておきたい大腸がんのはなし 講演

Yamaguchi Workshop for Esophageal Cancer 7/18 山口 霜仁会館

1. 永野浩昭 特別講演 特別講演 座長
2. 兼清信介 当科における食道癌手術の取り組みと課題 一般演題

CRCC-山口 Colorectal Cancer Conference 7/25 山口 山口グランドホテル

1. 永野浩昭 特別講演ディスカッション 特別講演ディスカッション 座長
2. 木村祐太 当科でのアフリベルセプトベータの使用経験とマネジメント 一般公演

Thrombomodulin seminar～癌転移と凝固異常～ 7/27 山口 霜仁会館

1. 永野浩昭 座長

第2回シンポジウム人工知能・システム医学による難治性疾患への新たな挑戦 8/4 山口 KKR山口あさくら

1. 吉野茂文 山口県のがん診療連携を活用した AI の展開 講演

癌治療における医療統計勉強会 8/9 山口 霜仁会館

1. 碓 彰一 Session 1 司会
2. 永野浩昭 Session 2 座長
3. 鈴木伸明 新規複合免疫・ペプチド療法の開発と肝細胞がん周術期治療への展開

中国・四国広域がんブロン養形成コンソーシアムインテンシブ生涯教育コース川崎医科大学附属病院 がんセンター第23回Cancer Seminar 8/25 岡山 川崎医科大学

1. 碓 彰一 がんは免疫で治すー免疫チェックポイント阻害剤、ネオアンチゲン、そしてその先へー 特別講演

36回中国四国臨床臓器移植研究会 8/18 山口 海峡メッセ下関

1. 徳光幸生 肝移植 座長
2. 藤原康弘、徳光幸生、坂本和彦、徳久善弘、松隈 聡、松井洋人、藤本拓也、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、和田浩志、後藤邦仁、永野浩昭 下腸間膜静脈グラフト間置による中肝静脈を再建した肝移植ドナー手術の一例
3. 中島正夫、徳光幸生、熊野由美子、坂本和彦、徳久善弘、松井洋人、松隈 聡、新藤芳太郎、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、山崎隆弘、永野浩昭 早期の診断と治療により改善し得た生体肝移植術後 passenger lymphocyte syndrome の1例

萩市医師会学術講演会消化器がんセミナー in 萩 8/29 山口 千春楽

1. 永野浩昭 胆道癌に対する外科治療と成績向上のための試み 特別講演

山陽小野田薬剤師会・宇部薬剤師会合同研修会最先端のがん医療を知り・身につけ・実践するための研修会 第2回 9/4 山口 きらら交流館

1. 山本 滋 薬剤師が知っておきたい乳がんの基礎知識 第二回 一術前・術後の薬物療法一 講演 講師

第14回山口県消化管セミナー 9/5 山口 ANAクラウンプラザホテル

1. 武田 茂 一般演題 一般演題 座長
2. 永野浩昭 特別講演 特別講演 座長
3. 山本常則、武田 茂、兼清信介、飯田通久、西山光郎、徳光幸生、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 術前化学療法を施行した食道 GIST の1切除例 一般演題

第8回遺伝子多型研究会 9/11 山口 山口大学医学部病院

1. 碓 彰一 座長
2. 恒富亮一 NGS 解析 ; Whole Exome Sequencing や RNA-sequencing を用いての統合解析について

第8回肝胆膵フォーラム in Yamaguchi 9/12 山口 山口グランドホテル

1. 藤原康弘、徳光幸生、中島正夫、松隈 聡、松井洋人、新藤芳太郎、兼清信介、友近 忍、前田訓子、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、山本 滋、上野富雄、吉野茂文、碓 彰一、永野浩昭 当教室における膵癌に対する術前化学療法 一般公演

座談会消化器がんにおける免疫抑制を考える 9/14 東京 丸ビルホール&コンファレンススクエア

1. 碓 彰一、今村博司、柴田昌彦 II 全身的な免疫抑制 抗がん剤治療に伴う免疫抑制 III 局所における免疫抑制 免疫チェックポイント IV がん免疫サイクルと免疫抑制免疫チェックポイント阻害薬の使い方を考える 座談会

看護師といっしょに考える第8回がん市民公開講座気になるすい臓がんのお話 9/29 宇部市多世代ふれあいセンター

1. 吉野茂文 一般公演 一般公演 座長
2. 松井洋人 特別講演

第13回肝癌術前治療研究会PREP2018 FUKUOKA 10/6 福岡 九州大学医学部百年講堂

1. 永野浩昭 要望演題2のような症例までを切除前提に方針を立てるか? 2 要望講演 コメンテーター

Conference on Surgery & Kampo 10/10 山口 ANAクラウンプラザホテル

1. 永野浩昭 基調講演 基調講演 座長

宇部青色申告会 10/11 山口 ときわ湖水ホール

1. 碓 彰一 がん治療の現状と最新の治療早期発見に必要な検査方法進んでいる個別化医療 講演 講師

第18回山口消化器病態研究会 10/11 山口 ANAクラウンプラザホテル

1. 中島正夫、和田浩志、小林省吾、友國 晃、高橋秀典、徳光幸生、松井洋人、松隈 聡、新藤芳太郎、木村祐太、桑原太一、藤原康弘、兼清信介、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、江口英利、永野浩昭 HCVに起因する肝細胞癌の肝切除後長期予後は術前SVRにより改善される 一般演題

中国・四国広域がんブロ養成コンソーシアム平成30年度 FD 研修報告会・特別講演会 10/13 岡山 岡山大学地域医療人育成センターおかやま (MUSCAT CUBE)

1. 吉野茂文 高齢者がん FD 研修報告 (SIOG 2018 Advanced Course) 報告

Japan Hepatology Academia 61 10/20 東京 シェラトン都ホテル東京

1. 永野浩昭 肝癌治療の今とこれから

市民公開講座山口県肝移植治療最前線 10/21 山口 ANAクラウンプラザホテル

1. 永野浩昭 司会
2. 永野浩昭 移植医療ってなに? インタロダクション
3. 徳光幸生 山口大学における生体肝移植の現状

広島新庄高等学校出前講義 10/25 広島 広島新庄高等学校

1. 碓 彰一 増え続ける大腸がん～大腸がんを安全・確実におおす最新の科学～ 出前講義 講師

第24回 Cancer Forum in Yamaguchi 10/26 山口 山口グランドホテル

1. 永野浩昭 特別講演1 手術手技 特別講演 座長

Breast Cancer Seminar in山口 10/31 山口 山口グランドホテル

1. 山本 滋 特別講演 特別講演 座長

第2回山口消化管内視鏡外科研究会 11/7 山口 ANAクラウンプラザホテル

1. 永野浩昭 パネルディスカッション各病院における内視鏡外科手術の現状と取り組み パネルディスカッション 座長
2. 鈴木伸明 演題4 パネルディスカッション

第5回山口膵・胆道疾患研究会 11/13 山口 山口大学医学部付属病院

1. 永野浩昭 特別講演 特別講演
2. 松井洋人 山口膵・胆道疾患研究会 活動状況 一般演題
3. 新藤芳太郎 最新の胆膵トピックス ～JCOGレポート～ 一般演題

第2回宇部・山陽小野田地区開業医先生方との意見交換会—core member meeting— 11/15 山口 ANAクラウンプラザホテル

1. 飯田通久 外科・外来紹介のシステム等について コアメンバーミーティング
2. 吉田 晋 消化器・腫瘍外科学講座のこの1年の歩み コアメンバーミーティング

Osaka GI Oncology Forum 11/16 大阪 ホテルモントレグラスミア大阪

1. 永野浩昭 Session 1 座長

第12回肝臓内視鏡外科研究会 11/21 東京 グランドプリンスホテル新高輪国際館パミール

1. 永野浩昭 一般演題1ラバ肝切除—私たちの工夫— 一般演題 司会
2. 中島正夫、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、上野富雄、永野浩昭 完全鏡視下再肝切除術における手術難度評価因子の検討 シンポジウム
3. 徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、上野富雄、永野浩昭 腹腔鏡肝切除における切離法別の離断面展開の工夫 シンポジウム
4. 木村祐太、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、鈴木伸明、武田 茂、上野富雄、永野浩昭 大腸癌同時性肝転移に対する腹腔鏡下同時切除の適応基準 ワークショップ
5. 松隈 聡、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、中島正夫、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、上野富雄、永野浩昭 S7背側および右側尾状葉に位置する小肝癌に対する腹腔鏡下肝切除 一般演題

第10回膵臓内視鏡外科研究会 11/21 東京 グランドプリンスホテル新高輪国際館パミール

1. 松井洋人、徳光幸生、新藤芳太郎、松隈 聡、中島正夫、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、上野富雄、永野浩昭 腹腔鏡下膵体尾部切除術後の断端の嚢胞に胃十二指腸動脈がsealed ruptureした一例 シンポジウム
2. 新藤芳太郎、徳光幸生、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、上野富雄、永野浩昭 当科における腹腔鏡下膵体尾部切除術の手術手技と成績 一般演題
3. 藤原康弘、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、上野富雄、永野浩昭 若年女性に発症した肝転移を伴う膵粘液性嚢胞腺癌の1例 一般演題

第1回食道癌手術モニタリング研究会 11/22 東京 ザ ランドマークスクエア トーキョー

1. 武田 茂 腹臥位の Intermittent 法

第2回山口肝移植診療検討会 11/28 山口 霜仁会館

1. 永野浩昭 座長
2. 桑原太一 移植後緑膿菌敗血症の一例 症例検討
3. 松隈 聡 移植学会次世代リーダー養成コースに参加して肝移植診療検討会 年間活動報告 症例検討

第152回関豊病薬会研修会 11/29 山口 海峡メッセ下関

1. 永野浩昭 消化器がん診療に於ける話題－支持療法を交えて－ 講演

第26回膵癌治療を考える会 11/30 大阪 大阪大学中之島センター

1. 永野浩昭 これからの膵癌集学的治療を考える 特別講演

山口県薬剤師フォーラム2018 12/2 山口 海峡メッセ下関

1. 山本 滋 薬剤師が知っておきたい乳がんの基礎知識 特別講演 講師

萩市地域 NST 勉強会 12/5 山口 都志見病院

1. 武田 茂 がん患者における栄養療法 特別講演

final announcement大腸癌治療アニュアルセミナー2018 12/5 群馬 ホテル1-2-3前橋マーキュリー

1. 永野浩昭 大腸癌肝転移の外科治療 特別講演

第8回難治性疾患トランスレーションセミナーエピゲノム解析を基盤とするがんと老化関連疾患の治療戦略 12/11 山口 山口大学医学部付属病院

1. 新藤芳太郎 ゲノム解析によるがん免疫療法の治療戦略

Infectious Disease Forum in Yamaguchi 12/19 山口 国際ホテル宇部

1. 永野浩昭 特別講演 2 特別講演 座長

研究費取得状況

種別	事業名	研究者名	代表・分担	交付額	研究課題名
科研費	基盤研究(C)	永野浩昭	代表	1,300,000	膵癌幹細胞および腫瘍微小環境をターゲットとする個別化診療への展開
科研費	基盤研究(C)	裕 彰一	代表	1,400,000	膵がん幹細胞特異抗原に対するマルチHLA結合性ペプチドの同定と新規免疫療法の開発
科研費	基盤研究(C)	吉野茂文	代表	1,100,000	胃癌における抗PD-1抗体の効果予測—末梢血と局所の免疫担当細胞の機能解析
科研費	基盤研究(C)	山本 滋	代表	1,700,000	1細胞解析法による乳癌内分泌療法抵抗性の解明-血中循環腫瘍細胞からのアプローチ
科研費	基盤研究(C)	鈴木伸明	代表	1,100,000	免疫チェックポイント阻害剤併用がんペプチド療法におけるバイオマーカーの探索
科研費	基盤研究(C)	飯田通久	代表	1,400,000	大腸癌肝転移に関与する癌微小環境におけるmicroRNA221・222の機能解析
科研費	基盤研究(C)	恒富亮一	代表	1,200,000	肝細胞癌転移抑制に向けた、癌幹細胞特性を示す独自誘導Shere細胞の標的分子解析
科研費	若手研究	徳光幸生	代表	1,500,000	術前腫瘍量因子と血清メチル化遺伝子による肝癌予後予測システムの構築
科研費	スタート支援	北原正博	代表	900,000	食道癌化学療法の早期効果予測マーカー開発による個別化化学療法の確立
科研費	スタート支援	松隈 聡	代表	1,600,000	膵癌幹細胞に含まれる Calreticulin 陽性細胞の幹細胞性・免疫学的機能解析
科研費	若手研究	藤原信行	代表	1,600,000	オートファジー活性制御を介した肝細胞がん幹細胞に対する治療法の開発
科研費	若手B	竹ノ内寛子	代表	1,600,000	がんと間質に特化した大腸がんマイクロRNAの解析に基づく免疫療法の効果予測

業績その他

2018 メディア

1. Club Kirara 2018年1月1日 山口県がん治療最前線 第4回 肝がん・胆道がん・膵がん 永野浩昭 徳久善弘
2. 朝日新聞 2018年1月4日 生体肝移植～山口県でも肝移植が可能に～ 永野浩昭
3. 読売新聞 2018年2月27日 救える命を助けたい 生体肝移植 永野浩昭
4. Club Kirara 2018年4月1日 山口県がん治療最前線 第5回 乳がん 永野浩昭 山本 滋
5. Club Kirara 2018年7月1日 山口県がん治療最前線 第6回 山口県のがん診療の未来にむけて 永野浩昭 兼清信介
6. 中四国医事新聞社 2018年8月20日 がん特集 当たり前の医療になれば市民も医療者も変わる 永野浩昭
7. 宇部日報 2018年10月24日 生体肝移植の現状説明 山大消化器・腫瘍外科が市民講座
8. 朝日新聞 2018年10月26日 ピンクリボン&学んで！肝炎 inやまぐち2018 永野浩昭 前田訓子

() 2018年(平成30年) 1月 4日 木曜日 厚野 白 磯子 尾野 第3種郵便物認可

山口大学大学院医学系研究科
消化器・腫瘍外科
教授 永野 浩昭 氏

生体肝移植 ～山口県内でも肝移植が可能に～

複雑な機能を多く持つ肝臓
悪化すれば移植が必要に

肝臓は身体の中で最大の臓器で、蛋白質、脂肪、糖、ビタミンなどの代謝、不要になった物質の解毒、そして胆汁を作つて食物の消化吸収を助けます。このように肝臓には複雑な機能が数多くあるため、肝臓の機能が大幅に低下して、進行性、不可逆性になると、死に至る状況に陥ります。そうすると、悪くなった肝臓を新しい肝臓と入れ替える肝移植が、有効な治療法がなくなつてしま

日本における「生体肝移植」
中心的役割を果たす

肝移植には、欧米で主流の「死体肝移植」と、健康な成人から肝臓の一部の提供を受ける「生体肝移植」とがありますが、脳死者からの臓器提供の極度に少ない日本では、生体肝移植が治療の中心的役割を果たしています。

生体肝移植には、自発的に肝臓を提供してくれるドナーの肝切除という手術が必要で、100%安全にできる保証はありません。そのため、厳密な適応基準が設けられてお

山口県で16年ぶりに再開された肝移植。きっかけは、大阪大学にて肝移植の責任者として数多くの手術を執刀・指導されてきた永野浩昭教授が、2015年3月に山口大学へ着任されたことでした。肝疾患診療の拠点病院である山口大学附属病院に強力なリーダーが登場することで、「肝移植・再開プロジェクト」が大きく前進し、念願の山口県内での肝移植再開につながったのです。その永野先生にお話を伺いました。

術後は拒絶反応と感染症
両方起きないようなバランスが重要

術後は拒絶反応と種々の感染症に対する警戒が必要ですが、むしろ術後のケアこそが肝移植治療の本番といえるかもしれません。感染症は、免疫抑制剤の投与によって免疫能が低下するため起こります。つまり免疫抑制剤を投与すると拒絶反応は抑制されますが、細菌やウイルスに対する免疫能も低下するため、感染症が増えてきます。逆に、免疫抑制剤を少なくすると感染症は減りますが、拒絶反応の危険性が高くなります。そこで、拒絶反応と感染症予防の間でうまくバランスをとるよう管理していく事が大事になります。

地域の無病院で肝移植手術が行われる
メリットは大きい

熟習された、山口県内での生体肝移植が山口大学附属病院で再開され、すでに2017年12月末までに5例が施行されました。生体肝移植では、ドナー(提供者)とレシピエント(受容者)の双方とも、術前の綿密な検査と説明に多くの時間がかかります。そして移植後の1年間は2週間に1回の外来通院によるコントロールが必要になります。免疫抑制剤は一生服用し続けなければなりません。通院可能な病院で移植手術を受けられることは、患者さんとそのご家族にとって、それまでの生活を続けながら治療できる大きなメリットがあると思います。(藤)

宇部日報 2018年(平成30年) 10月24日 水曜日 (日刊日・祝日除く)

生体肝移植の現状説明

山大消化器・腫瘍外科が市民講座

山口大学大学院医学系研究科の医学専攻消化器・腫瘍外科の宇部で開かれた、同消化器・腫瘍外科が市民講座「生体肝移植の現状説明」が2018年10月24日、ANAクラウンプラザホテル宇部で開かれた。

「生体肝移植の現状説明」が2018年10月24日、ANAクラウンプラザホテル宇部で開かれた。同消化器・腫瘍外科の宇部で開かれた、同消化器・腫瘍外科が市民講座「生体肝移植の現状説明」が2018年10月24日、ANAクラウンプラザホテル宇部で開かれた。

「生体肝移植の現状説明」が2018年10月24日、ANAクラウンプラザホテル宇部で開かれた。同消化器・腫瘍外科の宇部で開かれた、同消化器・腫瘍外科が市民講座「生体肝移植の現状説明」が2018年10月24日、ANAクラウンプラザホテル宇部で開かれた。

「生体肝移植の現状説明」が2018年10月24日、ANAクラウンプラザホテル宇部で開かれた。同消化器・腫瘍外科の宇部で開かれた、同消化器・腫瘍外科が市民講座「生体肝移植の現状説明」が2018年10月24日、ANAクラウンプラザホテル宇部で開かれた。

「生体肝移植の現状説明」が2018年10月24日、ANAクラウンプラザホテル宇部で開かれた。同消化器・腫瘍外科の宇部で開かれた、同消化器・腫瘍外科が市民講座「生体肝移植の現状説明」が2018年10月24日、ANAクラウンプラザホテル宇部で開かれた。

「生体肝移植の現状説明」が2018年10月24日、ANAクラウンプラザホテル宇部で開かれた。同消化器・腫瘍外科の宇部で開かれた、同消化器・腫瘍外科が市民講座「生体肝移植の現状説明」が2018年10月24日、ANAクラウンプラザホテル宇部で開かれた。

広告

紙上採録 みんなの県民公開講座 ～山口県～ 10月「ピンクリボン月間」・「やまぐちピンクリボン月間」

ピンクリボン&学んで!肝炎inやまぐち2018

企画・制作/英朝日広告社 山口営業部

乳がんは定期的に検診!

肝炎は必ず一度は検査を受け、早期治療につなげよう!

9月23日(日)祝

山口県健康づくりセンター
多目的ホール

●主催: ピンクリボン&学んで!肝炎inやまぐち2018実行委員会
 構成: (公財)山口県健康福祉財団、(公財)山口県予防保健協会・日本対がん協会山口県支部
 ●後援: 山口県、山口県医師会、山口県看護協会、山口県薬剤師会、全道健康増進協会山口県支部、山口県連合婦人会、
 毎日新聞社、山口新聞社、ysh山口朝日放送、KRY山口放送、tvsテレビ山口、FMYエフエム山口

●特別協賛: 丸久グループ 株式会社丸久
 ●協賛: アサヒ飲料(株)、日清食品(株)、日清オイログループ(株)、オハヨー乳業(株)、(株)マルニ、山口県信用金庫協会、
 東京海上日動火災保険(株)、東京海上日動火災生命保険(株)、日産プリンス山口販売(株)、パークレーン宇部
 ●協力: 山口大学大学院医学系研究科消化器・腫瘍外科、山口県医師会教育後援会、あけぼの山口(乳がん研究会)、(株)フコール

第1部 基調講演Ⅰ

山口大学大学院医学系研究科
消化器・腫瘍外科 助教(乳癌専門医) 前田 訓子 先生

『受けよう乳がん検診 ～もっと知りたい乳がんのこと～』

今では11人に1人が乳がんになると言われており、日本人女性では45～54歳での罹患率が最も多くなっていますが、高齢の方も安心はできません。罹患するリスクとして高いのは、閉経後の肥満、アルコール・喫煙、乳がんの既往があること、乳がんの家族歴があること、などです。

2010年の都道府県別乳がん検診受診率では、山口県は全国最下位でした。最近受診率は上がってきてはいますが、最新データでも山口県はダントツ最下位です。

受診率が低い理由としては、痛そうだからということですが、一番多いのは、もし乳がんが見つかったら怖いから、ということのようです。

でももっと怖いのは、乳がんになっても気づかないことです。しこりができても痛くも痒くもなく、自覚症状がほとんどないからです。

ある70代の患者さんは、しこり以外は全く自覚症状がなく、乳がん検診には1度も行ったことがなく、来られた時には全身に転移していました。乳がんが怖いのは、がん細胞が血管やリンパ管を通して全身に転移することです。

乳がん検診では、視触診により乳房に異常がないかを確かめます。この時に医師がどのように触診しているかをよく観察して、セルフチェックの参考にしてください。

検診で精密検査が必要と言われても、乳がんと診断されたら怖いから受けたくないという方が多いのですが、とにかく早く受けましょう。精密検査で乳がんと診断される方は約2%で、早期であれば90%の方が治ります。

乳がんには、手術や放射線、薬物療法を組み合わせた、治療効果の高い方法が標準治療として行われており、現在も様々な治療法を開発中です。

しこりが1cmの大きさになるまでには7～8年かかります。ですからたとえ2cmくらいのしこりがあったとしても手術を急がないで、1ヶ月くらい落ち着いて考えて最適な治療法を選択することが大切です。

また乳がんの5～10%は遺伝と関係があるので、心配な方は遺伝子検査・診療を行っている医療機関に相談されてはいかがでしょうか。

人生100年時代はもうすぐです。乳がんになる方は増えるでしょうが、亡くなる方は少なくなると予想されます。怖がらないで、ぜひ検診を受けましょう!



第1部 基調講演Ⅱ

山口大学大学院医学系研究科
消化器・腫瘍外科 教授(肝臓専門医) 永野 浩昭 先生

『肝がんと肝炎 ～いま、知っておきたいこと～』

肝臓は栄養分の代謝・合成を行い、胆汁という消化液を分泌し、体内の有害物質の解毒作用をするなど、非常に重要な役割をしている臓器です。

肝がんには肝臓の中からできる「原発性肝がん」と他臓器のがんが転移する「転移性肝がん」があります。転移性がんの場合は、肝がんとして治療するのではなく、転移する前に発症していた部位の治療を行います。例えば胃がんから転移すれば、たとえ肝臓にできていても胃がんの治療法を用いるのです。

原発性肝がんには、肝細胞がん、肝内胆管がん、混合型肝がんなどがあり、中でも肝細胞がんが圧倒的に多くなっています。肝細胞がんは肝硬変・慢性肝炎に合併して発症することが多く、最近では肥満、糖尿病など生活習慣病からも発症することがわかってきたので、注意が必要です。つまり、肝細胞がんにならないためには、肝硬変・慢性肝炎や生活習慣病をきちんと治すことが大切です。

肝がんは多臓器への転移はあまり見られませんが、肝臓での再発率が多いのが特徴です。そしてその都度治療が可能なので、繰り返し治療することが重要になります。

治療法には内科治療、化学療法、免疫療法、放射線療法、外科療法などがあり、色々な治療法を組み合わせで行います。私は外科が専門なので手術についてお話しすると、手術治療は肝切除と肝移植になります。肝切除は、開腹手術よりも、腹腔鏡下肝切除手術が今は主流となっています。腹腔鏡手術のメリットは、傷が小さく痛みが少ないため早期回復・早期退院・早期社会復帰が可能だということです。反面、手術時間がかかり特殊な医療機器が必要かつ手術手技が困難だというデメリットもありますが、専門医や十分な設備がある施設で行えば問題はありません。山口大学でも150例以上行っていますが、手術死亡は0です。

また、肝硬変が進行し肝機能の極めて悪い人には、肝移植を行います。山口大学では14年ぶりに再開し、いつでも対応できるようになっています。

肝臓がん治療は日進月歩で進んでいます。治療は、内科・外科・放射線科の専門医が連携して患者さんに適した治療法を組み合わせ進めていくので、それぞれの専門医がいる施設での治療を強くお勧めします。

そして各種療法を繰り返し行っていくでしょう。



日本医師会認定地域医療支援機関
医療法人 聖比呂会
セントヒル病院
外科 消化器外科 消化器内科 泌尿器科 内科 循環器内科
産科 婦人科 小児科 人工透析科 整形外科 皮膚科 皮膚科
アレルギー科 がんセンター 放射線科 放射線科 放射線科
山口県宇部市宇部北3丁目7-1番 電話0636(5)15111番
URL: <http://www.snhil.jp/>

地域医療支援機関
医療法人 聖比呂会
宇部産産中央病院
院長 清水 昭彦
〒755-0111 山口県宇部市宇部南2丁目1番地
TEL: 0636-31-2421 FAX: 0636-31-2422
<http://www.umozon.jp/>

山口県立総合医療センター
院長 藤井 浩人
山口県宇部市宇部南2丁目1番地
TEL: 0636(58)2300
<http://www.yamaguchi-hosp.jp/>

山口県立総合医療センター
院長 林 弘人
泌尿器科 部長 長岡 由紀子
〒755-0111 山口県宇部市宇部南2丁目1番地
TEL: 0636-31-2421
下関市豊後水産産 1-1
0636-341-1199

山口県立総合医療センター
院長 山下 智彦
〒755-0111 山口県宇部市宇部南2丁目1番地
TEL: 0636-31-2421
<http://www.monocolor.jp/>

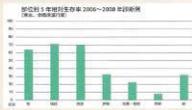
山口県
がん治療最前線

6回-連載



山口大学大学院 消化器・腫瘍外科学
教授 永野 浩昭

肝胆膵外科領域に発生するがんには肝がん、胆道がん(胆管がんと胆嚢がん)、膵がんがあり、2016年の部位別がん死亡数で、膵がん4位、肝がん5位、胆道がん6位と上位に位置する。さらに、他のがんと比較して、5年相対生存率が非常に低く、予後不良で、ま



第4回
肝がん・胆道がん・膵がん
(肝胆膵外科の治療)

た手術の難しい領域のがんです。また手術だけでなく、化学療法(抗がん剤)治療や放射線治療を組み合わせた集学的治療による新たな有効な治療法の開発が必要と言われています。そのため、山口大学病院では、肝がん、胆道がん、膵がんの治療については週に1回、内科、放射線科とともにカンファランス(カンサポード)を行い、方針を決定しています。

1. 肝がん
原発性肝がんと転移性肝がんがあります

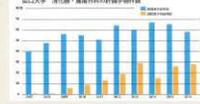
山口大学大学院
医学系研究科
消化器・腫瘍外科学
www.yamada-gesurgery.jp

15 山口県がん治療最前線 MAGAZINE



肝胆膵外科チームの集合写真

が、原発性肝がんについて解説します。肝がんの治療は、肝機能とがんの状態(がんの数や大きさなど)のバランスを考慮して、決定します。治療法には内科的治療(薬物療法、放射線療法、化学療法)と外科的治療(肝切除と肝移植)があります。山口大学 消化器・腫瘍外科の肝臓手術件数は国内最多の年間約600例です。また腹腔鏡下肝切除(体に傷つき、節の小さい)は難易度が高いと言われていますが、その比率は年々増加しており、現在では約50%に達し



ています。また、治療成績向上のために、臨床試験としてのフクサン療法等の治療や、高度肝硬変症例については生体肝移植を施行しています。

2. 胆道がん(胆管がん・胆嚢がん)
胆道とは、肝臓から分泌された胆汁の通り道で、肝門部領域胆管と遠位胆管、胆嚢、十二指腸乳頭部に分けられます。胆管周囲

には肝臓に向かう重要な血管(肝動脈、門脈)が走行し、膵臓の中を走っているため、胆道のどこにがんができたかで、手術の方法が異なります。基本的に、肝門部領域では肝臓と胆管を、遠位胆管では胆嚢と膵頭部(膵臓の約半分)と十二指腸を切除します。いずれの術式も難易度が高い、大掛かりな手術で、重篤な術後合併症の発生率や死亡率が高いので、手術技能が大きく影響します。また現在のところ、術前術後の化学療法や放射線治療の効果は明らかではありません。そのため、我々は積極的に日本の臨床試験に参加して、優れた治療法の開発を行っています。

3. 膵がん
膵臓がんは、早期発見が難しく、進行も速いので、一番予後の悪いがんです。手術可能な、膵頭十二指腸切除や膵体尾切除を行いますが、膵頭十二指腸切除では、胆管と膵管を再建しなければならず、胆道瘻の手術と同様に難易度が高く、術後合併症の多い手術です。手術だけではなく、治療が非常に難しいがんなので、我々は積極的に術前から化学療法を導入し、治療成績の向上に努めています。

以上のように肝胆膵領域のがんの手術は高難度なものばかりです。そのため、日本肝胆膵外科学会は、全国の病院の中で肝胆膵移植施設を有している施設を認定しています。山口県内では山口大学医学部附属病院だけが施設認定として認められています。

肝胆膵領域のがん治療の核として、我々は日々研鑽を積むとともに診療を行っています。
● 文責: 助教 徳久 弘弘

16 山口県がん治療最前線 MAGAZINE

山口県
がん治療最前線

6回-連載



山口大学大学院 消化器・腫瘍外科学
教授 永野 浩昭

第5回
乳がん

乳がんは、女性のがん患者数第1位の疾患で、女性1万人に1人が罹患するといわれています。2016年の年間の新規乳癌患者は29万人とされています。死亡者数(1万4000人)は第5位であり、早期に見出し、適切な治療を受けると完治する疾患です。

乳がん治療は、手術療法と薬物療法が2本の柱です。治療方針は、患者さんの乳がんのステージ(ⅠからⅣ)で決定します。ステージⅠ、Ⅱというのは比較的早く見つかった方です。少し遅く見つかるステージⅢで、やや遅く見つかった腫瘍や骨などに転移しているステージⅣとなります。ステージによって、手術や薬物療法の順番が違ってきます。ステージⅠかⅡ、おおよそ5センチ以内のしこりが見つかった人には最初



CTリンパ管造影法(山口大学オリジナル)

に手術をして、そのあと薬物療法に移ります。ステージⅢの場合は、多くの患者が腋窩のリンパ節に転移が見つかるので、先に薬物療法をしてから手術をします。ステージⅣの場合は主に薬物療法で治療をします。多くの人は、ステージⅠかⅡの状況で来院されます。

山口大学大学院
医学系研究科
消化器・腫瘍外科学
www.yamada-gesurgery.jp

15 山口県がん治療最前線 MAGAZINE



2外科 乳腺内分泌グループ

私たちの教室では年間平均120-130例の乳癌手術を、乳腺専門医・指導医資格をもった医師が中心となり行っています。以前は乳房にどんなに小さながんが出来ても全て切除し、手術後は片方の乳房を失っていました。しかし最近では、腫瘍の大きさが



3センチ以下であれば、部分切除をします。これがいわゆる乳房温存手術です。約40-50%の患者が、この手術を受けています。乳房全摘を受けた患者さんも、希望があれば形成外科専門医とともに人工乳房(シリコン)や、自分の筋肉などを利用した再建手術を行っています。また、乳房に出来

たがん細胞が最初にとどまらずリンパ節(センチネルリンパ節)を手術中に切除して、顕微鏡でみて、転移がないとそこでリンパ節の手術は終了します。全部取らないので、患者にとって腕のむくみや加齢障害などを防ぎ、生活の質を保つことが出来るメリットがあります。

このセンチネルリンパ節を見つける方法として、私たちはCTリンパ管造影法を先行し手術をしています。この方法だと手術前に、センチネルリンパ節がどこに何個あるのかがわかり、手術に際してセンチネルリンパ節を99%の確率で特定できる

質も使わなくてすむという点で、この「山口大学方式」は学会でも評判となっています。薬物療法には、抗がん剤(化学療法剤)、分子標的治療剤、ホルモン剤があります。これら患者さん個々の、乳がんの性質にあわせて使用し、乳がん再発を防ぎます。

乳がんは今、世界で最も研究が進んでいる疾患です。治療はどんどん進歩し、新しい薬剤が登場しています。しこりに気づいても大丈夫なので、必ず病院に行くこと。放置しているのが一番良くないのです。
● 講師・診療准教授: 山本 滋

山口県
がん治療最前線

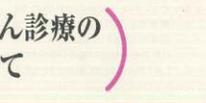
6回-連載



山口大学大学院 消化器・腫瘍外科学
教授 永野 浩昭

第6回
山口県のがん診療の
未来に向けて

山口県は人口約140万人で、高齢化率は32.07%と全国ワースト4位であり、若年が高齢化が進んでいます。一方で、がんは成人病であり、高齢者になればその罹患率は高くなるため、死亡数は増加の一途をたどっています。昭和56年以降、山口県における死亡原因の第1位はがんで、例えば平成25年のがんによる死亡者数は5,007人、能死亡率者数の約3割を占めることになりました(山口県のがん登録)。このことより、がん診療に大きな役割を果たす外科医のニーズは、今後ますます高くなっていくと考えられます。



山口県のがん登録 一方で山口県では、診療現場の第一線で働く45歳未満の医師は減少の一途をたどっています(やまぐちドクターネット)。

山口大学大学院
医学系研究科
消化器・腫瘍外科学
www.yamada-gesurgery.jp

5 山口県がん治療最前線 MAGAZINE



やまぐちドクターネット また全国的に見ても、40歳未満の外科医数は経時的に減少しています。つまり山口県では少ない外科医で、増加するがん患者を支えていくことが求められるようになると思われます。

したがって、山口県のがん診療の未来は、優秀な外科医を多く育てることにかかっていると一言で過言ではありません。本来、外科は患者に直接治療する機会が多い治療学としての魅力に溢れ、医学生の時に来るの志望を調査すると外科を希望する者は少なくありません。しかしながら、卒業時さらには初期臨床研修終了時には外科希望医師は減少しているのが現状です。その理由として、過重労働、医療訴訟、低賃金などの外科に対するマイナスイメージが挙げられています。しかし、これらの対策を講じることも重要ですが、山口県において今一歩取り組んでいかなければならないことは「教育体制の整備」です。当たり前ですが、外科医の教育は外科医にしかできません。そして、個々の施設あるいは個人で一人の外科医を教育する際には限界があります。第1回の連載で、がん診療の拠点化と集約化につい



2014年厚生労働省調査 一方で融れましたが、今後の外科医教育においても、教育基幹病院(大学病院+関連病院)への研修施設あるいは外科研修医の集



大学病院と関連病院が一線となった外科医教育 的が必要と考えます。大学病院と関連病院では、専門性や地域に求められる医療ニーズ等、その役割が異なります。それぞれの特性を生かし、お互いに協調・連携しながら、一体となった教育体制を作り上げるのが喫緊の課題です。指導医と外科研修医が「教育」を通じて、本当に患者さんのために思い・真摯に考えたいことで自然と人がある。そんな体制を山口県で作り上げる必要がある。そのように考えています。
● 文責: 兼 浩 信 介

6 山口県がん治療最前線 MAGAZINE

The LIVER CANCER JOURNAL

2018.6 Vol.10 No.1

HCC Best Practice



山口大学大学院医学系研究科消化器・腫瘍外科学教室における肝細胞癌治療の取り組み
**腹腔鏡手術を第一選択とした肝切除術を主に、
肝移植や癌ペプチドワクチン療法なども選択肢として整備し、
生存率の向上をめざす**

Interview

永野 浩昭 先生

山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学教室 教授

山口大学大学院医学系研究科消化器・腫瘍外科学教室の歴史は、1951年7月、同大学外科学講座が第一講座と第二講座の二講座制になった際に開講した外科学第二講座(旧)に始まる。これまでに岡村 正教授、徳岡俊次教授、石上浩一教授、鈴木 敏教授、岡 正朗教授(現山口大学学長)ら5人の教授が同教室の発展に貢献するとともに、山口における消化器外科、乳腺・内分泌外科の中核病院として地域の医療を担ってきた。

開講65年目を迎えた2015年3月、永野浩昭先生が第6代教授に就任。以来、これまでの教室の歴史と伝統に新たな独自性を加えて、患者のためにある“医療”、研究者とともに歩む“医学”、若い医師の未来と可能性を十二分に発展させる“教育”の三本柱で教室のさらなる飛躍をめざしている。その治療の実際と今後の展望について、永野先生からお話を伺った。



Clinical and research conference

2018.2.24 - winter

時間	全体進行係：鈴木伸明 先生
7:30-9:15	1. 各診療グループ報告 司会：武田 茂
	乳腺内分泌グループ 山本 滋 先生
	上部消化管グループ 武田 茂 先生
	下部消化管グループ 鈴木伸明 先生
	肝胆膵グループ 徳光幸生 先生
	腫瘍センター 吉野茂文 先生
	免疫療法 裕 彰一 先生
9:35-17:05	1. 研究者発表会議 2017年 研究総括：裕 彰一 先生 午前司会：山本 滋 先生 午後司会：武田 茂 先生
山田健介	①Search for biomarkers of colon cancer immunochemotherapy by comprehensive protein analysis of tumor tissue. ②Search for biomarkers of adoptive immunotherapy and chemotherapy for pancreatic cancer.
藤原康弘	①Stemness of Calreticulin positive cells and the expression of molecules related to immune response against pancreatic cancer stem-like cells.(2018 new) ②Analysis about Annexin A2 which are highly expressed in pancreatic cancer stem like cells.(2018 new)
桑原太一	①Relationship between tumor infiltrating lymphocytes, MSI and BRAF600E mutation as a prognostic factor in colorectal cancer ②The role and mechanism of STAT3 in tumor associated macrophage in tumorigenesis microenvironment
中島正夫	Overcoming therapeutic resistance in solid tumor with anti-PD-1scFv secreting chimeric antigen receptor T cell therapy
藤本拓也	Cathepsin B can be a biomarker for pancreatic cancer stem-like cells
西山光朗	①Metastatic ability and epithelial-mesenchymal transition in induced cancer stem-like hepatoma cells. ②Induction of squamous cancer stem-like cells from cell lines of esophageal cancer
武田 茂	Association of single nucleotide polymorphisms in the diamine oxidase gene with gastrointestinal toxicity during chemotherapy in patients with esophageal carcinoma
近藤潤也	The effect of prolonged fixation on the immunohistochemical evaluation and fluorescence in situ hybridization results of HER2 expression in advanced gastric cancer
田中宏典	MiR-125b and miR-378a are possible predictive biomarkers for the efficacy of the vaccine treatment for colorectal cancer
藤原信行	The role of protein phosphatase 6 in colorectal cancer.(2018 new)
松井洋人	Post-Operative Adjuvant Therapy for Resectable Pancreatic Cancer With Gemcitabine and Adoptive Immunotherapy
松隈 聡	Proposal of novel clinical trials in HBP and transplantation surgery. (2018 new)
北原正博	Ability of Fluorine-18 Fluorodeoxyglucose Positron Emission Tomography to Predict Outcomes of Neoadjuvant Chemotherapy Followed by Surgical Treatment for Esophageal Squamous Cell Carcinoma
前田訓子	Expression of secreted protein acidic and rich in cysteine (SPARC) in triple negative breast cancer
恒富亮一	Cancer stem-like sphere cells from HCC cell lines & genome wide analysis for clinical application
兼清信介	Efficacy of immunonutrition combined neoadjuvant chemotherapy for Esophageal Cancer. (2018 new)
徳光幸生	Development of an Individualizing Predictive System for Outcome of Patient with Hepatocellular Carcinoma after Curative Hepatectomy /Novel laparoscopic approaches as the total biopsy methods for suspected gallbladder cancer.(2018 new)
友近 忍	TCR Sequencing of Advanced Colorectal Cancer Patients Receiving anti-EGFR
飯田通久	Future prospect for starting a new clinical trial of gastric cancer
徳久善弘	Surgical outcomes for hepatocellular carcinoma. (2018 new)
鈴木伸明	A phase II study of Bi-weekly XELIRI with Bmab for patient with metastatic colorectal cancer as 2nd-line chemotherapy
山本 滋	Contrast-enhanced ultrasonography in diagnosis of sentinel node metastasis in breast cancer patients
17:05-17:15	4. 総括 永野浩昭 教授

研究者発表会議

2018.7.28 - summer

時間	全体進行係：鈴木伸明先生
7:30~13:57	1. 研究者発表会議 司会：山本 滋先生(前半)、武田 茂先生(後半)
木村祐太	① Evasion from immune surveillance in cancer stem-like cells derived from a hepatoma cell line. ② Relationship between “gemcitabine resistance” and “ transition ability of cancer cell to cancer stem-like cell” in hepatoma and bile duct cancer derivatives.
山本常則	① Quest for novel immune suppressive factors extrapolating from tumor microenvironment beyond Immunoscore and peripheral immune status of colorectal cancer. ② Comprehensive analysis for prognostic and immune biomarkers of HCC with transcriptome and whole-exome sequencing; based on a phase I/II study of adjuvant immunotherapy for HCC with HSP70 mRNA transfected DC.
中島千代	LOX-1 as a biomarker of inflammatory poor prognostic biomarker of colorectal cancer ① Search for biomarkers of colon cancer immunochemotherapy by comprehensive protein analysis of tumor tissue.
山田健介	② Search for biomarkers of adoptive immunotherapy and chemotherapy for pancreatic cancer.
藤原康弘	① Stemness of Calreticulin positive cells in pancreatic cancer stem-like cells. ② Immunological function of Calreticulin positive cells and the expression of molecules related to immune response in pancreatic cancer stem-like cells.
桑原太一	Relationship between tumor infiltrating lymphocytes, MSI and BRAF600E mutation as a prognostic factor in colorectal cancer
中島正夫	Overcoming therapeutic resistance in solid tumor with anti-PD-1scFv secreting chimeric antigen receptor T cell therapy
藤本拓也	Cathepsin B can be a biomarker for pancreatic cancer stem-like cells
近藤潤也	The effect of prolonged fixation on the immunohistochemical evaluation and fluorescence in situ hybridization results of HER2 expression in advanced gastric cancer
西山光郎	① Metastatic ability and epithelial-mesenchymal transition in induced cancer stem-like hepatoma cells. ② Induction of squamous cancer stem-like cells from cell lines of esophageal cancer
松井洋人	Development of Scoring System to Predict Pancreatic Fistula After Pancreaticoduodenectomy
松隈 聡	Efficacy of Surgery vs. TACE for BCLC-B HCC: a retrospective multicenter trial.
前田訓子	Expression of secreted protein acidic and rich in cysteine (SPARC) in triple negative breast cancer
武田 茂	Perioperative risk factors for acute respiratory distress syndrome after esophagectomy
Blake Salvador	Analysis of PBMCs and TILs in patients treated with peptide vaccination (YCP02 study)
藤原信行	The role of protein phosphatase 6 in colorectal cancer.
恒富亮一	Cancer stem-like sphere cells from HCC cell lines & genome wide analysis for clinical application
新藤芳太郎	Simultaneous hepatic artery resection and reconstruction for perihilar cholangiocarcinoma
兼清信介	Efficacy of immunonutrition combined neoadjuvant chemotherapy for Esophageal Cancer.
徳光幸生	Development of an Individualizing Predictive System for Outcome of Patient with Hepatocellular Carcinoma after Curative Hepatectomy / Novel laparoscopic approaches as the total biopsy methods for suspected gallbladder cancer.
友近 忍	TCR Sequencing of Advanced Colorectal Cancer Patients Receiving anti-EGFR
飯田通久	Combining CRP and VFA can be a predictor of perioperative infectious complications after gastrectomy for gastric cancer.
吉田 晋	First-line chemotherapy for unresectable and metastatic colorectal cancer
鈴木伸明	A phase II study of Bi-weekly XELIRI with Bmab for patient with metastatic colorectal cancer as 2nd-line chemotherapy
山本 滋	Contrast-enhanced ultrasonography in diagnosis of sentinel node metastasis in breast cancer patients
13:57-14:07	2. 下部消化管グループ報告 鈴木伸明 先生
14:07-14:22	3. 総括 永野浩昭 教授

学位取得者報告

長島由紀子 平成9年卒



平成30年に学位を取得させていただきました。私が大学院に入学したのは平成14年でした。当時与えられたテーマをまとめることができず、学位を取得できないまま年月が経ちました。

乳癌を専門にし、日々の診療の中で乳癌に対する化学療法は患者のQOLと免疫機能を損なうことを多く経験し、QOLと免疫機能低下を抑制するアジュバントとして、経口の生物反応調節剤であるシイタケ菌糸体抽出物(Lentinula edodes mycelia : LEM)に注目しました。アンスラサイクリン系化学療法にLEMの経口摂取を併用することで宿主のQOLと免疫機能を維持するのに役立つことが示唆され、LEMは、アンスラサイクリン系化学療法の有用な経口アジュバントとして期待されることを示しました。

多大なるご指導、ご鞭撻をいただきました永野浩昭教授、吉野茂文先生、山本滋先生をはじめ、ご協力いただきました多くの方々に深く感謝いたします。

亀井滝士 平成15年卒



私の研究は、当科で手術を行った胃癌の患者さんの摘出標本において癌細胞のULBP1発現と腫瘍浸潤リンパ球のNKG2D発現を免疫組織学的染色にて評価し、臨床病理学的結果との関連を調査したものです。この二つの関係は免疫チェックポイントとしてどのように機能するかわかっていませんでした。ULBP1は98例中70例と高頻度で発現していましたが、NKG2Dの発現は主にT細胞でしたが19例と低い頻度でした。ただ、NKG2D発現症例は術後再発が有意に少なく、全生存期間(OS)も有意に長いという結果でした。また、ULBP1発現との組み合わせでも両方を発現している群が他の三群に比べ有意にOSが良好でした。これにより、ULBP1とNKG2Dは胃癌の予後のバイオマーカーになる可能性やNKG2D発現をupregulateすることによる術後再発抑制やOSの延長という新たな免疫療法の可能性もあると考えています。

本テーマを与えていただき実験から論文執筆さらに学位申請に至るまで10年の長期にわたり多くの時間を割いていただき御指導・御鞭撻を頂きました吉村清先生、岡正朗前教授、就任された直後から学位取得まで私個人のために二外科シールドルームで御指導・御鞭撻を頂きました永野浩昭教授、このテーマが決まり当科から胃癌の論文は久しくないから頑張れといつも背中を押して下さっていました吉野茂文先生、大学院在学中に赴任させていただきました小野田赤十字病院の水田英司先生、佐藤智充先生、学位取得のために萩を離れることもありご迷惑をおかけしました都志見病院山本達人先生をはじめとして大変多くの方々にお世話になりました。この場をもちご協力いただいた方々に深謝申し上げます。

学位取得者報告

西山光郎 平成19年卒



平成19年卒の西山です。私の研究テーマは恒富 亮一先生のご指導のもと、癌幹細胞(CSC)の研究を行いました。以前に橋本憲輝先生が肝癌由来細胞株から当科独自の 방법으로誘導した癌幹細胞様細胞(CSLC)が抗癌剤抵抗性を持つことを示して論文発表されましたが、私はこのCSLCが著明な肝転移能を持つことを検証いたしました。具体的には超免疫不全マウスの脾臓に癌細胞を注入し、2か月後の肝転移形成頻度を親株とCSLCで比較するという実験を行いました。転移の傾向は当初より印象として明らかでしたが、実際に有意差を示すにはなかなかの数をこなす必要があり大変でした。苦勞のかいあって有意差が出たときにはほっとしたものです。その他にも誘導法の理論の基となっている上皮間葉転換に関連するマーカーや遺伝子の発現亢進や最も有名なCSCマーカーであるCD44のisoform解析から得られたデータから今までほとんど注目されていなかったCD44 short tail isoformとCSCの関連が示唆され、これらをもとにH30年9月に学位を頂くことが出来ました。

この研究にあたりまして、永野教授をはじめご指導ご協力頂きました先生方や研究助手の皆さまに感謝申し上げます。また何より、何から何までご指導サポートを頂きました恒富先生のおかげで学位まで到達できました。色んなことが遅々としている私は特に先生をやきもきさせ、ご迷惑をおかけしたと思います。ご指導頂きまして本当にありがとうございました。今後ともご指導ならびにご鞭撻の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

田中宏典 平成20年卒



私の研究テーマは、大腸癌ペプチドワクチン療法の効果予測バイオマーカーとなるmicroRNAの解析でした。入局後に赴任した関連病院において、実際にペプチドワクチンを投与し、効果のあった(と思われる)患者さんと、そうでない患者さん、いずれも経験しました。FXV試験の結果、免疫療法の効果には個人差があることが判明し、治療前に効果が期待できる患者さんを選択すべく、miRNA発現を解析しました。研究は、当時の患者さんが思い出され、懐古的な日々であると同時に、未来の患者さんに貢献できるよう興味を持って取り組むことができました。今後は、大学院で得た知識や経験を臨床に活かしていきたいと思っております。

ご指導いただきました永野浩昭教授をはじめ、実験に関わっていただいた多くの方々に心より感謝しております。特に、研究の立案から論文作成まで直接ご指導を賜りました裕彰一教授にはこの場をお借りして深謝申し上げます。本当にありがとうございました。

新入局者あいさつ



西田裕紀 平成28年卒

このたび山口大学大学院消化器・腫瘍外科学に入局させていただきました西田裕紀です。生まれも育ちも北九州市で、山口大学医学部を平成28年に卒業しました。卒後は北九州総合病院で2年間の初期臨床研修を行いました。母校のある山口の医療に貢献すべく舞い戻って参りました。卒後3年目に山口大学医学部附属病院で本格的な外科修練を開始させていただき、高難度手術を間近に触られることができ、非常に刺激的な生活を送っております。まだまだ至らない点が多いですが、高校ではラグビー部、大学では野球部と、学生時代に培った無尽蔵の体力を活かし、患者様にとって最適かつ最高の医療を提供できるよう日々精進していく所存です。今後ともご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



徐明 平成15年卒

皆様初めまして。徐明（ジョーメイ）と申します。中国の大連市出身です。

私は平成15年中国大連医科大学を卒業しました。平成19年、群馬大学医学部へ留学しました。日本で博士課程、ポスドク研究員などの経験があり、長い日本での研究経験があります。平成30年9月、学術研究員として山口大学消化器腫瘍外科に入局させていただきました。最初は様々な不安がありましたが、永野教授をはじめとした先生方から色々な知識を丁寧に教えていただきました。今、自分の研究テーマは大腸がん肝転移の進行に関わるマイクロRNAの同定と制御するメカニズムの解明です。自分は基礎研究に興味があり、大腸癌の治療のため微力ながら貢献したいと思います。

今後とも皆様にご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



中上 裕有樹 平成23年卒

この度青山会に入会させて頂きました、統計学・データサイエンスを専門にしております学術研究員の中上裕有樹と申します。生まれも育ちも京都ですが、小学4年～6年生の時には父親のポスドク留学のため米国・ノースカロライナ大学チャペルヒル校付近に住んでいました。その後同志社大学文化情報学部を2011年に卒業し、米国・ウェスタンミシガン大学大学院統計学科で理学修士（統計学）などの学位を取得しました。大学院在籍中に講座の公募を見つけ応募し、ASCOでシカゴに来られていた裕教授・吉野准教授と実際にお会いし、2018年・夏から初めての山口に住むこととなりました。この1年、臨床データの論文化に向けた統計学・データサイエンス的解析、臨床医の先生方への統計コンサルティングなどを行ってきました。異分野からの人間にも関わらず、永野教授・裕教授をはじめ医局員の皆様に温かく迎えて頂き本当に感謝しております。自分の研究、皆様の研究についても引き続き色々な角度からデータをみさせて頂ければと思います。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

2018年 在籍教室員名簿

教授・診療科長

氏名：永野浩昭（岡山大学医学部 昭和61年卒）
専門：消化器外科、肝胆膵外科、移植外科

寄付講座教授（先端がん治療開発学）

氏名：裕 彰一（山口大学医学部 昭和61年卒）
専門：先端医療開発、免疫療法

准教授（腫瘍センター）

氏名：吉野茂文（山口大学医学部 昭和61年卒）
専門：化学療法、集学的治療

診療准教授・副科長

氏名：山本 滋（山口大学医学部 昭和62年卒）
専門：乳腺・内分泌外科

講師・病棟医長

氏名：武田 茂（山口大学医学部 平成3年卒）
専門：上部消化管外科、食道外科

講師・医局長

氏名：鈴木伸明（愛媛大学医学部 平成7年卒）
専門：下部消化管外科

助教・外来医長

氏名：飯田通久（山口大学医学部 平成11年卒）
専門：上部消化管外科、胃外科

助教

氏名：徳久善弘（山口大学医学部 平成11年卒）
専門：肝胆膵外科

助教

氏名：吉田 晋（山口大学医学部 平成11年卒）
専門：下部消化管外科

助教

氏名：前田訓子（島根大学医学部 平成12年卒）
専門：乳腺・内分泌外科

助教

氏名：友近 忍（山口大学医学部 平成13年卒）
専門：下部消化管外科

助教

氏名：恒富亮一（山口大学農学部 平成16年卒）
専門：癌の分子生物学

助教

氏名：兼清信介（山口大学医学部 平成16年卒）
専門：上部消化管外科、食道外科

寄付講座助教（先端がん治療開発学）

氏名：徳光幸生（宮崎医科大学医学部 平成16年卒）
専門：肝胆膵外科

助教

氏名：新藤芳太郎（山口大学医学部 平成16年卒）
専門：肝胆膵外科

診療助教

氏名：松井洋人（山口大学医学部 平成17年卒）
専門：肝胆膵外科

診療助教

氏名：松隈 聰（山口大学医学部 平成17年卒）
専門：肝胆膵外科

診療助教

氏名：西山光郎（長崎大学医学部 平成19年卒）
専門：上部消化管外科

大学院生

氏名：中島正夫（山口大学医学部 平成22年卒）

専門：肝胆膵外科

大学院生

氏名：藤原康弘（山口大学医学部 平成22年卒）

大学院生

氏名：桑原太一（山口大学医学部 平成22年卒）

大学院生

氏名：近藤潤也（長崎大学医学部 平成13年卒）

大学院生

氏名：中島千代（山口大学医学部 平成22年卒）

大学院生

氏名：山田健介（山口大学医学部 平成22年卒）

大学院生

氏名：木村祐太（鹿児島大学医学部 平成13年卒）

大学院生

氏名：山本常則（山口大学医学部 平成22年卒）

助教（集中治療部）

氏名：兼定 航（山口大学医学部 平成25年卒）

診療助教

氏名：千々松日香里（山口大学医学部 平成25年卒）

学術研究員

氏名：徐 明（中国 大連医科大学 平成15年卒）

学術研究員

氏名：中上裕有樹（米国 ウェスタンミシガン大学 平成25年卒）

学会専門医、指導医、評議員リスト

日本外科学会

専門医：

永野浩昭、裕 彰一、吉野茂文、山本 滋、武田 茂、鈴木伸明、飯田通久、吉田 晋、徳久善弘、前田訓子、友近 忍、兼清信介、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、北原正博、松隈 聡、西山光郎、中島正夫、藤本拓也、桑原太一、藤原康弘、山田健介、中島千代、木村祐太、山本常則

指導医：

永野浩昭、裕 彰一、吉野茂文、山本 滋、武田 茂、鈴木伸明、飯田通久、吉田 晋、徳久善弘

代議員：

永野浩昭、山本 滋

日本消化器外科学会

専門医：

永野浩昭、裕 彰一、吉野茂文、武田 茂、鈴木伸明、飯田通久、吉田 晋、徳久善弘、友近 忍、兼清信介、徳光幸生、新藤芳太郎、北原正博、松隈 聡、西山光郎、中島正夫

指導医：

永野浩昭、裕 彰一、吉野茂文、武田 茂、鈴木伸明、飯田通久、吉田 晋、兼清信介、徳光幸生、新藤芳太郎

評議員：

永野浩昭、裕 彰一、吉野茂文

日本乳癌学会

認定医・専門医：

山本 滋、前田訓子

評議員：

山本 滋

日本食道学会

認定医：

吉野茂文、武田 茂、兼清信介、西山光郎

専門医：

吉野茂文、武田 茂、兼清信介

評議員：

永野浩昭、武田 茂、兼清信介

日本肝胆膵外科学会

評議員：

永野浩昭、徳久善弘、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡

高度技能指導医：

永野浩昭

日本内視鏡外科学会

技術認定医：

吉野茂文、武田 茂

評議員：

永野浩昭、裕 彰一、吉野茂文

日本癌治療学会

臨床試験登録医：

永野浩昭、裕 彰一、吉野茂文

代議員：

永野浩昭

日本癌学会

評議員：

永野浩昭、裕 彰一、恒富亮一

日本大腸肛門病外科学会

専門医・指導医・評議員：

裕 彰一

日本胃癌学会

評議員：

永野浩昭、武田 茂、飯田通久

日本肝臓学会

専門医：

永野浩昭、徳久善弘、徳光幸生

指導医・評議員：

永野浩昭

日本胆道学会

指導医・評議員：

永野浩昭

日本膵臓学会

指導医・評議員：

永野浩昭

日本消化器病学会

専門医・指導医・評議員：

永野浩昭

日本内分泌外科学会

専門医：

山本 滋

日本腹部救急医学会

評議員：

永野浩昭

日本外科感染症学会

Infection Control Doctor：

武田 茂、松隈 聡

外科周術期感染管理認定医：

松隈 聡

評議員：

武田 茂

日本臨床腫瘍学会

がん薬物療法専門医・指導医：

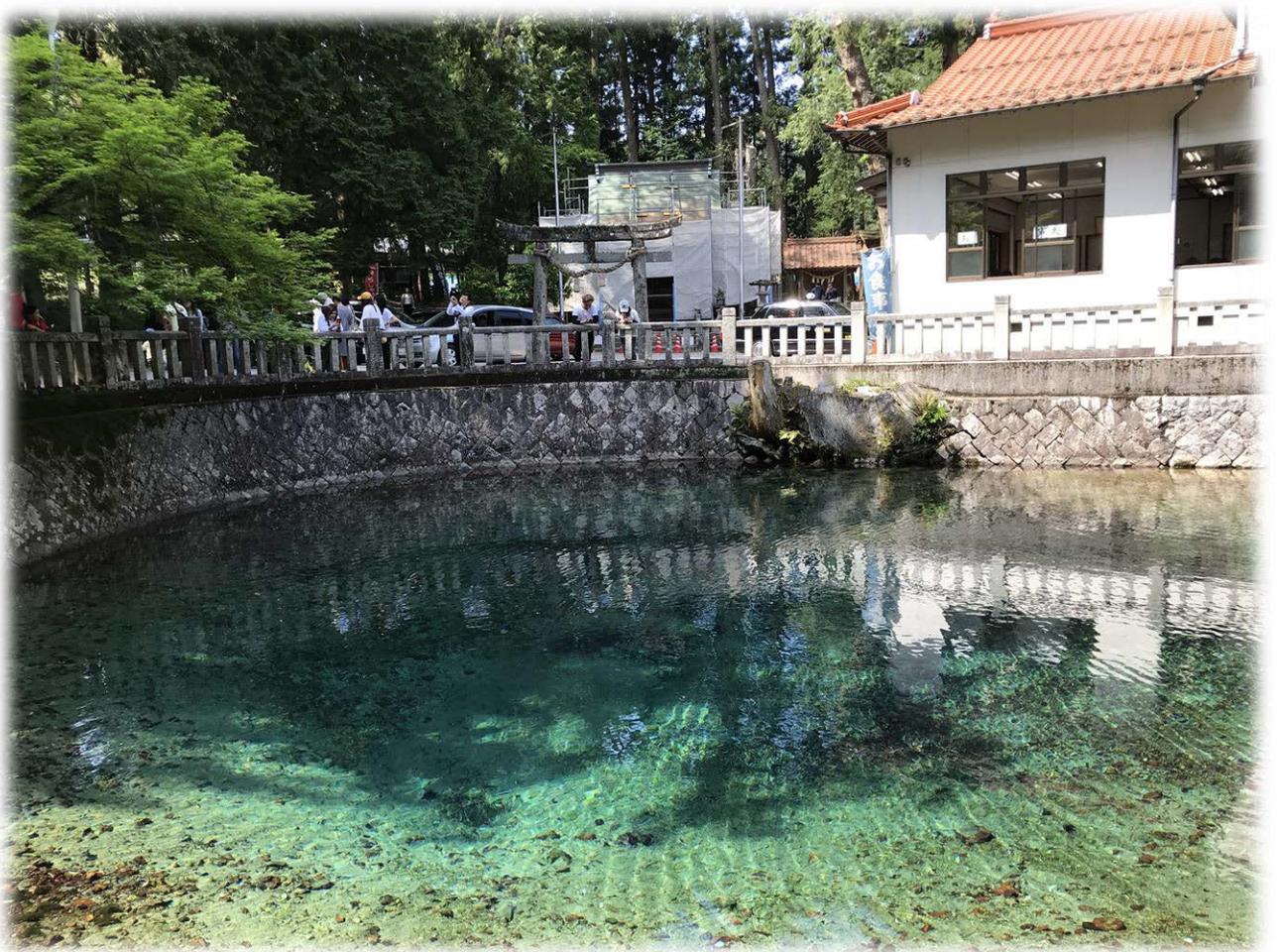
吉野茂文

日本がん治療認定医機構

認定医：

永野浩昭、吉野茂文、山本 滋、武田 茂、徳久善弘、前田訓子、兼清信介、徳光幸生、松隈 聡、西山光郎、
中島千代

2018年 年間行事



別府弁天池（美祢市）

秋吉台のカルスト台地に含まれ、ドリーネの池の底から湧水し日差し
の角度によりコバルトブルーや緑色に輝きます。

1985年、別府弁天池湧水として名水百選に選定されました。

月	医局行事・他	学会	研究会・セミナーなど
1	消化器・腫瘍外科学関連病院長会議	第88回大腸癌研究会	第18回食道手術ビデオ懇話会 Immuno-Oncology Seminar -Gastric Cancer- 山口県東部地区乳癌研究会 免疫チェックポイント阻害薬副作用対策セミナー 第39回九州肝臓外科研究会学術集会
2	Clinical Research Conference		臨床肝移植セミナー～多職種で進める山口の肝移植～ 第17回中国・四国臨床腫瘍研究会セミナー 第35回山口県食道疾患研究会 第13回宇部・小野田圏域緩和ケア事例検討会
3	消化器・腫瘍外科 病棟送別会	第90回日本胃癌学会総会 第54回日本腹部救急医学会総会	第22回山口県肛門疾患懇話会 第46回中国四国甲状腺外科研究会 第4回九州胆・膵癌治療フォーラム 第6回難治性疾患トランスレーションセミナー第13回 山口県消化管セミナー 松江 肺がんチーム医療ワークショップ
4	1病棟6階 花見	第118回日本外科学会定期学術集会	G.I. Cancer Expert Meeting in Yamaguchi 第14回宇部・小野田圏域緩和ケア事例検討会
5	青山会(同門会) 医局対抗野球 医局説明会		第6回がんと代謝研究会 第72回手術手技研究会 第36回日本肝移植研究会 第27回日本癌病態治療研究会 第4回山口膵・胆道疾患研究会 第1回山口消化管内視鏡外科研究会 第39回癌免疫外科研究会 Colorectal Cancer Expert Meeting in Yamaguchi 第17回京都肝臓グループの会学術講演会 第2回山口乳癌研究会
6	キャリアナビゲーション	第30回日本肝胆膵外科学会総会 第54回日本肝臓学会総会 第72回日本食道学会学術集会 第49回日本膵臓学会大会	第40回日本癌局所療法研究会 第35回日本胆膵病態・生理研究会 第54回日本肝癌研究会 第77回山口県臨床外科学会 第14回山口県外科感染症研究会 第47回備後肝胆膵研究会
7	医局旅行 消化器外科学会現地同門会	第23回日本乳癌学会学術総会 第73回日本消化器外科学会総会 第16回日本臨床腫瘍学会学術集会	第25回外科侵襲とサイトカイン研究会 第89回大腸癌研究会 周南地域 市民がん公開講座 Yamaguchi Workshop for Esophageal Cancer CRCC-山口 Colorectal Cancer Conference
8		第22回日本がん免疫学会総会	第45回日本膵切研究会 第2回シンポジウム人工知能・システム医学による難 治性疾患への新たな挑戦 癌治療における医療統計勉強会 中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム 第36回中国四国臨床臓器移植 萩市医師会学術講演会消化器がんセミナー
9		第51回日本胆道学会学術集会 第93回中国四国外科学会総会 第6回日本乳房オンコプラスティック クサージャー学会総会 第77回日本癌学会学術総会	第23回中国四国内視鏡外科研究会 第14回山口県消化管セミナー 第8回遺伝子多型研究会 第8回肝胆膵フォーラム in Yamaguchi 看護師といっしょに考える第8回がん市民公開講座気 になるすい臓がんのお話
10		第54回日本移植学会総会 第56回日本癌治療学会学術集会 第51回日本甲状腺外科学会学術集会	第18回山口消化器病態研究会 Japan Hepatology Academia 市民公開講座山口県肝移植治療最前線
11		第26回日本消化器関連学会週間 第73回日本大腸肛門病学会学術集会 第28回日本乳癌検診学会学術総会 第80回日本臨床外科学会総会 第31回日本外科感染症学会総会集会	第2回山口消化管内視鏡外科研究会 第5回山口膵・胆道疾患研究会 第10回膵臓内視鏡外科研究会 第1回食道癌手術モニタリング研究会 第2回山口肝移植診療検討会 第26回膵癌治療を考える会
12	大忘年会	第31回日本内視鏡外科学会総会 第42回日本肝臓学会東部会 第31回日本バイオセラピー学会総会 第7回日本免疫・細胞治療学会総会	大腸癌治療アニュアルセミナー2018 第8回難治性疾患トランスレーションセミナー

1月 消化器・腫瘍外科学関連病院長会議



永野教授のご挨拶



水田英司先生のご挨拶

2月 臨床肝移植セミナー ～多職種で進める山口の肝移植～



今後の山口県の肝移植について議論を行いました。



永野教授のご挨拶



東京大学医学部附属病院より臓器移植医療部
野尻さんのご講演



様々な職種の方々にご参加いただきました。

2月 Clinical Research Conference



発表風景



松井先生より臨床研究報告



藤本先生より基礎研究報告



徳久先生より肝胆膵班の臨床報告



永野教授の総括

3月 送別会



徳久先生、北原先生、藤本先生、田中先生、山下師長、病棟看護師さん達の送別会が開催されました。新天地でのご活躍とご健勝を祈念いたします。



北原先生頑張ってください！



肝胆痔班は任せて下さい！！



国澤副師長（左）と山下師長（右）



鈴木先生みたいに大きくなってきます！

5月 医局対抗野球



毎年恒例医局対抗野球大会☆彡



投打に大活躍の新藤先生(/ω＼)



愛用のファーストミットで御参加いただきました！



一球入魂！！

5月 山口脍・胆道疾患研究会



大阪国際がんセンターより、脍がんセンター内科系部門長
井岡達也先生をお招きし、ご講演いただきました。



実臨床での疑問点について質問を投げかける松井先生

5月 医局説明会



医局説明会の全体風景



外科医の魅力を語る
西田先生



女性外科医のキャリアを語る
千々松先生



食事会は焼肉屋さんできまり!!
目的はこっち?

先輩医師の話に耳を傾ける
外科医の卵達!?



懇親会も含めて、大盛況のうちに閉会となりました♪♪

5月 青山会



永野教授のご挨拶



水田会長のご挨拶

青山会創立30周年記念企画
鼎談「青山会の歴史」



左から永野教授、水田会長、田中前会長、岡前教授

5月 青山会ゴルフ



晴天白日の中、恒例の青山会ゴルフコンペが行われました！



見事1位の栄冠を獲得された吉永先生
おめでとうございます！！



堂々の2位は長澤先生！



3位の兼清先生もパシャリ！（`艸`*）

6月 キャリアナビゲーション



5、6年生を対象とした、キャリアナビゲーション
通称「キャリナビ」！！



外科の魅力を体感♪



兼清先生による優しい縫合授業♪



木村先生による熱血指導、目が真剣です！！(°Д°)

6月 亜鉛療法研究会



京都大学肝胆膵移植外科の海道利実先生よりご講演いただきました。



周術期における亜鉛栄養治療についての知識を深めることができました。

7月 消化器外科学会@金沢



第73回 日本消化器外科学会総会

The 73rd General Meeting of the Japanese Society of Gastroenterological Surgery



VR技術を体験中♪



永野教授の挨拶



現地同門会での集合写真

7月 医局旅行@萩



山口県萩市にて恒例の医局旅行を開催しました。



夏らしく浴衣での参加も！



萩の美味しいお食事とお酒に
ダブルピース(*^^)v



幹事の西山先生
お疲れ様です！



子供はのせたら、え〜んや♪



日頃の疲れも癒されました!(^^)!



永野先生、山本先生を囲んで海の家でBBQ♪

医局旅行を盛り上げて下さった山本先生、得能先生、亀井先生、ありがとうございました。

10月 肝移植市民公開講座



日本移植学会 江川理事長の特別講演



多くの市民が参加されました。



石川先生（消化器内科）



砂川さん（臓器移植コーディネーター）



徳光先生



松井先生



集合写真

11月 第5回山口膵・胆道疾患研究会



東北大学肝胆膵外科・胃腸外科より、
海野倫明教授をお招きし、
膵癌治療についてご講演いただきました。



海野教授を囲んでの懇親会。インドネシアからの留学生も参加しました。

12月 病棟大忘年会



2018年を締めくくる平成最後の大忘年会です、今年もたくさんの余興があり、大盛況でした！



渾身のバブリーダンス♪



サ○シャイン西田！！イエー———イ！！



ビンゴ——（*´∀´）♪



看護師チームは可愛さ抜群♡

ゲスト写真集



江川裕人 先生（東京女子医大）



海野倫明 先生（東北大学）



井岡達也 先生（大阪国際がんセンター）



海道利実 先生（京都大学）



佐治重衡 先生（福島県立医大）



日比泰造 先生（熊本大学）



金澤旭宣 先生（島根県立中央病院）
山崎健太郎 先生（静岡がんセンター）



江川裕人 先生（東京女子医大）



吉田和弘 先生 (岐阜大学)



大辻英吾 先生 (京都府立医大)



猪俣雅史 先生 (大分大学)

編集後記

2018年は明治改元から150年、明治維新胎動の地である山口県にとっては大きな節目の年であった。時代の流れを大きく変えた幕末から明治。激動の幕末を駆け抜けた志士たちのパワーを感じ、維新の精神を風化させることなく未来につなげていく、そんな山口の県づくり推進を追い風に、今年は待望の新入局員や海外からも新たな仲間が加わり、消化器・腫瘍外科学もさらなる発展を遂げることが出来たのではないだろうか。

さて、山口県は今深刻な「外科医不足」の危機に晒されている。もちろん、「外科医不足」は山口に限ったことではないのだが、全国屈指の若手「流出県」であるが故に外科医の高齢化が進行しており、勤務環境の厳しさや医師減少による負のスパイラルなどが相まって問題は根深く、若手医師にアピールできる魅力の創出や環境整備は急務であると言える。教室では、高い医療水準を維持しつつ、これらの「地域医療」の問題に様々な角度から取り組んでいます。我々とともに維新の精神を持った若手医師（志士?）の参加を広く募集致します。

平成31年5月

徳光 幸生



春、桜満開の一の坂川（山口市）

山口大学大学院医学系研究科
消化器・腫瘍外科学 教室年報：2018

令和元年5月発行

発行 山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学

編集責任者 徳光幸生

編集委員 新藤芳太郎 中島正夫 山田健介 濱崎太郎

TEL : 0836-22-2264

FAX : 0836-22-2263

ホームページ : <http://www.yamadai-gesurgery.jp/>